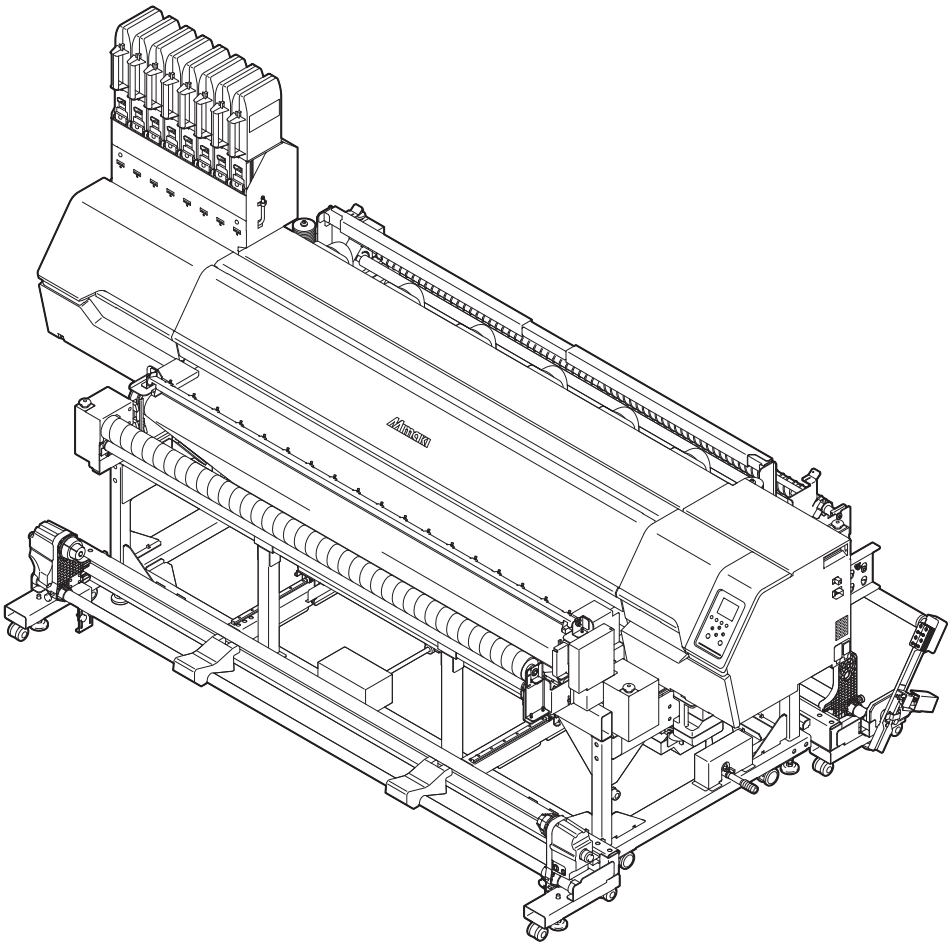
Operation Manual

Mimaki

INKJET PRINTER

TX330-1800B

取扱説明書



本書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社ミマキエンジニアリング
https://japan.mimaki.com/

D203883-13
Original instructions

目次

はじめに 6
安全にお使いいただくために 7
シンボルマーク表示について 7
使用上の警告と注意 8
使用上の制限について 11
インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項 12
インク仕様 14
インク消費有効期限に対する本機の制限について 15
インクセット変更に関する制限について 15
設置上のご注意 16
設置スペース 17
本機を移設したいとき 17
安全インターロックについて 18
非常停止スイッチについて 19
警告ラベル 20

第 1 章 ご使用の前に

1.1 各部の名称とはたらき 24
正面 24
背面/右側面 26
インク供給ユニット 28
キャリッジ 29
ステーション 29
電源スイッチ 30
操作パネル 31
1.2 電源ケーブルを接続する 34
電源を入れる 34
電源を切る 35
1.3 本機とコンピューターを接続する 37
LANケーブルを使う 37
USBケーブルを使う 38
1.4 システム構成 39
Mimakiドライバーをインストールする 40
RIP用ソフトウェアをインストールする 40
カラープロファイルを入手する 40
RIP用ソフトウェアを準備する 40
1.5 インクの交換方法 42
インクニアエンドが表示されたとき 42
インクエンドが表示されたとき 42
インクを交換する 43

第 2 章 プリントしてみる

2.1 プリントの流れ 50
2.2 プリントヘッドの高さを調整する 53
2.3 布巻ローラーを準備する 55

2.4 メディアをセットする..... 57
メディアについて..... 57
巻き取りユニット..... 58
繰り出しユニット..... 62
ロールメディアをセットする..... 68
メディアを登録する..... 89
2.5 テストプリントをする..... 91
テストプリントの配置方向を変更する..... 92
吐出不良について..... 92
2.6 ヘッドクリーニングをする..... 93
2.7 フィード補正をする..... 94
フィード補正の手順..... 94
2.8 ドット位置補正をする..... 96
ドット位置補正の手順..... 96
2.9 RIPデータを準備する..... 98
2.10 プリントする..... 100
原点を変更する..... 100
プリントを開始する..... 101
プリントを中止する（データクリア）..... 102

第 3 章 各種設定

3.1 メディア設定メニュー..... 104
3.2 メンテナンスメニュー..... 107
ノズルリカバリーを登録する..... 110
ノズルチェックとは..... 111
3.3 機能設定メニュー..... 112
3.4 環境設定メニュー..... 114
3.5 マシンステータスメニュー..... 116

第 4 章 メンテナンス

4.1 メンテナンスに関するご注意..... 118

4.2 メンテナンスの方法 119
メンテナンス項目とタイミング 119
インクのメンテナンス 120
キャップゴムの清掃 120
キャリッジ底面の清掃 121
ワイパーの清掃 122
NCUの清掃 124
DAS（自動補正機能）センサーの清掃 125
インク排出経路の洗浄 126
ジャムセンサー検出板の清掃 128
引き剥がしローラーの清掃 129
ベルト補正ユニットの清掃 129
吹き付けファンフィルターの清掃 131
洗浄水の交換 132
洗浄ユニットのメンテナンス 133
地張り剤の塗り替え 138
洗浄トレイとブラシの清掃 148
搬送ベルトのクリーニング 150
引き剥がしセンサーのクリーニング 150
カウンターのリセット 151
カバー（外装）の清掃 152
長期間使用しないときは 152
4.3 消耗品の交換 155
消耗品を交換するタイミング 155
ワイパーの交換 156
ワイパークリーナーの交換 157
キャップの交換 159
ステーション周辺の吸収材の交換 161
吹き付けファンフィルターの交換 163
インク供給ユニットのインク吸収材の交換 164
廃インクタンクの交換 165

第 5 章 困ったときは

5.1 故障かな?と思ったときは 168
電源が入らない 168
プリントできない 168
メディア詰まり、メディアが汚れる 168
画質不良が発生した 169
インクが漏れた 170
5.2 メッセージを表示するトラブル 171
ワーニングメッセージ 171
インクエラー 173
エラーメッセージ 174
SYSTEM HALT 181

第 6 章 付録

6.1 仕様 184

6.2 オプション 186
リレーBOXについて 186

はじめに

この度はインクジェットプリンター Tx330-1800Bをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書（以後、本書と称します）をよくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

本書で使用しているイラストは、機能や手順、操作の説明を目的としており、本機と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、Illustrator、Photoshop、およびPostScriptは、Adobe Incorporatedの米国ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

RasterLink、TxLinkは、株式会社ミマキエンジニアリングの日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

その他本書に記載されている会社名、および商品名は各社の日本ならびにその他の国における商標、または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 2025 株式会社ミマキエンジニアリング

● 免責事項

- Tx330-1800B（以後、本機と称します）の故障有無に関わらず、本機をお使いいただいたことによって生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機により作成された製作物に対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社推奨品以外の装置などを使用すると、火災、または本機の破損事故のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 弊社純正インク、メンテナンス液をご使用ください。それ以外を使用すると、プリント品質の低下、本機の故障のおそれがあります。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インクパックのインクを詰め替えないでください。この場合には保証の対象外となります。また、それに対して生じた直接、または間接的な損害に対して、当社は一切の責任を負いません。

● テレビ、ラジオの受信障害について

- 本機稼働中は、高周波が発生しています。不適切な条件下で使用した場合、テレビやラジオの受信障害を発生するおそれがあります。特殊なテレビやラジオに対して、保証しておりません。

テレビやラジオの受信障害が発生したら、本機の電源を切ってから、テレビやラジオの受信状態をご確認ください。電源を切って受信障害が解消すれば、本機が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせて試してください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変えて、受信障害の発生しない位置を探してください。
- テレビやラジオは、本機から離れた場所に設置してください。
- テレビやラジオは、本機が接続している電源供給経路とは別のコンセントに接続してください。

● 電波障害自主規制

本機は、VCCIクラスA情報技術装置です。本機を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

安全にお使いいただくために

シンボルマーク表示について

本書では、シンボルマーク表示により操作上の注意内容を説明しています。各マークの持つ意味を十分理解して、本機を安全に正しくお使いください。

内　容		
⚠警 告	警告	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡、または重傷のおそれがある内容を示しています。
⚠注 意	注意	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷、または中程度の負傷のおそれがある内容を示しています。
注 記	注記	この指示を無視して誤った取り扱いをすると、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。
	一般警告	注意しなければならない事項を示しています。具体的な警告内容は、マークの中に描かれています。
	一般強制指示	実行しなければならない事項を示しています。具体的な強制指示内容は、マークの中に描かれています。
	一般禁止	してはいけない事項を示しています。具体的な禁止内容は、マークの中に描かれています。
重 要!	重要	本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい事項を示しています。
	ヒント	知っておくと便利な事項を示しています。
	参照情報	関連する内容の参照ページを示しています。

使用上の警告と注意

● 異常事態が発生したら

⚠ 警 告

- 万一、煙が出ていたり、変な臭いがしたりするなどの異常事態が発生したら、直ちに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。煙が出なくなるのを確認してから、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

⚠ 注 意

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が皮膚に付着してしまったときは、直ちに布などでふき取ってください。そのあと石鹸を使用して、大量の水で洗い流してください。インクが付着したまま放置すると、皮膚が炎症をおこす原因になります。皮膚に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が目に入ってしまったときは、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は、清浄な流水で15分以上洗い流したあとに外してください。また、まぶたの裏まで完全に洗ってください。インクが付着したまま放置すると、失明や視力が低下する原因になります。目に刺激や痛みを感じたときは、速やかに医師の診断を受けてください。
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体が口に入ってしまったり、飲み込んでしまったりしたときは、無理に吐かせないで直ちにうがいをして、速やかに医師の診断を受けてください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ってしまうおそれがあります。
- 蒸気を大量に吸い込んでしまったときは、新鮮な空気の場所に移動して、暖かくして呼吸しやすい姿勢で安静にしてください。症状が改善しない場合は、速やかに医師の診断を受けてください。
- すぐに医師の診断を受けられない場合は、（財）日本中毒情報センター 中毒110 番に相談してください。
  （大阪） 072-727-2499 24時間対応
  （つくば） 029-852-9999 9～21時対応

注 記

- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

● 電源に関するご注意

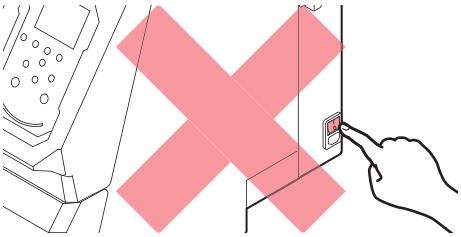
⚠ 警 告

- 付属の電源ケーブルを使用してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。なお、本機以外の電気機器には使用できません。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが破損して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグにホコリなどが付着したまま使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れないようにしてください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。電源ケーブルが破損して、感電や火災につながるおそれがあります。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 電源ケーブルの破損や芯線の露出、断線などが見られる場合は使用しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

- 電源ケーブルのプラグは、接地（アース）極性付きのコンセントに接続してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- コンセントの増設には、感電事故防止のため接地（アース）工事が必要です。必ず電気工事士の免許を持った人が電気工事（C種接地工事（特別第3種接地工事））をしてください。

注 記

- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- 本機は指定された電源仕様で使用してください。
- 電源ケーブルは、必ず本機の近くにある電源コンセントに接続してください。また、電源プラグの刃を根元まで確実に挿し込んでください。
- 電源ケーブルを接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認してください。また、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断する原因になります。

● 可動部に注意してください

⚠ 注 意

- 顔や手など体の一部を可動部に近づけないでください。また作業の妨げになるような服装（ダブついた服装、装飾品など）で、本機に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。

- 長い髪の毛は束ねてください。ケガをするおそれがあります。

● 分解、改造はしないでください

⚠ 警 告

- 本機を分解したり、改造したりしないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

● その他、使用上の警告と注意

⚠ 警 告

- 本機に子供を近づけないでください。

注 記

- 正面カバーを開ける際は、アクリル部を持たないでください。アクリルが破損する原因になります。

重 要！

- プリント済みメディアの保管状態（巻き取ったメディアの平置きによる荷重など）やメディアの種類によって、メディア裏面に裏移りしてしまうことがあります。事前にテストをして、裏移りしないかどうかを確認してください。

- 設置されている環境温度や湿度によって、プリントヘッドのノズル面が結露してしまうことがあります。結露が起こると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。プリント実行中に吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が発生したときは、ヘッドクリーニングをしてください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 93）

● 本機の廃棄について

⚠ 注 意

- 販売店、またはサービス実施店にご相談ください。
- お客様自身で廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

使用上の制限について

使用上の制限

⚠ 警 告

- 本機は高速可動部、重量部を有し非常に危険です。本機の使用は、それらの危険性を十分理解した使用者に限られます。

使用者の制限

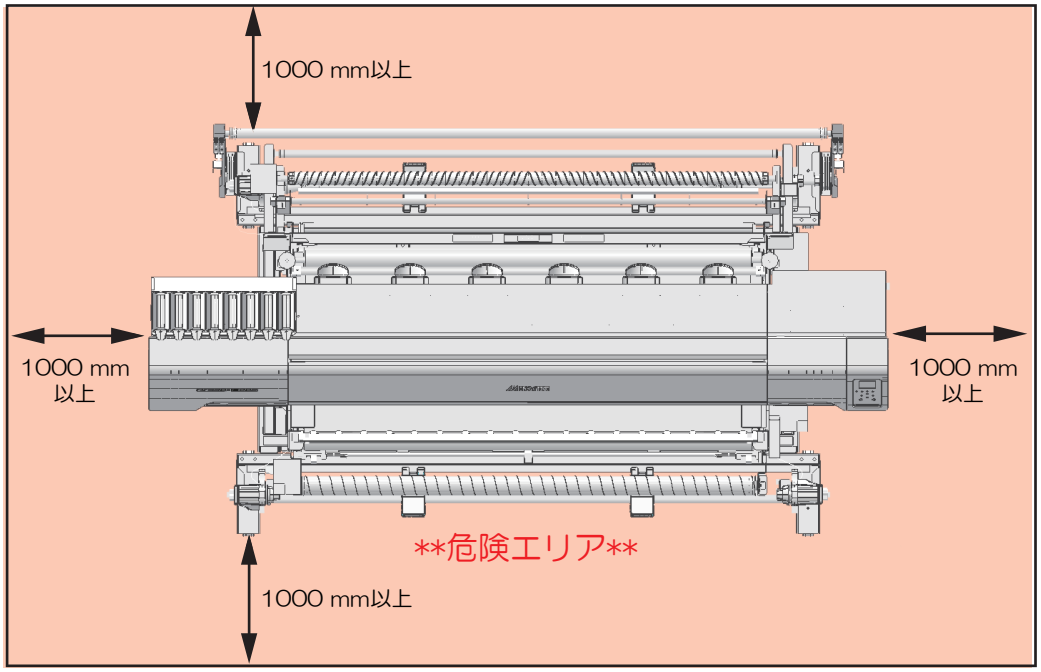
⚠ 警 告

- 本機を使用するオペレーターは、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとしてください。

エリア制限

⚠ 警 告

- 適切な訓練を受けた使用者以外の者が本機に近づくことを禁止します。下図に示す範囲でエリア制限を設けてください。エリア制限の方法は、本機を専用の個室に設置する、囲みを設けるなど、危険なエリアであることを認識させる必要があります。
- 危険エリアには、弊社が実施する安全教育の受講者、もしくはその受講者から教育を受けた方のみとし、安全教育受講者以外は立ち入り禁止としてください。本機が動作中に教育を受けていない方が隔離エリア内に入ると、プリント中のキャリッジやテンションバーなどの可動部に当たるなどケガなどをする危険性があります。



- 専用の個室、もしくは安全柵にて囲みを設けるなど、物理的な方法で本機を隔離してください。危険なエリアであることを認識させる必要があります。
  (1) 専用の個室を設ける場合は、出入り口のドアに鍵やインターロックを設置してください。
  (2) 安全柵にて隔離エリアを設ける場合は、EN ISO13857規格に準じたものを使用してください。

インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項

インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体の容器に、液体に関する注意書きが添付されています。よくお読みいただき、十分に理解してから使用してください。

- 取り扱い前に必ず安全データシート（SDS）をご覧ください。https://japan.mimaki.com/supply/sds/

⚠ 注 意

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

- インクが入っているケースに強い衝撃を与えたり、激しく振り回したりしないでください。またインクを詰め替えないでください。インクが漏れて皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

- インクが入っているケースを分解しないでください。インクが漏れて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

注 記

- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を直射日光が当たる場所に保管しないでください。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体を金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満している場所に保管しないでください。そのような場所に保管すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体は、他のプリンターで使用しないでください。故障の原因になります。

- 床から1m以内の低い場所に保管してください。落下したときに液体が飛散するおそれがあります。
- 密閉した状態で保管してください。
- 冷暗所で保管してください。
  (1) インクが凍結しない環境での保管をしてください。解凍したインクを使用すると、インクの成分が変質してプリント品質が低下するおそれがあります。
  (2) 寒い所から暖かい所に移したインクは、本機と同じ環境に3時間以上放置してから利用してください。
  (3) インクは使用直前に開封して、早めに使い切ってください。開封してから長時間経過したものは、プリント品質が低下するおそれがあります。

- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

- 種類の違うインクICチップでは、プリントすることができません。

インク仕様

項目		Tx330-1800B	
種類		専用昇華染料インク Sb420（ミマキエンジニアリング純正品）	専用顔料転写インク TP410（ミマキエンジニアリング純正品）
カラー		ブルー（BL） マゼンタ（M） イエロー（Y） ブラック（K） ライトブルー（Lbl） ライトマゼンタ（Lm）	シアン（C） マゼンタ（M） イエロー（Y） ブラック（K） レッド（R） ブルー（BL） グリーン（GR） ライトブラック（Lk）
形態		アルミパック	
インク容量		2,000 ml	
消費有効期限		インクパックに記載されているとおり。ただし、開封後は消費有効期限内であっても1か月以内。	
保存温度 *1	保存時	10 - 35°C（1日の平均気温）	
	輸送時	0 - 40°C	

*1. 保存温度範囲を外れる場合、インクの品質が低下するおそれがある。

インク消費有効期限に対する本機の制限について

例）消費有効期限の記載が、20xx年4月の場合

- 同年5月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年6月：新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。
- 同年7月：プリントすることができません。

- ディスプレイにメッセージを表示してお知らせします。

重要！

- インクの容器にインクの消費有効期限が記載されています。インクの消費有効期限を超えると、インクの吐出不良が生じたり、色みに変化を生じたりするおそれがあります。消費有効期限を超えてもプリントすることはできますが、新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ることをお勧めします。

インクセット変更に関する制限について

Sb420インクセット(Sb420_4C/6C)　以外のインクセット（TP410_4C/8C、Hybrid： Sb420/TP410)を充填する場合、本体とは別に下記のオプションが必要になります（インクセットが異なるタイプに変わる場合も同様になります）

Type	インクセット	オプション品番
A	Sb420 4C/6C	無し(不要)
B	TP410_4C	OPT-01007
C	TP410_8C	OPT-01008
D(Hybrid)	Sb420/TP410	OPT-01010

設置上のご注意

⚠ 警 告

- 地張剤や剥離剤には、引火する危険性（シンナーなど）が含まれているおそれがあります。本機は防爆タイプではありません。爆発などのおそれがあります。

- 火気のある場所に本機を設置しないでください。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、化学薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。本機内部に浸入すると、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

- 湿気の多い場所や水のかかる場所に本機を設置しないでください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

- 本機を子供が立ち入るおそれのある場所に設置しないでください。

⚠ 注 意

- 換気の悪い部屋、もしくは密閉された部屋に本機を設置する場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 排気口施工については、必ず以下の内容をお守りください。
  (1) 排気口の設置は、各国の地域のEHS（Environmental, Health and Safety）ガイドラインにしたがってください。
  (2) 排気口に閉鎖弁などを設置した場合、本機使用中は必ず閉鎖弁を開けてください。

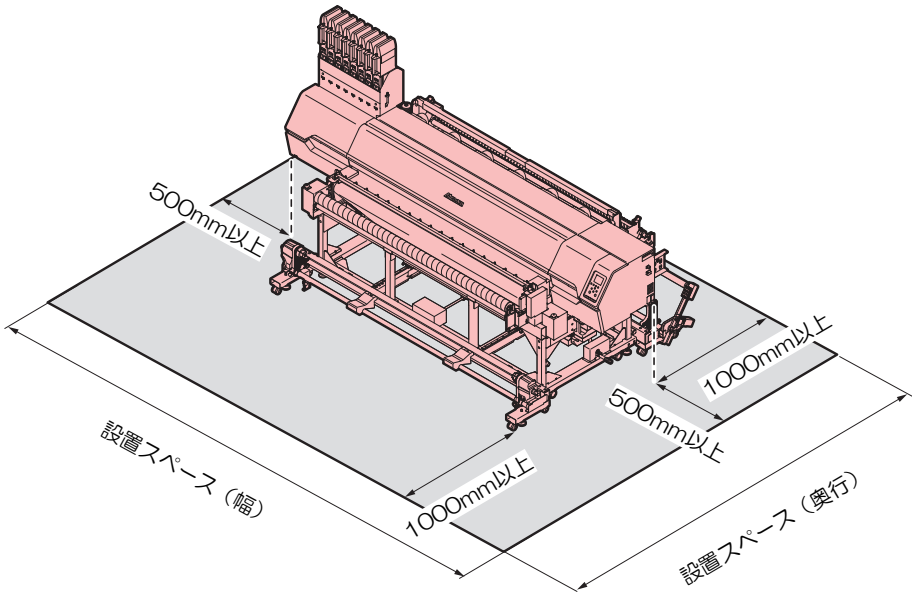
注 記

- ホコリや粉じんのある場所に本機を設置しないでください。本機の内部に浸入すると、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- エアコンなどの風があたる場所に本機を設置しないでください。本機の内部にホコリや粉じんなどが浸入するおそれがあります。
- 不安定な場所や振動が発生する場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- 直射日光が当たる場所に本機を設置しないでください。
- 温度変化が激しい場所に本機を設置しないでください。故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ノイズを発生する大型の機械が置いてある場所に本機を設置しないでください。
- 写真定着材の蒸気や酸性（酢酸、塩酸など）の気体が発生していたり、金属切削液や揮発性の高い物質（アミン類、アミン変性アルコール類など）が充満してたりする場所に本機を設置しないでください。そのような環境下に設置すると、プリントヘッド表面のインクが固まり、故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- 動作可能環境：20~30 °C（68~86 °F）、35~65% Rh（結露なきこと）
- 精度保証温度：20~25 °C（68~77 °F）

設置スペース

メディアやインクの交換を安全に正しく行うためには、以下のスペースが必要です。



● **Tx330-1800B**

サイズ	Tx330-1800B
幅*1	4,230 mm以上（3,230 mm）
奥行き*1	3,912 mm以上（1,912 mm）
高さ*1	（1,900 mm ） *2
重量	622kg

*1. （）内は、本機のサイズ

*2. インクエコケースセット時

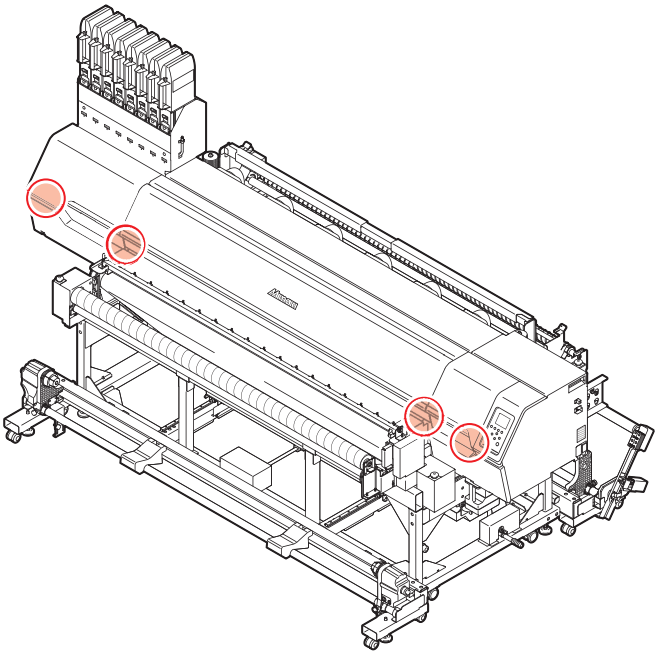
本機を移設したいとき

販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。お客様が本機を移設すると、故障や破損のおそれがあります。

安全インターロックについて

本機は安全にご使用いただくため、インターロックが設置されています。
プリント実行中にカバーを開けるとプリントが中断されます。再度RIPデータの受信が必要になります。

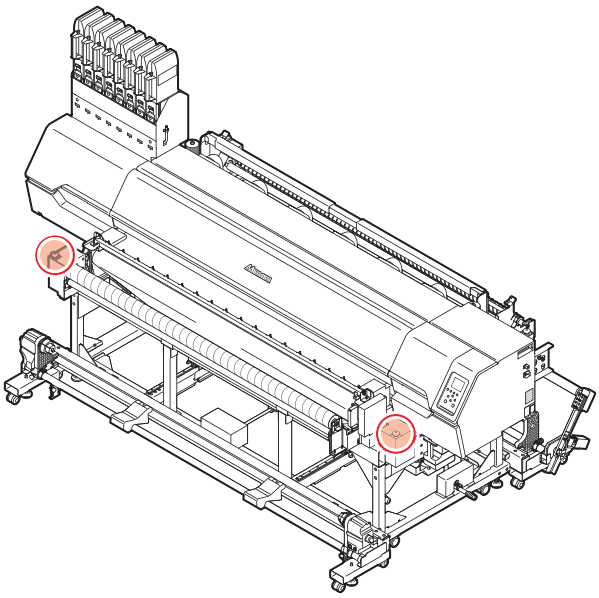
- インターロック設置場所



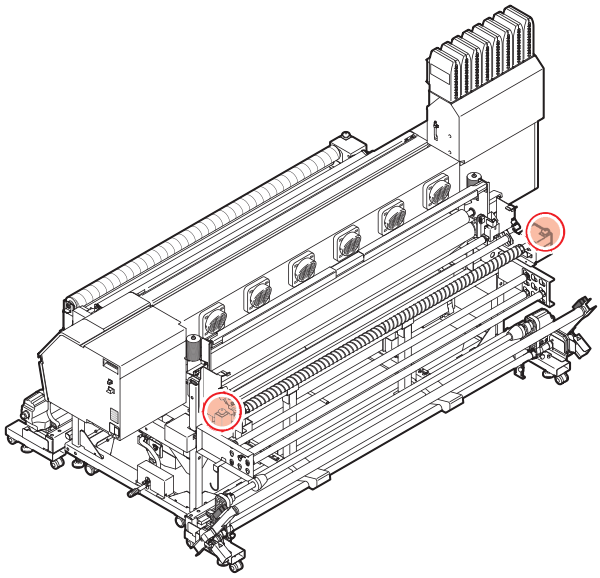
非常停止スイッチについて

安全上の理由で、本機を緊急停止したいときに押します。非常停止スイッチは、本機前面に2か所、背面に2か所あります。

【前面】

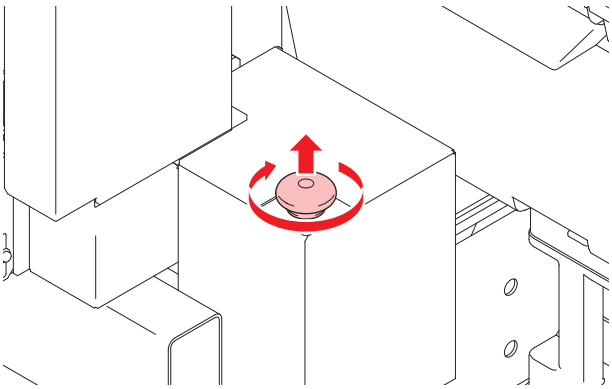


【背面】



重要！

- 非常停止スイッチを押して緊急停止をした場合は、次のようにしてください。
  (1) コンセントを抜いてから、異常原因を取り除く。
  (2) 安全確認後、非常停止スイッチを解除する。

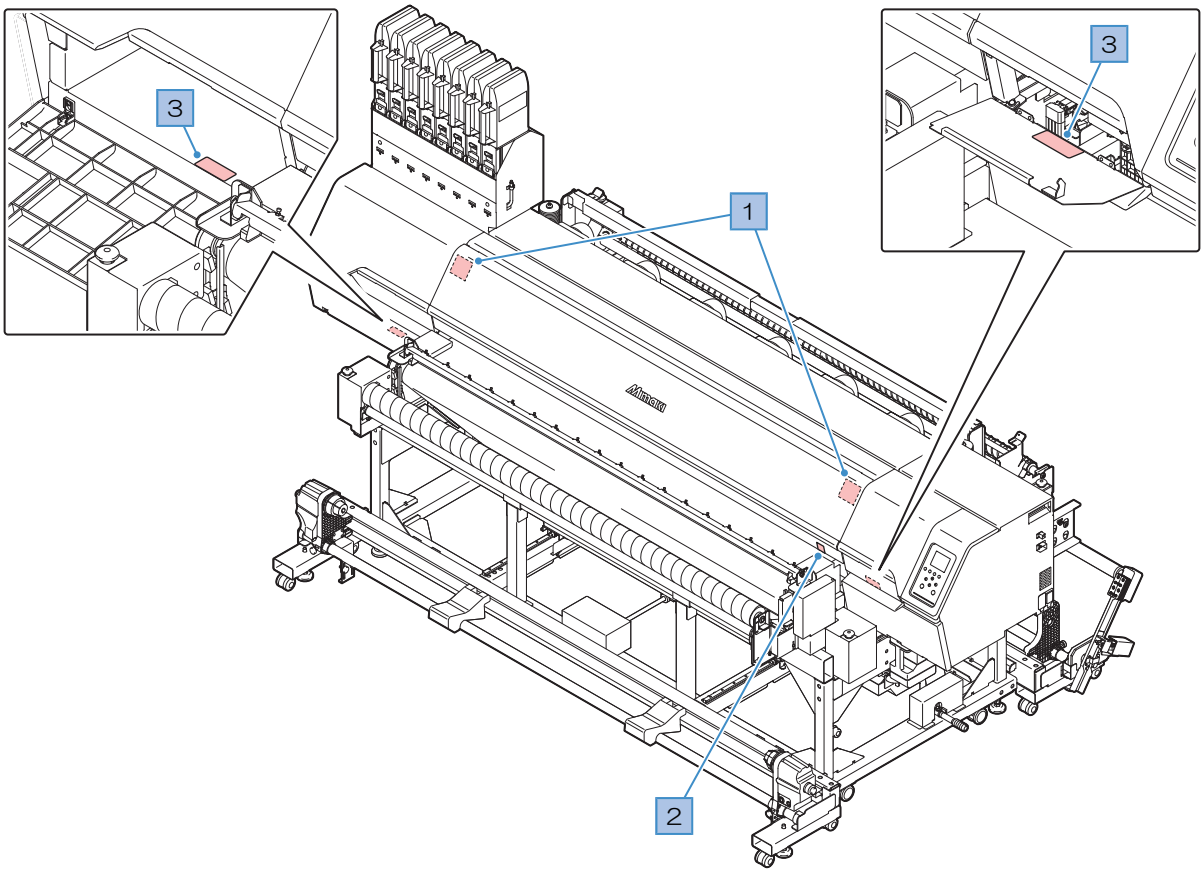


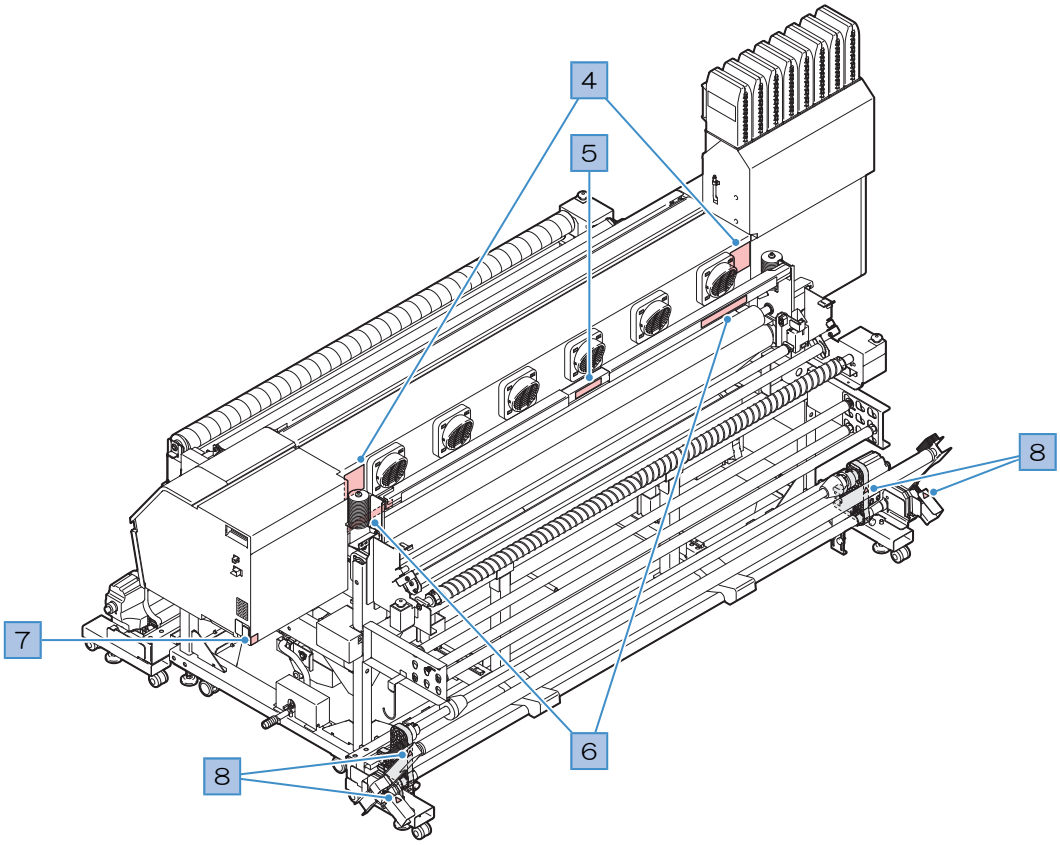
  (3) コンセントを接続する。

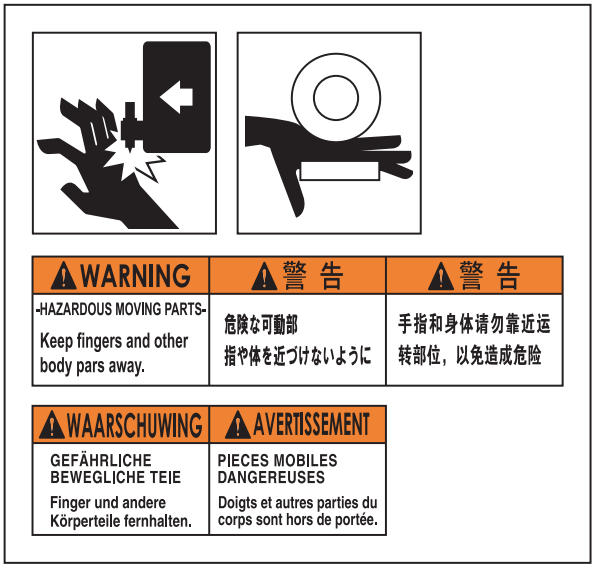
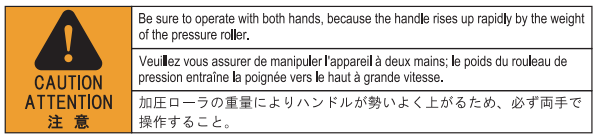
警告ラベル

警告ラベルの内容を十分理解してください。

警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれたりした場合は、販売店、またはお近くの弊社営業所で、新しい警告ラベルをお買い求めください。





No.	注文番号	ラベル	内容
1	M910931		カバーの開閉に注意してください。手を挟むとケガをするおそれがあります。
2	M907833		危険な可動部を示しています。
3	M903330		作業中に保護メガネや手袋を着用してください。
4	M913867		危険な可動部を示しています。
5	M913939		危険な可動部を示しています。
6	M905811		危険な可動部を示しています。
7	M907935		危険な電圧部を示しています。
8	M918910		危険な可動部を示しています。

第 1 章　ご使用の前に

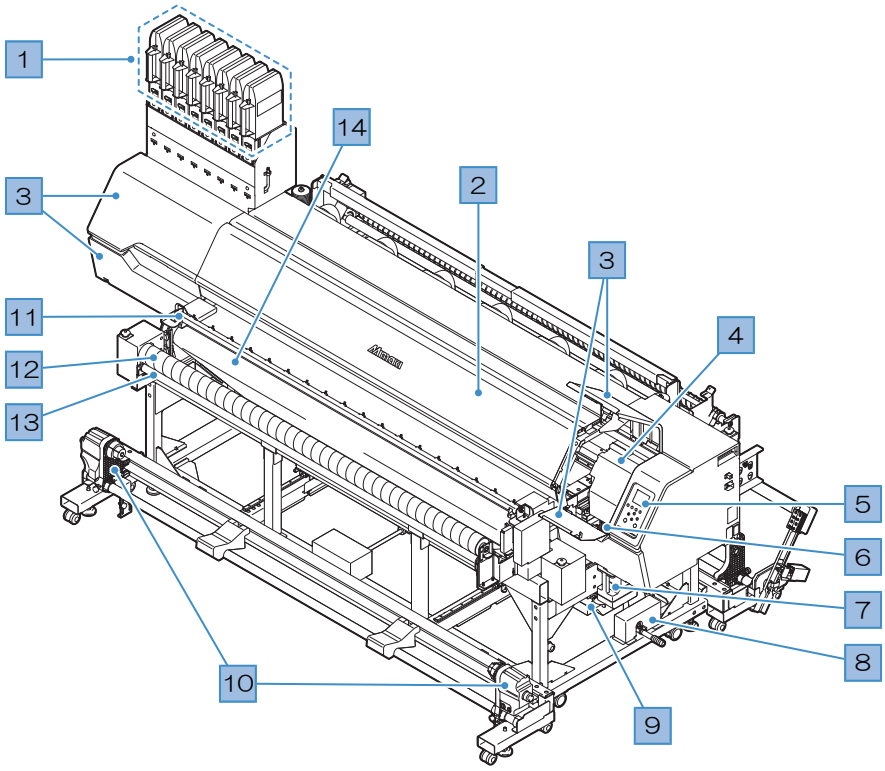
この章では...

各部の名称など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

各部の名称とはたらき.....24
正面 24
背面/右側面 26
インク供給ユニット 28
キャリッジ 29
ステーション..... 29
電源スイッチ..... 30
操作パネル 31
電源ケーブルを接続する.....34
電源を入れる..... 34
電源を切る 35
本機とコンピューターを接続する 37
LANケーブルを使う 37
USBケーブルを使う 38
システム構成.....39
Mimakiドライバーをインストールする 40
RIP用ソフトウェアをインストールする 40
カラープロファイルを入手する.....40
RIP用ソフトウェアを準備する.....40
インクの交換方法.....42
インクニアエンドが表示されたとき 42
インクエンドが表示されたとき.....42
インクを交換する 43

1.1 各部の名称とはたらき

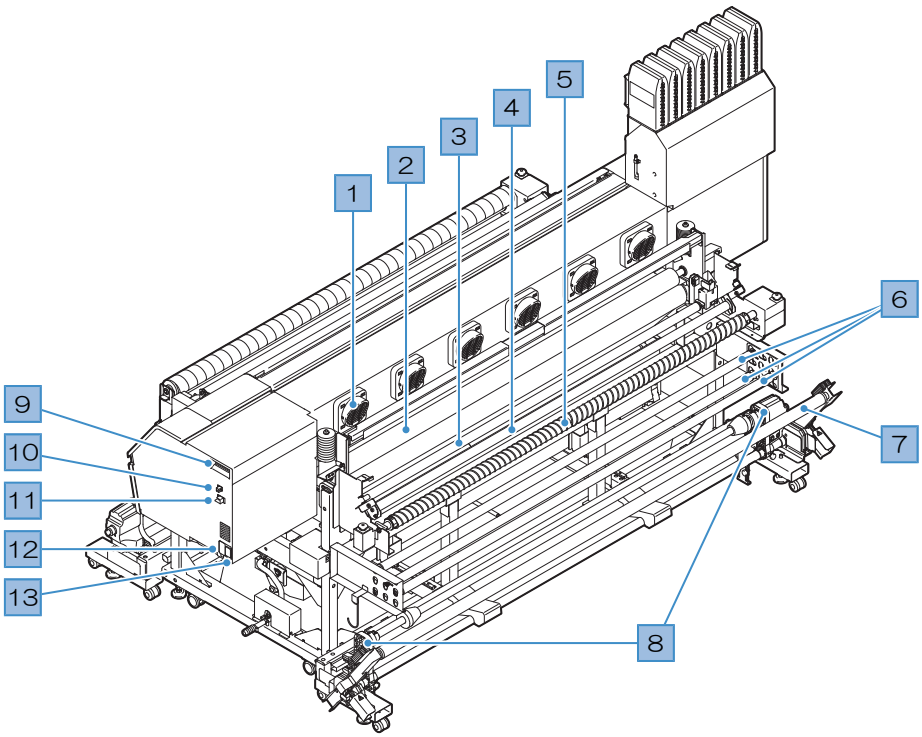
正面



No.	名称	概要
1	インク供給ユニット	各色のインクが入っています。☞「インク供給ユニット」（P. 28）
2	正面カバー	カバーを開けて、メディアをセットしたり、消耗品の交換をしたりします。カバーを開けた状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。
3	メンテナンスカバー	カバーを開けて、キャリッジ底面などをメンテナンスします。カバーを開けた状態では、プリントやオートメンテナンス機能が実行できません。
4	キャリッジ	プリントヘッドやジャムセンサー、などで構成されています。☞「キャリッジ」（P. 29）
5	操作パネル	各種設定や項目を表示するディスプレイ、操作キーが付いています。☞「操作パネル」（P. 31）
6	ステーション	プリントヘッドを保護するキャップやワイパーなどで構成されています。☞「ステーション」（P. 29）
7	廃インクタンク	廃インクを溜める容器です。☞「廃インクタンクの交換」（P. 165）
8	給水バルブ	洗浄水を給水するためのバルブです。バルブは自動で開閉しますが、必要に応じてコックで給水量を調節できます。☞「洗浄水の交換」（P. 132）
9	ベルト洗浄ユニット	搬送ベルトを洗浄します。☞「搬送ベルトのクリーニング」（P. 150）
10	巻き取りユニット	プリントされたロールメディアを巻き取ります。☞「巻き取りユニット」（P. 58）
11	ドクタ	地張り剤の塗り替えに使用します。☞「地張り剤の塗り替え」（P. 138）
12	引き剥がしローラー	布メディアを搬送ベルトより引き剥がします。☞「引き剥がしを使いメディアをセットする」（P. 80）

No.	名称	概要
13	布巻ローラー	引き剥がしローラーに付着したインクを取り除いて布メディアの汚れを防ぎます。☞「布巻ローラーを準備する」（P. 55）
14	搬送ベルト	布メディアを搬送します。☞「搬送ベルトのクリーニング」（P. 150）

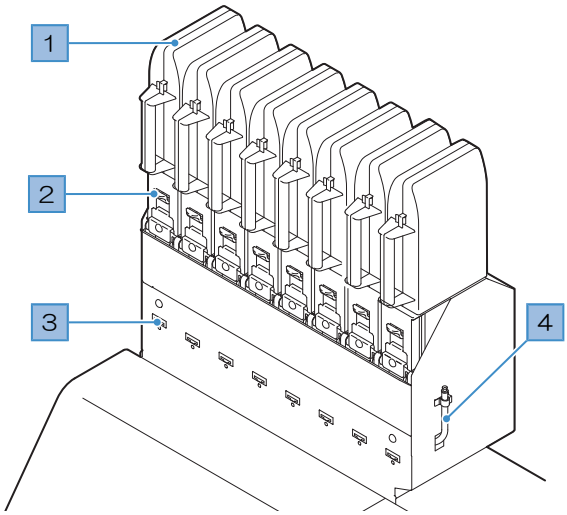
背面/右側面



No.	名称	概要
1	吹き付けファン	送風してプリントしたインクを乾燥させます。☞「吹き付けファンフィルターの交換」（P. 163）
2	加圧ローラー	圧力を掛け、搬送ベルトにメディアを貼り付けます。
3	布巻ローラー	搬送ベルトに付着したインクを取り除いて布メディアの汚れを防ぎます。☞「布巻ローラーを準備する」（P. 55）
4	湾曲バー	布メディアのたるみを取ります。☞「湾曲バーを使ってメディアのたるみを取る」（P. 85）
5	シワ取りローラー	布メディアのシワを伸ばします。☞「シワ取りローラーの取り外しとコマ入れ替え」（P. 86）
6	折り返しバー	繰り出すメディアのテンションを安定させます。☞「折り返しバーの調節方法」（P. 78）
7	繰り出しテンションバー	繰り出すメディアのテンションを調節します。☞「テンションバーを使用する」（P. 68）
8	繰り出しユニット	ロールメディアを装置前面に繰り出すための装置です。☞「繰り出しユニット」（P. 62）
9	メンテナンス液カートリッジ	メンテナンスのときに、メンテナンス液を自動でキャップに充填したり、インク排出経路のインクの凝固を防いたりする用途に使われています。
10	USBポート	USBインターフェイスケーブルでコンピューターと接続します。☞「USBケーブルを使う」（P. 38）
11	LANポート	LANケーブルでコンピューターと接続します。☞「LANケーブルを使う」（P. 37）
12	主電源スイッチ	本機の主電源です。プリントヘッドの吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を防止するため、主電源は切らないでください。☞「電源スイッチ」（P. 30）☞「電源を入れる」（P. 34）☞「電源を切る」（P. 35）

No.	名称	概要
13	ACインレット	付属されている電源ケーブルを使用してください。☞「電源ケーブルを接続する」（P. 34）

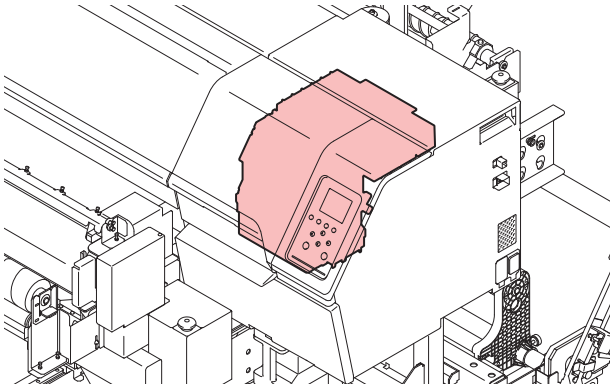
インク供給ユニット



No.	名称	概要
1	インクエコケース	インクエコケースをセットします。☞「インクをセットする」（P. 46）
2	インクレバー	レバーを下方に押して、インクエコケースを外します。
3	インクICチップスロット	インクに付属しているインクICチップを挿し込みます。インクICチップは、インクの情報を管理しています。
4	インク漏れ確認チューブ	チューブにインクが入っているときは、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

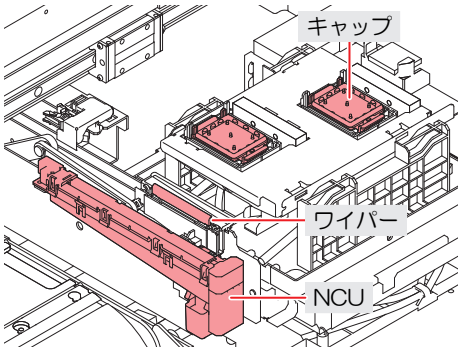
キャリッジ

キャリッジは、インクを吐出するプリントヘッドとメディアが詰まったときにキャリッジを停止させるジャムセンサーなどで構成されています。左右にスキャンしながらインクを吐出して、プリントしています。



ステーション

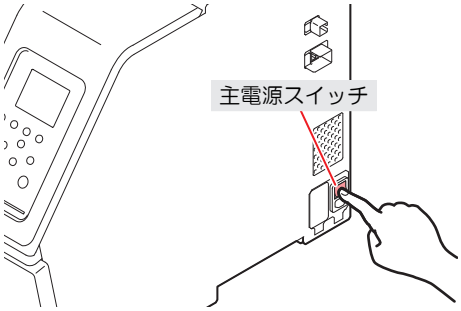
ステーションは、プリントヘッドのノズル面の乾燥を防止するキャップやプリントヘッドのメンテナンスに必要なワイパーなどで構成されています。



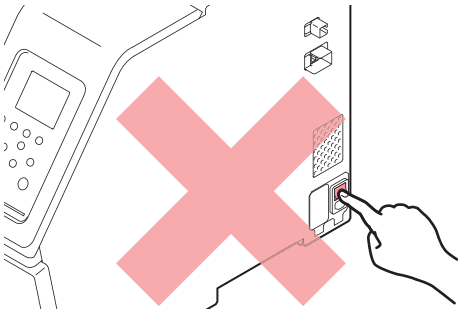
電源スイッチ

● 主電源スイッチ

本機の右側面奥側にあります。



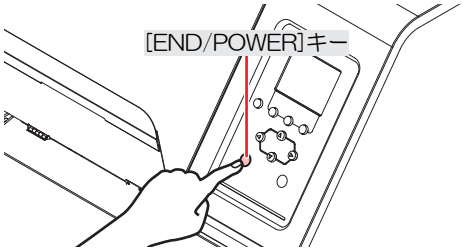
- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



● [END/POWER]キー

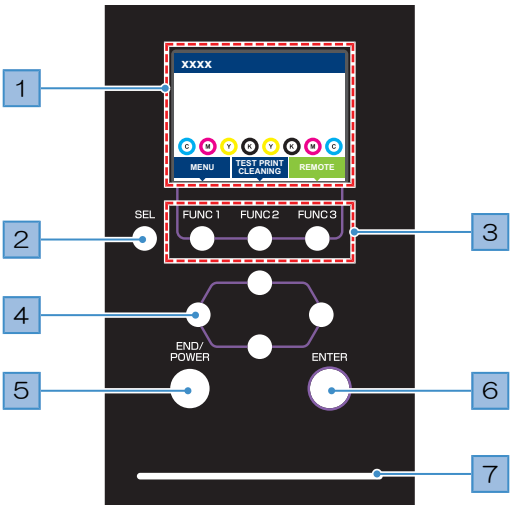
通常の電源オン/オフは、[END/POWER]キーを使用します。

電源を切るとは、[END/POWER]キーを長押しします。ディスプレイに案内が表示されたら、[ENTER]キーを押します。



操作パネル

設定や各種操作をすることができます。

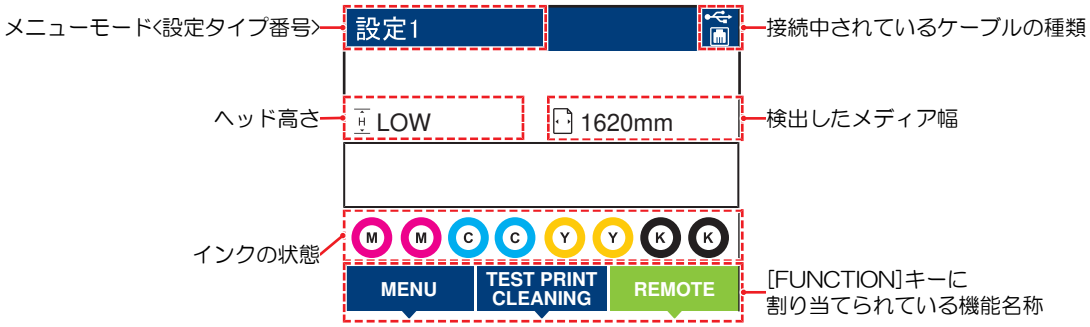


No.	名称	概要
1	ディスプレイ	「ディスプレイ」（P. 32）
2	[SEL]キー	[FUNCTION]キーの機能を切り替えます。
3	[FUNCTION]キー	テストプリントしたり、ヘッドクリーニングしたり、各種設定などしたりするときに使用します。「[FUNCTION]キー」（P. 33）
4	[JOG]キー ▲▼◀▶	キャリッジを移動したり、メディアをフィードしたり、各種設定の項目選択したりするときに使用します。
5	[END/POWER]キー	直前に入力した設定をキャンセルしたり、設定メニューを1つ前の階層に戻したり、また電源をオン/オフしたりするときに使用します。 • 電源がオンのときは、青色に点灯しています。「電源を入れる」（P. 34） • 電源をオフにしたいときは、長押ししてください。「電源を切る」（P. 35）
6	[ENTER]キー	次の階層メニューに移動したり、設定を確定したりするときに使用します。また、本機の情報を表示させることができます。「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 33）
7	ステータスランプ	本機の状態をランプでお知らせします。

消灯		ローカルモードの状態です。テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定することができます。
水色	点灯	リモートモードの状態です。プリントデータを受信するために、スタンバイしています。
	点滅	プリント実行中です。テストプリントなど、本機に内蔵しているパターンをプリントしているときも点滅します。
青色	点灯	プリントしていないデータが残っています。リモートモードに移行して、プリントしてください。
緑色	点滅	メンテナンスを実行中です。メンテナンスが終わるまで、一部機能が制限されます。
黄色	点滅	インクニアエンド（インク残量が残りわずか）の状態です。「インクニアエンドが表示されたとき」（P. 42）
赤色	点滅	エラーが発生しています。エラー一覧を参照して対処してください。エラーメッセージ

No.	名称	概要		
			点灯	システムエラー（SYSTEM HALT）が発生しています。コールセンターに問い合わせください。☞「SYSTEM HALT」（P. 181）

ディスプレイ



メニューモード

4つのメニューモードがあります。

名称	概要
ローカルモード	テストプリントやメンテナンス、各種機能を設定します。
リモートモード	コンピューターから受信したプリントデータをプリントします。
メニューモード	ローカルモード画面から[MENU]を押すと、メニューモードになります。各種機能を設定します。
ノットレディモード	メディアを検出する前の状態です。

インクの状態

インクの残量やエラーなど、インクパックの状態がアイコンで表示されます。

アイコン	概要							
M	インクの残量を9段階のアイコンでお知らせします。							
	M	M	M	M	M	M	M	M
	フル	1/8消費	1/4消費	3/8消費	1/2消費	5/8消費	3/4消費	7/8消費
M	インクの残りがわずかになっていますので、新しいインクを準備してください。							
	プリントすることができません。インクエンドやインクエラーになると表示されます。☞「インクエラー」（P. 173）							

[FUNCTION]キー

[FUNCTION]キーに割り当てられている機能と役割を説明します。

アイコン	概要
MENU	各種メニュー画面を表示します。☞「各種設定」（P. 103）
TEST PRINT CLEANING	テストプリント、クリーニングなどのメンテナンス画面を表示します。
REMOTE	ローカルモードからリモートモードに移行します。
ADJUST	フィード補正、ドット位置補正などの調整画面を表示します。
HEATER	ヒーターの温度設定画面を表示します。
DATA CLEAR	受信データをクリアします。
LOCAL	リモートモードからローカルモードに移行します。
<<	各種メニュー画面で、前の画面へ移動します。
>>	各種メニュー画面で、次の画面へ移動します。
OK	メッセージが表示された場合など、確認画面を終了します。
OFF	各種機能を無効にします。
↓	機能が割り当てられています。設定や機能を表示します。
⌄	複数ある項目の有効/ 無効を切り替えます。

本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すごとに、以下の情報を表示させることができます。

- インク情報：インク種類、インク残量、インクエラーが表示されます。
- 情報：メディア幅、ヘッド高さ、本機シリアルNo.、ファームウェアバージョン、コマンドバージョン、LAN 接続状態が表示されます。

1.2 電源ケーブルを接続する

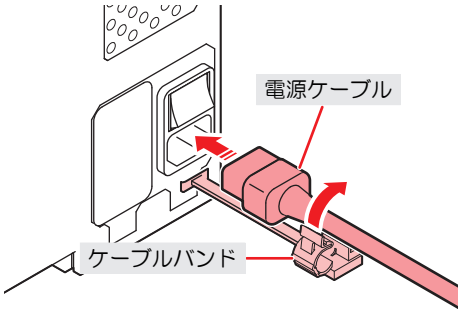
1 主電源が切れているかどうかを確認する。

2 本機にケーブルバンドを接続する。

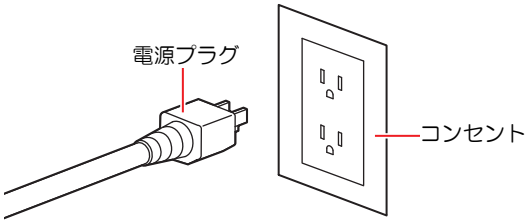
3 本機のインレットに電源ケーブルを接続する。

4 ケーブルバンドに電源ケーブルを固定する。

- クランプに電源ケーブルを通して、「カチッ」と音がするまでクランプしてください。



5 コンセントに電源プラグを接続する。

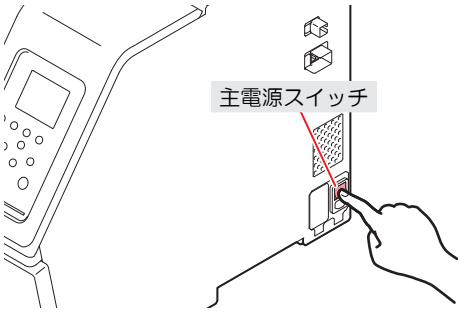


- 濡れた手で電源プラグを抜き挿ししないでください。感電のおそれがあります。

電源を入れる

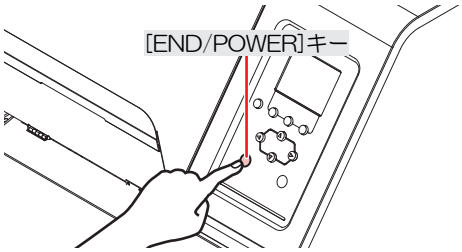
1 主電源が入っているかどうかを確認する。

- 主電源が入っていない場合は、主電源を「I」側に倒します。



2 **[END/POWER]キーを押して、電源を入れる。**

- ディスプレイにファームウェアのバージョンが表示されて、初期動作が実行されます。そのあと、メディア選択モードになって本機を使用することができます。



3 **接続しているコンピューターの電源を入れる。**

- 正面カバーとメンテナンスカバーを閉じてください。カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）や故障の原因になります。

電源を切る

- 電源を切るときは、以下を確認してください。
  (1) 正面カバーやメンテナンスカバーが閉じていること。
  - カバーが開いていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。

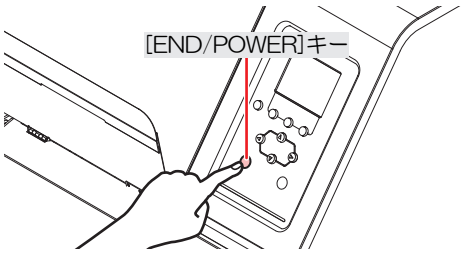
  (2) キャッピングステーションにキャリッジが戻っていること。
  - プリントヘッドのノズル面が乾燥して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

  (3) データを受信していないこと。
  (4) エラーが発生していないこと。
  - ☞「メッセージを表示するトラブル」（P. 171）

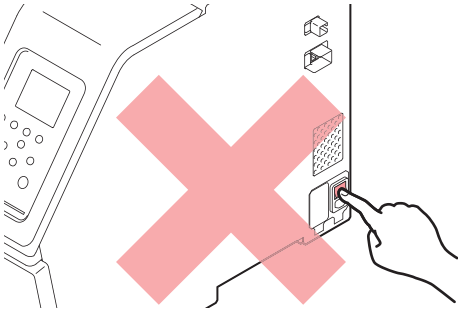
1 **接続しているコンピューターの電源を切る。**

2 **[END/POWER]キーを長押しする。**

- 電源OFF確認画面が表示されます。[ENTER]キーを押すと、電源が切れます。



- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



1.3 本機とコンピューターを接続する

本機とRIP用コンピューターを接続してください。以下のケーブルを使用することができます。

1. ☞「LANケーブルを使う」（P. 37）（推奨）
2. ☞「USBケーブルを使う」（P. 38）

重要！ **USBケーブルを使用した場合**

- 本機へのデータ転送速度が遅くなり、プリント実行中に**キャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります**。

LANケーブルを使う

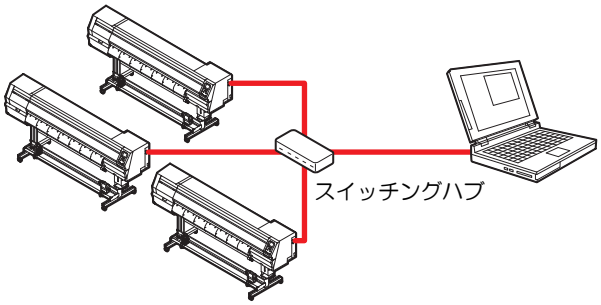
LANケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。カチッと音がするまでLANケーブルを挿し込んでください。

- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

● イーサネット経由で接続するときの注意事項

イーサネットを以下の環境で構築してください。環境が適正でないとプリントすることができません。

- カテゴリー6または、カテゴリー6AのLANケーブルを使用してください。
- 本機とプリントデータを転送するコンピューターは、同じイーサネットに設定してください。ルーターを経由した接続はできません。
- 1000BASE-T対応のコンピューター、スイッチングハブを使用してください。未対応の場合はプリントすることができません。



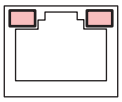
● LAN接続確認方法

1 本機のディスプレイを確認する。

- ローカルガイダンスで確認することができます。☞「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 33）“100Mbps”、“10Mbps”、“ 接続なし”表示されている場合は、プリントすることができません。

2 LANコネクターのランプを確認する。

- 本機が起動しているとLAN コネクターのランプが点灯します。



色	状態	概要
緑	点灯	1000BASE-Tで接続されています。
	消灯	1000BASE-T以外で接続されています。 • 橙ランプだけが点灯、もしくは点滅している場合、1000Mbpsに対応していません。コンピューターや周辺機器、ケーブルの仕様を確認してください。
橙	点灯	リンクアップ（接続されています）。
	点滅	データを受信中です。
	消灯	リンクダウン（接続されていません）。

USBケーブルを使う

USBインターフェイスケーブルを使って、本機とコンピューターを接続します。

- データ転送中は、ケーブルを抜いたり挿したりしないでください。

- USBインターフェイスに対応しているRIP用ソフトウェアを使用してください。

- コンピューターにUSBポートが付いていない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

重要！ **USBケーブルを使用した場合**

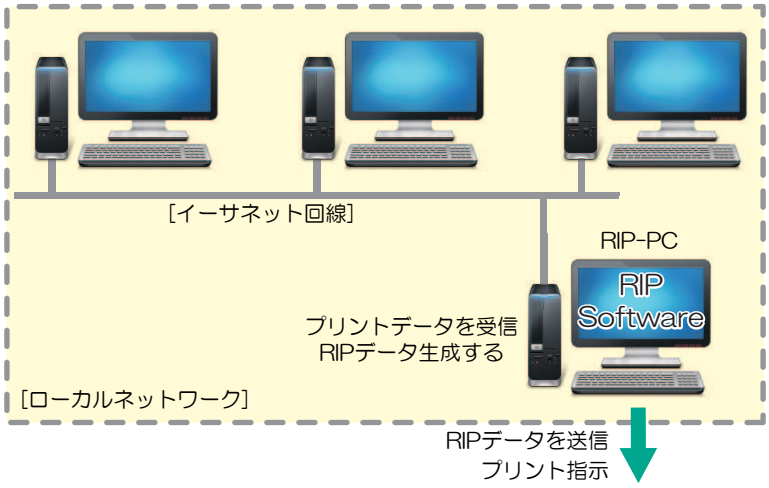
- 本機へのデータ転送速度が遅くなり、プリント実行中に<u>キャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります</u>。

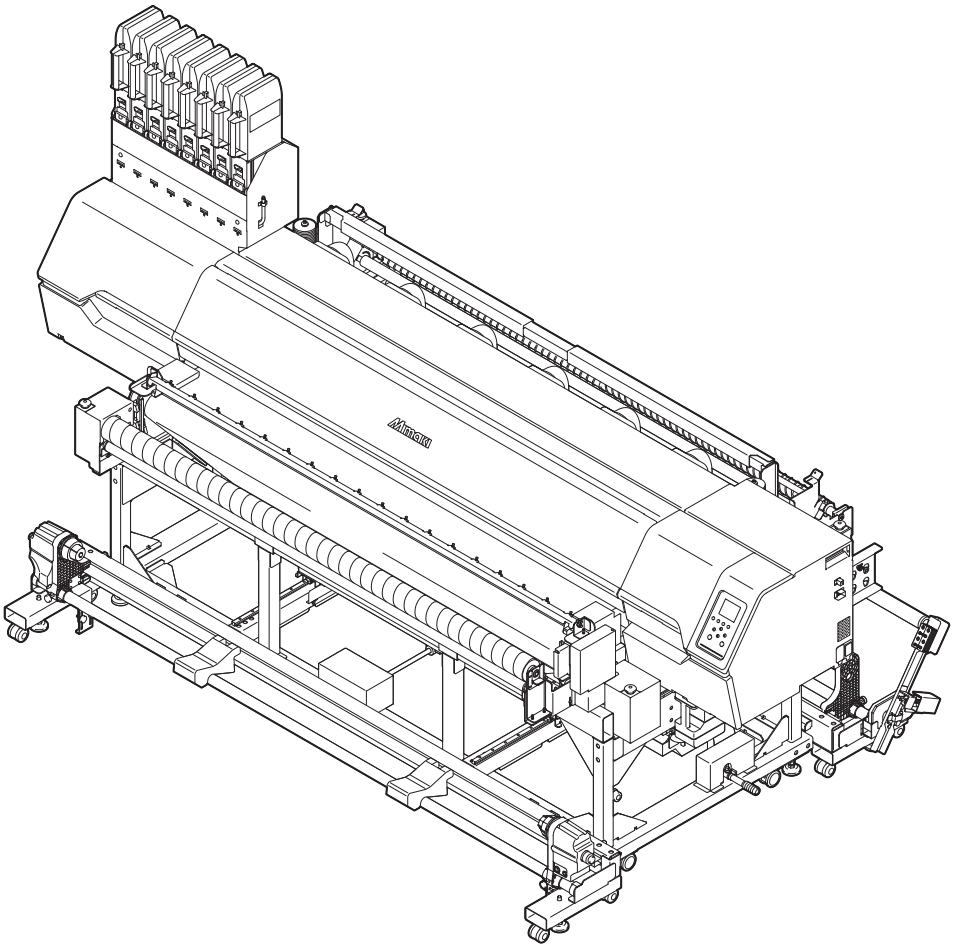
● USB接続についての注意事項

- 1台のコンピューターに複数のTx330-1800Bを接続する場合
  - 複数のUSBポートが付いているコンピューターの場合は、他のUSBポートでも本機を認識できるかどうかを確認してください。USBポートを挿し替えても認識しない場合は、市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。
- USBケーブルを延長する場合
  - 市販のUSBアクティブリピーターケーブルを使用してください。ただし、USBケーブルとUSBアクティブリピーターケーブルの総距離が、20m以下になるようにしてください。
  - USBケーブルを延長した場合、本機へのデータ転送速度が低下して、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止する原因になります。
- USBハイスピードモードの周辺機器について
  - 本機を接続しているコンピューターにUSB ハイスピードモードの周辺機器 （USB メモリ、USB-HDDなど）を接続しても認識できないおそれがあります。また、外付けの USB ハードディスクドライブなどを接続すると、本機へのデータ転送速度が低下して、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止する原因になります。
- USBメモリーの抜き方
  - 本機を接続しているコンピューターからUSBメモリーを抜く場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。[ERROR **コマンドエラー] 発生の原因になります。

1.4 システム構成

IllustratorやPhotoshopなどのアプリケーションで作成したプリントデータを、RIP用ソフトウェアを使ってプリントの指示をします。





Mimakiドライバーをインストールする

1 **弊社ウェブサイトから、Mimakiドライバーをダウンロードする。**

- https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
  [Tx330-1800B] > [ドライバ/ユーティリティ]

2 **MIMAKIドライバーをインストールする。**

RIP用ソフトウェアをインストールする

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

重要！
- TxLinkを使用される場合は、TxLinkの取扱説明書をご覧ください。

1 **“RasterLink”をインストールする。**

- インストールされている場合は、コンピューター のデスクトップ上に以下のアイコンが表示されています。

- 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

- インストールしたあとに、RasterLinkのライセンス認証を完了させてください。"プロファイルアップデート”を起動することができません。

カラープロファイルを入手する

メディアやインクセットによって、プリント品質（色み、にじみなど）が、変わってしまいます。メディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択することで、プリント品質を一定に保つことができます。

- RasterLinkシリーズではインターネットから直接カラープロファイルをダウンロードして、インストールする機能を提供しています。詳しくはRasterLinkシリーズのインストールガイド「プロファイルのインストール」をご覧ください。
  https://japan.mimaki.com/download/software.html
  [ご使用のRasterLinkシリーズ] > [マニュアル]
- 弊社ウェブサイトでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）のカラープロファイルを提供しています。
  https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
  [Tx330-1800B] > [プロファイル]

RIP用ソフトウェアを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

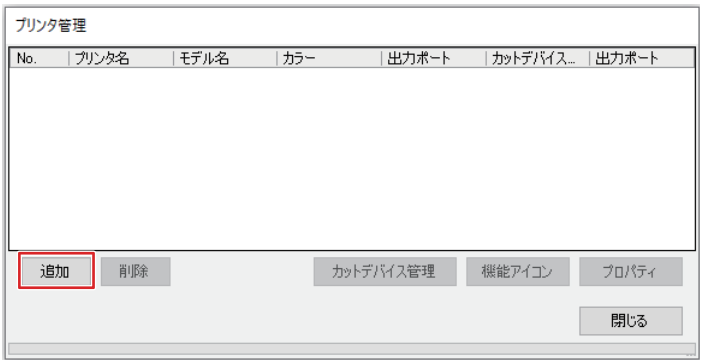
重要！
- TxLinkを使用される場合は、TxLinkの取扱説明書をご覧ください。

1 “RasterLink”を起動する。

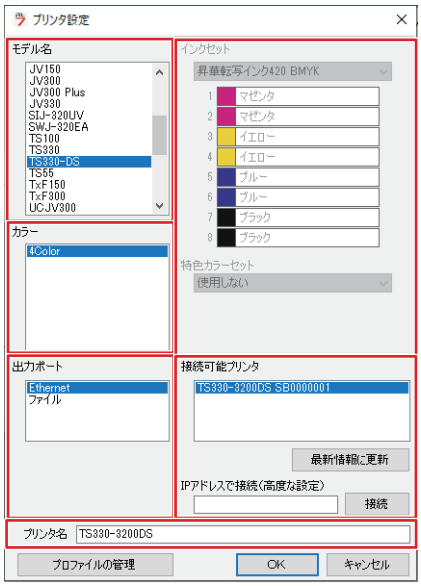
- [プリンタ管理]画面が表示されます。
- 新たに機種を追加したいときは、“RasterLink”を起動したあとに、[環境設定] > [プリンタ管理]から、登録することができます。

2 Tx330-1800Bを登録する。

(1) [追加]をクリックする。



(2) Tx330-1800Bの情報を設定する。



- モデル名：モデルを選択
  通常インクセット搭載時は「Tx330」を選択
  Hybridインクセット搭載時は「Tx330-Hybrid」を選択
- カラー：充填されているインクセットを選択
- 出力ポート：接続しているケーブルを選択
- 接続可能プリンタ：接続しているTx330-1800Bを選択
- プリンタ名：任意の名称を入力

(3) [OK]をクリックする。

- 確認画面が表示されます。

(4) [はい]をクリックする。

- プリンターの登録が開始されます。

- 詳しくは、"RasterLink"のインストールガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

1.5 インクの交換方法

インクニアエンドが表示されたとき

インクの残量が残りわずかになっています。インクパック内のインクは空になっているので、早めに新しいインクに交換することをお勧めします。プリントすることはできますが、連続でプリントできなかったり、クリーニングなどの一部のメンテナンス機能が無効になります。またプリントの途中でインクがなくなるおそれがありますので注意してください。

ローカルモード画面で[ENTER]キーを押すと、交換が必要なインクカラーを確認することができます。☞「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 33）

インクエンドが表示されたとき

インクがなくなりました。新しいインクに交換してください。

以下をよくお読みいただき、十分に理解してからインクを交換してください。
☞「インクやその他本機で使用されている液体を取り扱うときの注意事項」（P. 12）

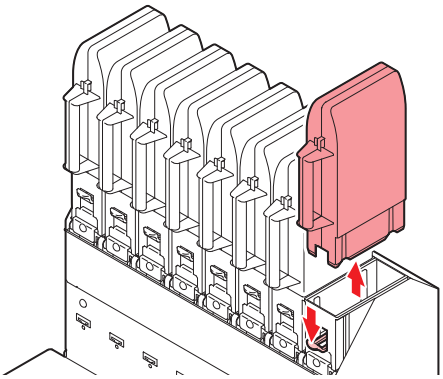
- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

インクを交換する

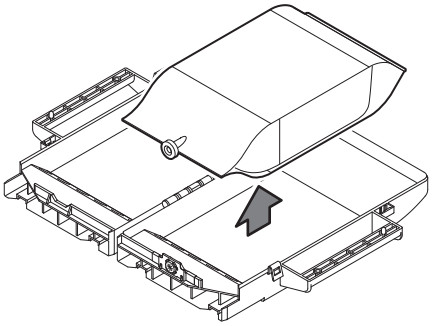
インク交換手順

● インクエコケースを外す

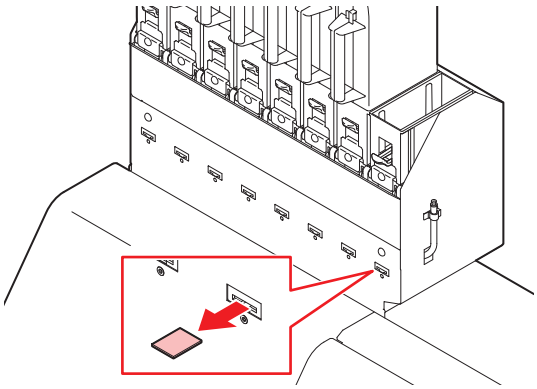
1 台座のレバーを押し下げて、インクエコケースを外す。



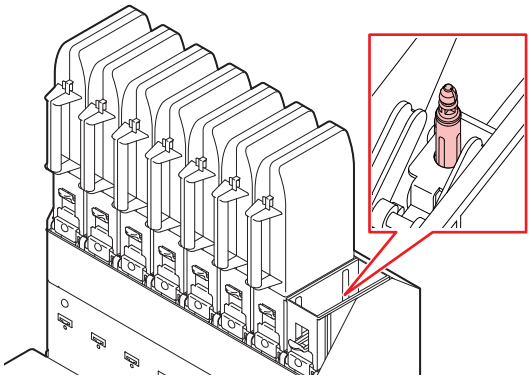
2 インクエコケースを開けて、インクパックを外す。



3 インクICチップを外す。

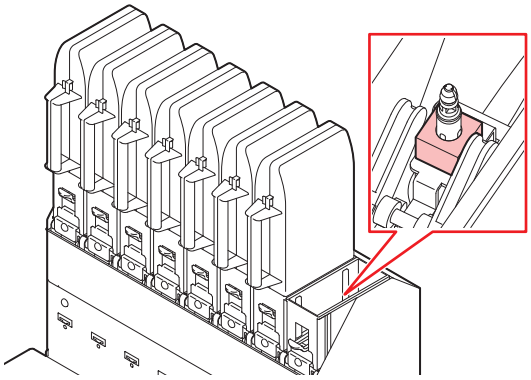


4 インクエコケースの挿し込み口に付着しているインクを拭き取る。



- 挿し込み口に紙タオルの欠片やホコリなどの異物が付着していないかどうかを確認してください。異物が付いたまま使い続けると、インク経路に異物が詰まってインクが漏れる原因になります。

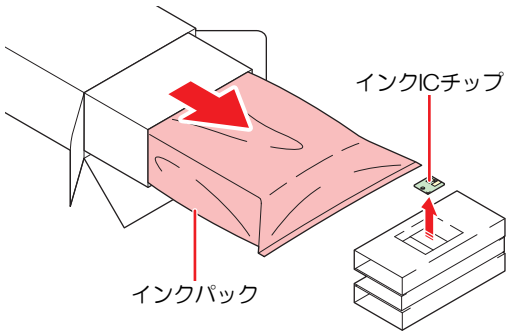
- インク供給ユニットの台座の汚れを防止するために、インクパックを交換するたびにインク吸収材の交換をお勧めします。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や紙タオルなどを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

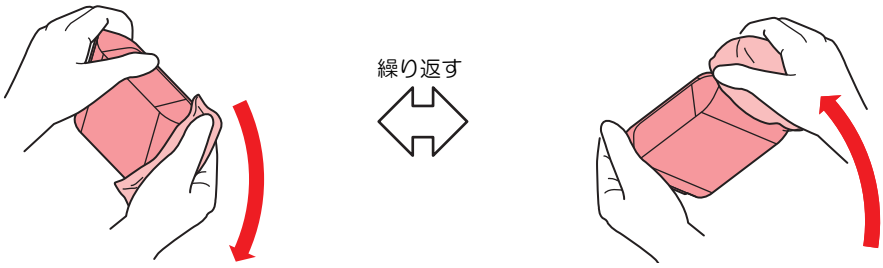
● インクを準備する

1 インク梱包箱から、インクパックとインクICチップを取り出す。



2 インクパックを20回以上ゆっくりと左右に振る。

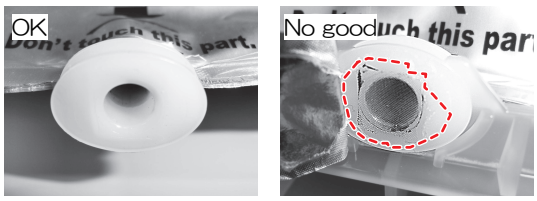
- インクパックの挿し込み口を紙タオルなどで押さえて、インクを流すように左右に振ってください。



- 使いかけのインクパックの場合は、インクエコケースの挿し込み口を紙タオルなどで押さえて、インクエコケースが縦になるまで傾けてゆっくりと振ってください。

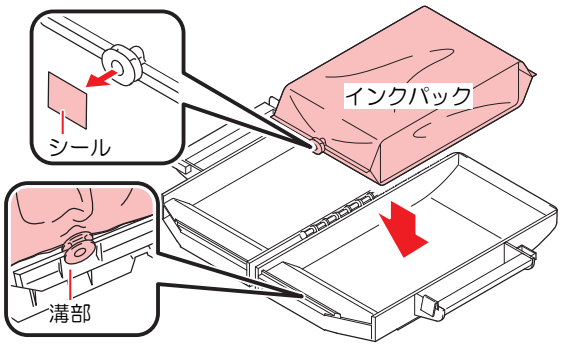
3 インクパックの挿し込み口に貼ってあるシールを剥がす。

- シールが残らないように剥がしてください。シールが残っていると、台座からインクエコケースを外したときに、インクが漏れるおそれがあります。



4 インクエコケースにインクパックを入れる。

- インクパックのコネクターをインクエコケースの溝部にはめ込んでください。ずれているとインクが供給できないおそれがあります。
- インクエコケースのラベル表示に従って、パックの形を整えてください。

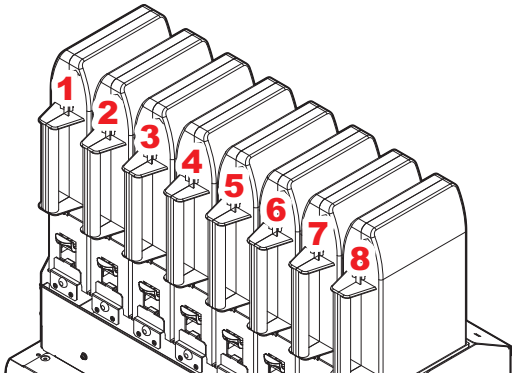


5 インクパックを挟まないように、静かにインクエコケースを閉じる。

- 手や指を挟まないように注意してください。

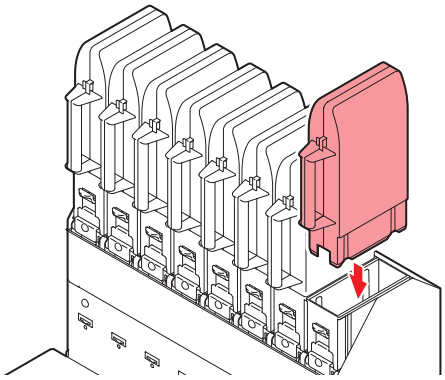
● インクをセットする

お使いになるインクセットによって、セットするインクエコケースの順番が異なります。インクスロットの番号を確認してから、正しい色のインクエコケースを挿し込んでください。



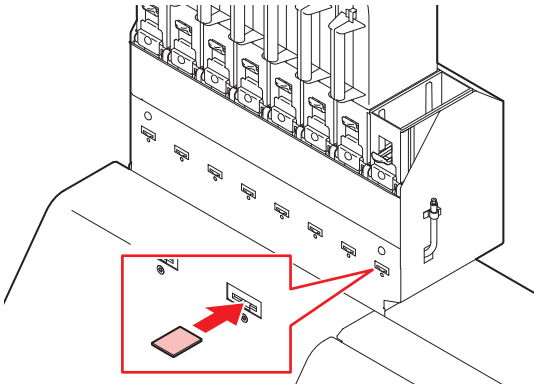
インクセット	インク配置							
	1	2	3	4	5	6	7	8
Sb420（4-color）	M	M	Y	Y	BL	BL	K	K
Sb420（6-color）	M	LM	Y	LBL	BL	BL	K	K
TP410（4-color）	M	M	C	C	K	Y	K	Y
TP410（8-color）	M	R	C	BL	LK	G	K	Y
Sb420 / TP410（4-color,Hybrid）	Sb420				TP410			
	M	Y	BL	K	M	C	K	Y

1 台座にエコケースをセットする。



- 奥までしっかりと押し込んでください。インクが供給されないおそれがあります。

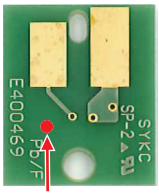
2 新しいインクICチップをインクICチップスロットに挿し込む。



- インクICチップは金属が付いている面を上に向けて挿し込んでください。方向を間違えて挿し込むと、本機が故障したり、インクICチップが破損したりするおそれがあります。

- インクICチップの金属部分には触れないでください。静電気でインクICチップが破損したり、汚れや傷などによってインクICチップが読み取りエラーになる原因になります。

- <u>インクICチップについて</u>：インクICチップのマークは、色情報を示しています。



マーク位置

インクカラー	表示マーク
シアン	●（青丸1つ）
マゼンタ	●（赤丸1つ）
イエロー	●（黄丸1つ）
ブラック	●（黒丸1つ）
ライトシアン	●●（青丸2つ）
ライトマゼンタ	●●（赤丸2つ）
ライトブラック	●●（黒丸2つ）
オレンジ	●（橙丸1つ）
ホワイト	○（白丸1つ）
ブルー	●●（青丸1つ/赤丸1つ）
ライトブルー	●●●（青丸2つ/赤丸1つ）
レッド	●●（赤丸1つ / 黄丸1つ）
グリーン	●（緑丸1つ）

- インクと一緒に梱包されているインクICチップを挿し込んでください。インクICチップには、インクカラーやインク残量、消費有効期限などの情報が書き込まれています。異なるインクICチップを挿し込んだ場合、プリントすることができません。

第 2 章 プリントしてみる

この章では...

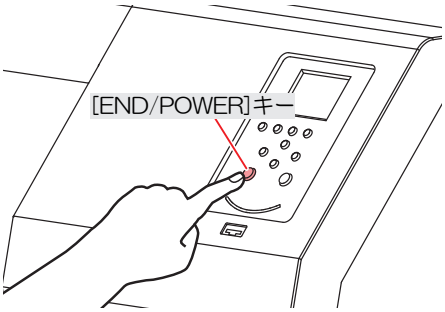
プリントの手順や設定方法について説明しています。

プリントの流れ 50
プリントヘッドの高さを調整する.....53
布巻ローラーを準備する.....55
メディアをセットする.....57
　メディアについて 57
　巻き取りユニット 58
　繰り出しユニット 62
　ロールメディアをセットする 68
　メディアを登録する..... 89
テストプリントをする.....91
　テストプリントの配置方向を変更する..... 92
　吐出不良について 92
ヘッドクリーニングをする 93
フィード補正をする.....94
　フィード補正の手順.....94
ドット位置補正をする 96
　ドット位置補正の手順 96
RIPデータを準備する.....98
プリントする.....100
　原点を変更する.....100
　プリントを開始する.....101
　プリントを中止する（データクリア）.....102

2.1 プリントの流れ

1. 本機の電源を入れる

☞「電源を入れる」（P. 34）



2. RIP用コンピューターと本機を接続する

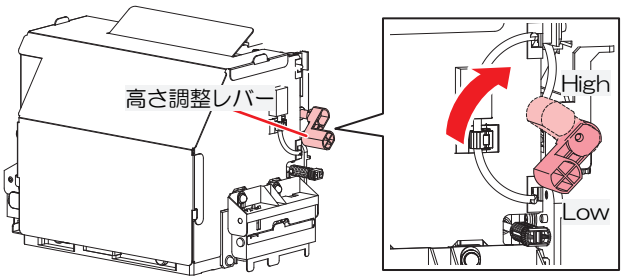
☞「USBケーブルを使う」（P. 38）
☞「LANケーブルを使う」（P. 37）

3. RIP用ソフトウェアを準備する

☞「RIP用ソフトウェアをインストールする」（P. 40）（初回のみ）
☞「カラープロファイルを入手する」（P. 40）
☞「RIP用ソフトウェアを準備する」（P. 40）（初回のみ）

4. プリントヘッドの高さを調整する

高さ調整レバーは、お使いになるメディアに合わせて調整してください。☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 53）



5. 布巻ローラーを準備する(2箇所)

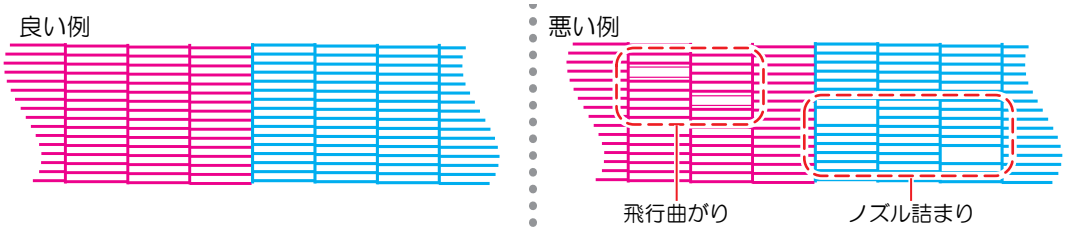
☞「布巻ローラーを準備する」（P. 55）

6. メディアをセットする

☞「メディアをセットする」（P. 57）

7. プリントヘッドのノズルの状態を確認する

☞「テストプリントをする」（P. 91）

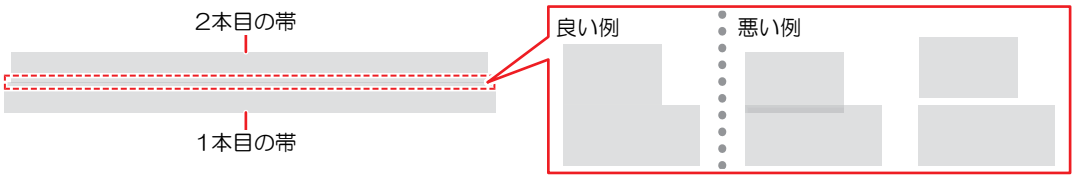


8. 不良ノズルがあったら、ヘッドをクリーニングする

ヘッドクリーニングは、3種類あります。テストプリントの結果によって使い分けてください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 93）

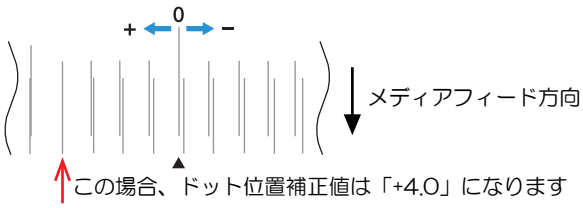
9. メディアの送り量を調整する

☞「フィード補正をする」（P. 94）



10. 双方向プリントするときは、ドット位置を調整する

☞「ドット位置補正をする」（P. 96）



11. RIPデータを準備する

☞「RIPデータを準備する」（P. 98）

12. RIPデータをプリントする

☞「プリントする」（P. 100）

2.2 プリントヘッドの高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて、プリントヘッドの高さを調整してください。

- プリントヘッドの高さを変更したあとは、必ずドット位置補正を実施してください。☞「ドット位置補正をする」（P. 96）

重要！
- インクジェットプリンターは、プリントヘッドとメディア間のギャップが広がると、インク滴がメディアに到達できずにミスト化してしまう傾向があります。ミスト化したインクがプリントヘッドのノズル面やメディアに付着してプリント品質に影響がでたり、プリントヘッドが故障したりするおそれがあります。プリントヘッドの高さはメディアに合わせて調整してください。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

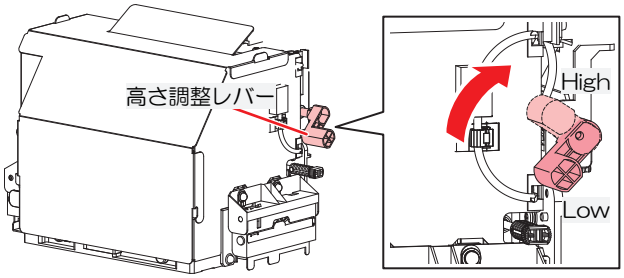
2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

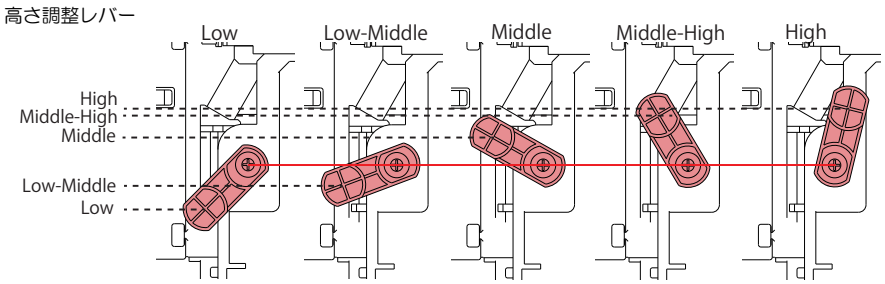
- キャリッジが搬送ベルト上に移動します。

3 **正面カバーを開く。**

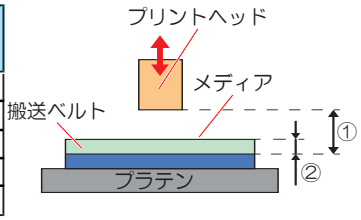
4 **高さ調整レバーで高さを変更する。**

重要！
- 高さ調整レバーは、設定したい高さが上になるように設定してください。正しい位置にレバーがないと、メディアジャムやミストなど、故障やプリント品質に影響がでるおそれがあります。
- HIgh時にするときは、レバーを奥まで倒しすぎないようにご注意ください。



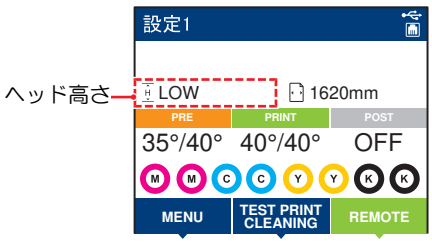


レンジ	①プリントヘッドと搬送ベルトの距離	②推奨メディア厚み
High	7.0mm	3.5mm～5.0mm
Middle-High	6.0mm	2.0mm～4.0mm
Middle	5.0mm	1.0mm～3.0mm
Low-Middle	4.0mm	～2.0mm
Low	3.0mm（初期設定）	～1.0mm



5 **調整が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

- ディスプレイに表示されているヘッド高さを確認してください。設定した高さになっていない場合は、再度高さ調整レバーで高さを変更してください。



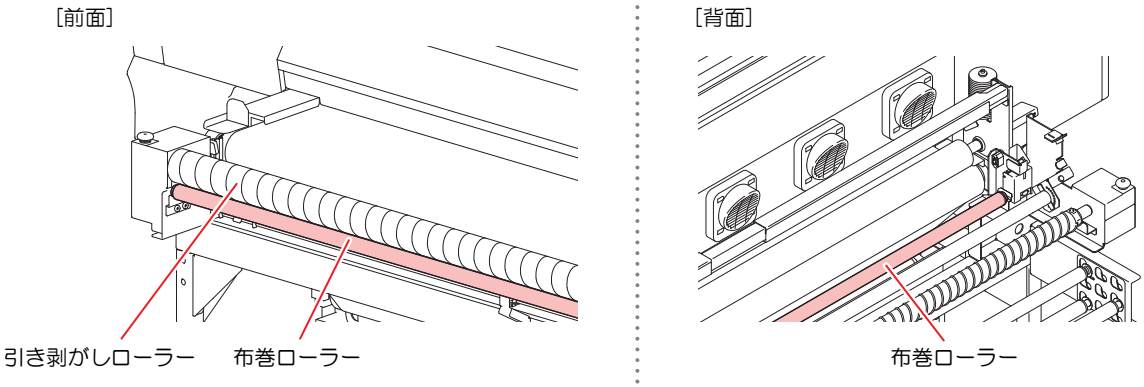
2.3 布巻ローラーを準備する

目の粗い布などにプリントしたとき、布の裏側に残ったインクが引き剥がしローラーに付着し、布メディアを汚してしまう場合があります。
布巻ローラーを取り付けておけば、引き剥がしローラーに付着したインクを取り除いて布メディアの汚れを防ぐことができます。

重要！
- 出荷時には布巻ローラーに布は巻かれていません。以下の条件に合う吸水性の良い布をご用意ください。
- 使用する布により、長さ等は調整してください。（引き剥がしローラーと布巻ローラーが端、中央で当たるようにしてください）
  (1) 素材：綿天竺、綿ブロードなど
  (2) サイズ：195cm x 70cm（目安）

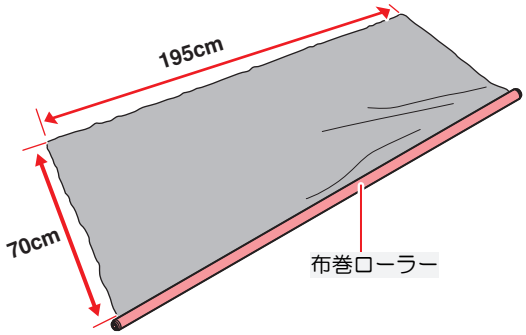
1 **布巻ローラーを取り外す。**

- 布巻ローラーは本機前面の引き剥がしローラーの下と、本機背面のベルト面当て用があります。

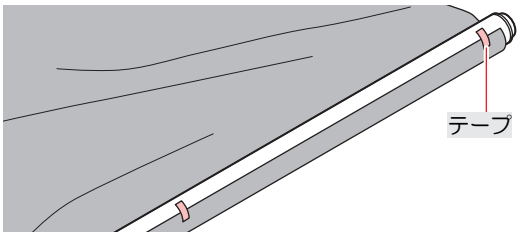


2 布巻ローラーに布を巻き付ける。

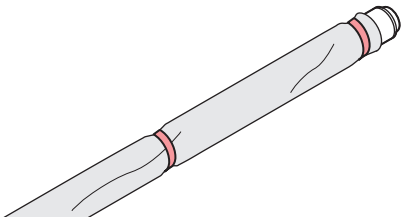
(1) 布とローラーを合わせる。



(2) 布とローラーを粘着テープで固定する。



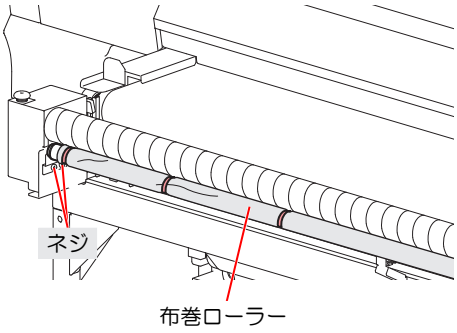
(3) 布をローラーに巻き付け、粘着テープで固定する。



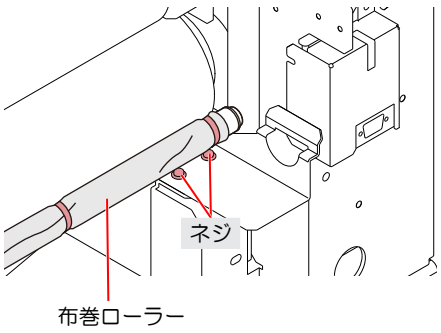
3 布を巻いた布巻ローラーを取り付ける。

- ブラケットの下にある溝に布巻ローラーを取り付けます。
- 布巻ローラー両端の軸受け部の位置を調節してください。
  軸受け部のネジを緩め、布巻ローラーが引き剥がしローラーに接触するようにします。

［前面］



［背面］



重要！
- 両端と中央で引き剥がしローラーと布巻ローラーが接触するように固定してください。
  両端と中央で接触しない場合は、布巻ローラーに巻く布のサイズを適宜変更してください。

4 引き剥がしローラーを手で回転させ、スムーズに回転することを確認する。

- 引き剥がしローラーがスムーズに回転しないときは、布巻ローラーの取付位置を確認してください。

2.4 メディアをセットする

- メディアをセットする前に、ヘッド高さを調整してください。メディアをセットしたあとにキャリッジを動作させると、プリントヘッドがメディアに接触して、破損するおそれがあります。

メディアについて

● メディアの取り扱いに関するご注意

- 高画質で安定したプリントをするために、弊社推奨のメディアをご使用ください。

⚠ 警 告

- ロールメディアは、2人以上で取り付けてください。（メディア重量に応じて最大6人で作業を行うこと）
- ロールメディアをセットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。また、指を挟まないように注意してください。メディアの重みで怪我をするおそれがあります。

注 記

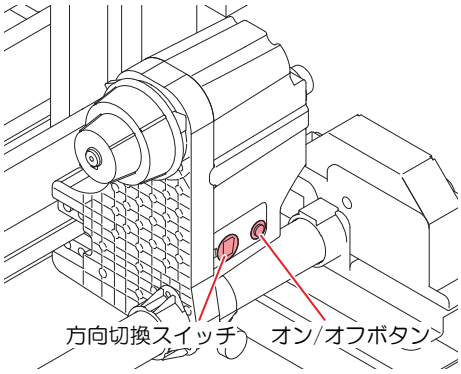
- メディアセット時にリフターを使用する場合は、リフター仕様をご確認の上、ご準備ください。

- 本機にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアにホコリが付着する原因になります。また、ホコリをふき取ったメディアは使わないでください。静電気が発生して、プリント品質に影響がでるおそれがあります。
- 包装を開けてから間もないメディアを使用しないでください。メディア保管場所の温度や湿度によって、メディアが伸縮しているおそれがあります。本機と同じ室内環境下で、24時間以上経過してから本機にセットしてください。
- カールしたメディアは使用しないでください。プリントヘッドが破損する原因になるだけでなく、プリント品質に影響がでるおそれがあります。

- 未開封のメディアの場合、高温多湿を避けた、直射日光の当たらない場所で保管してください。
- 開封後は、表面（特に、印刷面）はできるだけ触れないように注意してください。

巻き取りユニット

巻き取りユニットのスイッチを使って、メディアの巻き取り方向を変更することができます。



名称	概要	
方向切換スイッチ	上(REVERSE)	プリント面を内側にして巻き取る
	下(FORWARD)	プリント面を外側にして巻き取る
オン/オフボタン	巻き取り動作のオン/オフを切り替える。 • トルクリミッター装着時：ボタンを押して巻き取りユニットを動作させると、再度ボタンを押すまで巻き取り動作を継続します。*1 • モーター直結ユニット装着時：オン/オフボタンを押している間だけ、巻き取り動作を行います。	

*1. オン/オフボタンを押している間だけ繰り出し動作をするように設定する場合は、機能設定の「搬送ユニット使用選択」の"繰出／巻取スイッチ" で設定してください。設定メニューのマージンを左右を最小値（5mm）に設定したとき。☞「機能設定メニュー」（P. 112）

モーター直結ユニット / トルクリミッターの交換

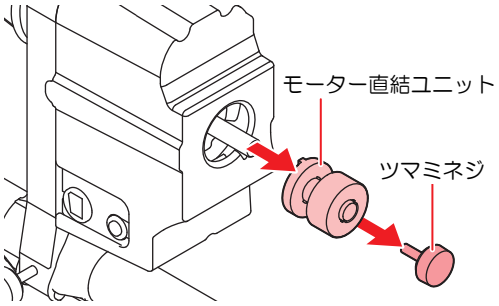
巻き取りユニットは、引き剥がし機能を使用する場合にはモーター直結ユニットに、使用しない場合にはトルクリミッターに交換してください。
繰り出しユニットは、テンションバーを使用する場合にはモーター直結ユニットに、使用しない場合にはトルクリミッターに交換してください。
トルクリミッターは繰り出し/巻き取りの強さを変更できます。(工場出荷時は、トルクリミッターを“中”で設定してあります。)
薄いメディアを使用してテンションが強すぎる時は、調節を弱めてください。

● トルクリミッターの取り付け

テンションバーを使わずにメディアを巻き取る場合、モーター直結ユニットの代わりにトルクリミッターに交換する必要があります。

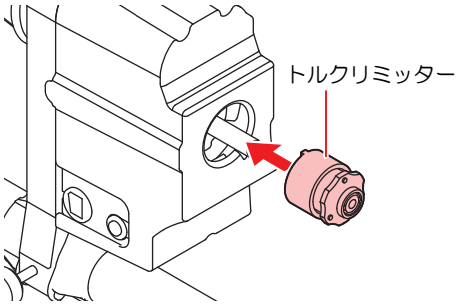
1 モーター直結ユニットを取り外す。

• ツマミネジを外し、モーター直結ユニットを取り外します。



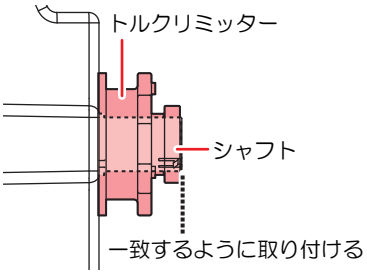
2 トルクリミッターを取り付ける。

(1) トルクリミッターを差し込む。

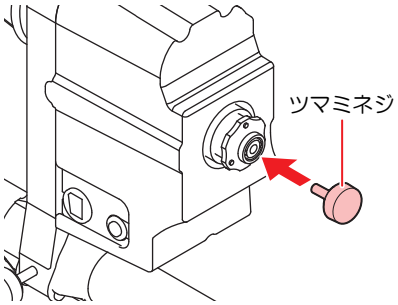


(2) 図のように、繰り出し/巻き取りユニットのシャフトの先端とトルクリミッターの面が一致するように取り付ける。

- シャフトの先端とトルクリミッターの面が一致しない状態でお使いになると、メディアをうまく巻き取れなくなります。



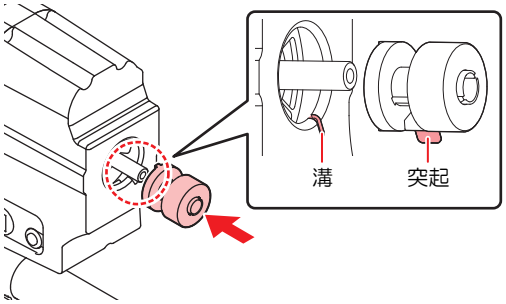
(3) ツマミネジでトルクリミッターを固定する。



● モーター直結ユニットの取り付け

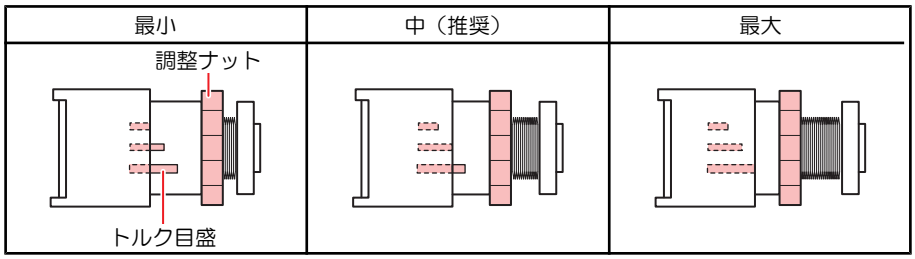
トルクリミッターからモーター直結ユニットに付け替える場合も、トルクリミッターの交換手順を参考にしてください。

- モーター直結ユニットを取り付けるときは、モーター直結ユニットの突起と繰り出し/巻き取りユニットの溝を合わせるようにして取り付けてください。



トルクリミッターを調節する

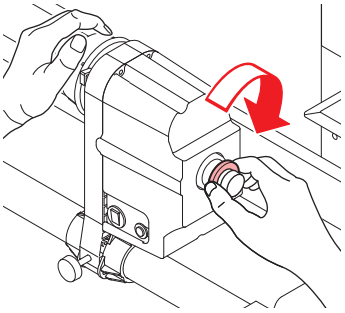
トルクリミッターの調整ナットを回して、巻き取りの強さを変更できます。変更する場合は、**必ず左右の巻き取りユニットのトルクを同じ強さに調節してください。**



- 通常プリントの場合：トルクは“中”に調節してください。

● テンションを強くする（時計回り）

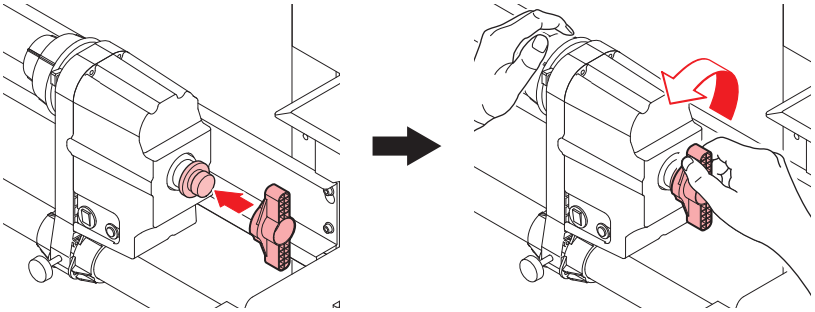
ターポリン等の重量のある厚いメディアをお使いのときにテンションを強くします。手で調整します。



- トルク調整ハンドルは使用しないでください。トルク調整ハンドルを使用すると強く締め過ぎる原因になります。強く締めてしまうと、巻き取りユニットが破損するおそれがあります。

● テンションを弱くする（反時計回り）

軽量のメディアをお使いのときにテンションを弱くします。付属の"トルク調整ハンドル”を使って調整します。



プリント済みロールメディアを取り外す

● 手順

1 メディアを切り取る。

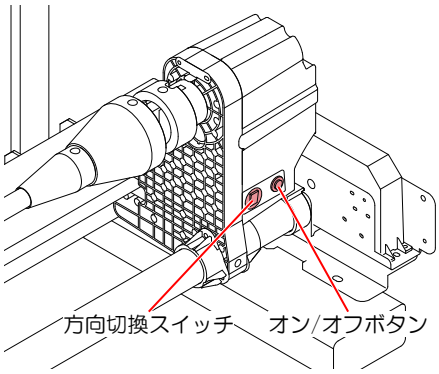
- ハサミ等でプリントが終わった部分までを切り離します。

2 巻き取りユニットのスイッチを使ってプリント物を巻き取る。

- 巻き取りユニットの使用法については、☞「巻き取りユニット」（P. 58）を参考にしてください。

繰り出しユニット

繰り出しユニットのスイッチを使って、メディアの繰り出し方向を変更することができます。



名称	概要	
方向切換スイッチ	上(REVERSE)	• トルクリミッター装着時：テンションバーを使わず外巻きのメディアにテンションをかける場合 • モーター直結ユニット装着時：テンションバーで内巻きのメディアを繰り出す場合
	下(FORWARD)	• トルクリミッター装着時：テンションバーを使わず内巻きのメディアにテンションをかける場合 • モーター直結ユニット装着時：テンションバーで外巻きのメディアを繰り出す場合
オン/オフボタン	繰り出し動作のオン/オフを切り替える。 • トルクリミッター装着時：ボタンを押して繰り出しユニットを動作させると、再度ボタンを押すまで繰り出し動作を継続します。*1 • モーター直結ユニット装着時：オン/オフボタンを押している間だけ、繰り出し動作を行います。	

*1. オン/オフボタンを押している間だけ繰り出し動作をするように設定する場合は、機能設定の「搬送ユニット使用選択」の"繰出／巻取スイッチ" で設定してください。☞「機能設定メニュー」（P. 112）

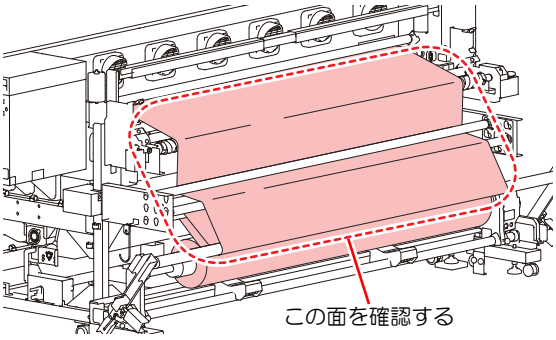
テンションバーのウェイト調整

メディアには、糸の太さや折り方が違う物など、様々な種類があります。また、同じメディアでも前処理行程の違いなどから、伸縮性の特性が変化します。このような様々なメディアを、そのメディアに合った適正なテンションをかけた状態でプリントするために、テンションバーウェイトや重量調整バネを使って繰り出しテンションバーの重量や折り返しバーのセット位置を調整する必要があります。

● カウンターウェイトと重量調整バネについて

カウンターウェイトの取り付け場所と重量調整バネの取り付けによって、テンションバーの重さを調節することができます。

- カウンターウェイト重量調整バネの取り付けは、☞「ロールメディアをセットする」（P. 68）でメディアをセットしてから行ってください。



メディアの状況	対策
• プリント面がピンと張った状態になっている。 • 安定したプリントを行う。 • メディアのたるみやシワがほとんど見られない。	メディアに対して適正なテンションになっています。テンションバーの重量調整は必要ありません。
• メディアの送り方向にシワが発生する。 • プリント時にメディアが蛇行する。 • テンションバーが上がらない、または、紙管がスリップする。	メディアにかかるテンションが強すぎます。お使いになるメディアに合わせて、カウンターウェイトを減らし、テンションバーを軽くしてください。
• メディアがたるんできれいに巻き取れない。 • メディアがたるんで表面が平面になっていない。	メディアにかかるテンションが弱すぎます。お使いになるメディアに合わせて、カウンターウェイトを増やし、テンションバーを重くしてください。

重要！ カウンターウェイトについて
- お買い上げ時、本機にカウンターウェイトは取り付けてありません。
- 1箇所に取り付けられるウェイトの最大重量は、700gです。メディアの張り具合を確認し、適切なウェイトを取り付けてください。
- カウンターウェイトは、繰り出し側に左右2箇所箇所取り付けられます。ウェイトを取り付けるときは、2箇所が同じ重さとなるように取り付けてください。重さが同じになっていないと、テンションバーがたわみ、プリント品質が低下することがあります。
- 使用しないカウンターウェイトは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。

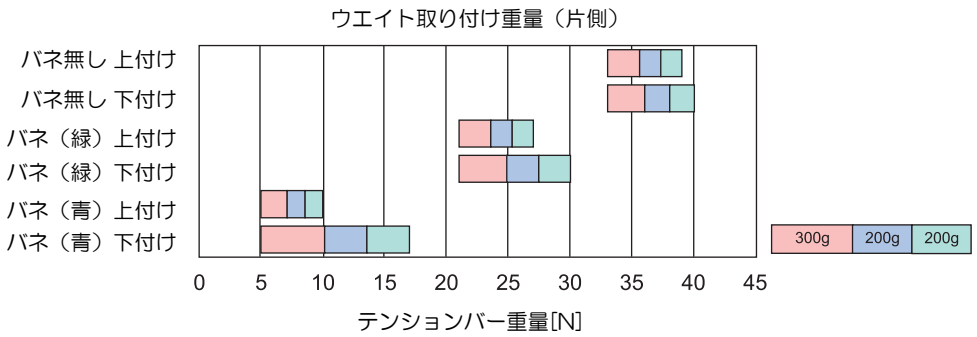
重要！ 重量調整バネについて
- お買い上げ時は、緑色のバネが取り付けられています。バネの種類を変えるまたは、バネを取り外すことにより、テンションバーの重さを変えることができます。
- 重量調整バネは、繰り出し側の左右2 箇所で調整できます。重量調整バネの強度は2 箇所とも同様にセットしてください。強度が異なると、テンションバーがたわみ、プリント品質が低下することがあります。
- 重量調整バネの交換や取り外しをする際は、手袋をはめて行ってください。バネを取り付けてある軸にはグリスを塗ってあります。また、軸に塗ってあるグリスは拭き取らないでください。

● テンションバーの調整方法

1 **重量調整バネを変更してテンションバーの重さを調整する。**

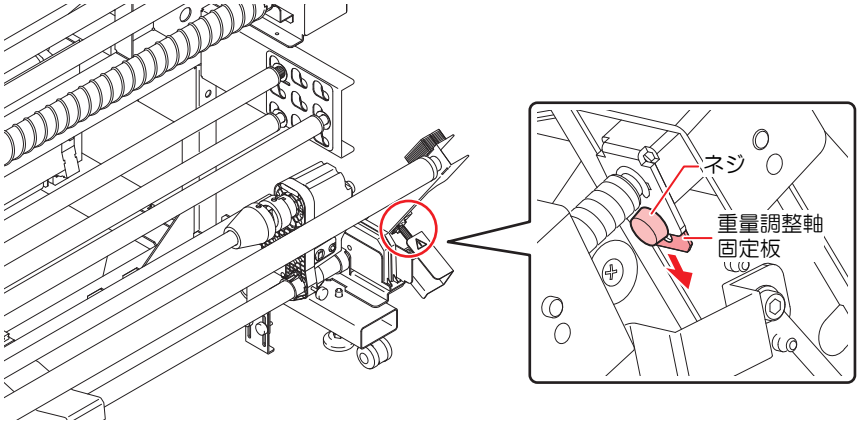
2 **テンションバーが軽すぎる場合は、カウンターウェイトを追加し、重すぎる場合はウェイトを外してください。**
- ウェイトを増減するときは、少しずつ重さを変えることをお勧めします。
- 使用しない重量調整バネは、保管箱に入れ紛失しないようにしてください。

- カウンターウェイトと重量調整バネの相関図を示します。参考にしてください。



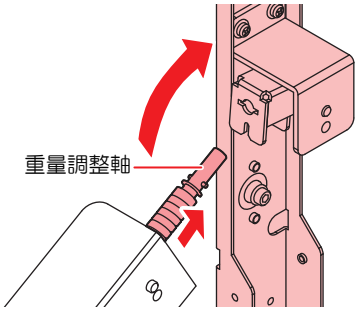
重量調整バネを取り付ける

1 ネジを緩め、重量調整軸固定板を取り外す。



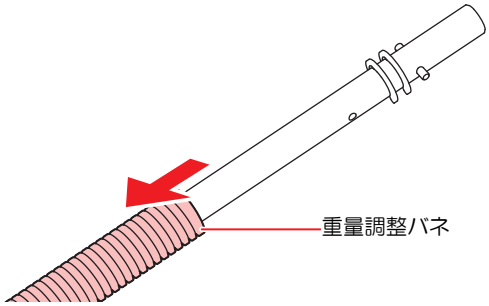
2 重量調整軸を抜き取る。

- 重量調整軸に付いている穴を横に向けてからテンションバーを上げてください。



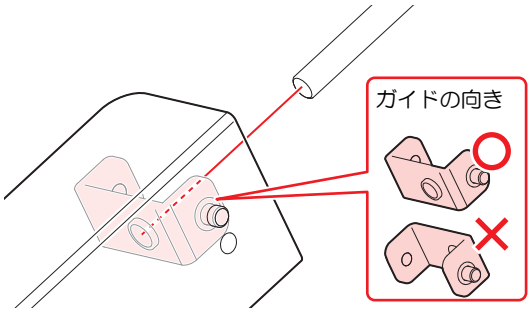
3 現在付いている重量調整バネを取り外す。

- または、別のバネに付け替えてください。

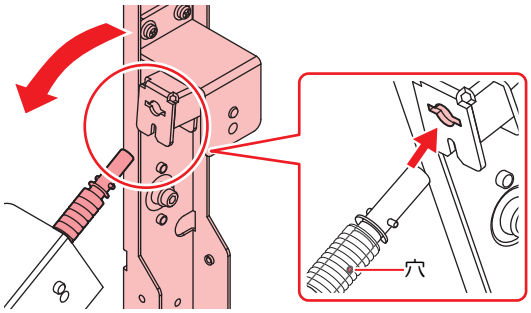


4 重量調整軸を取り付ける。

- 重量調整軸を取り付けるガイドの向きに注意して取り付けてください。



5 重量調整軸に付いている穴を横に向けて差し込み、重量調整軸固定板を奥まで差し込む。

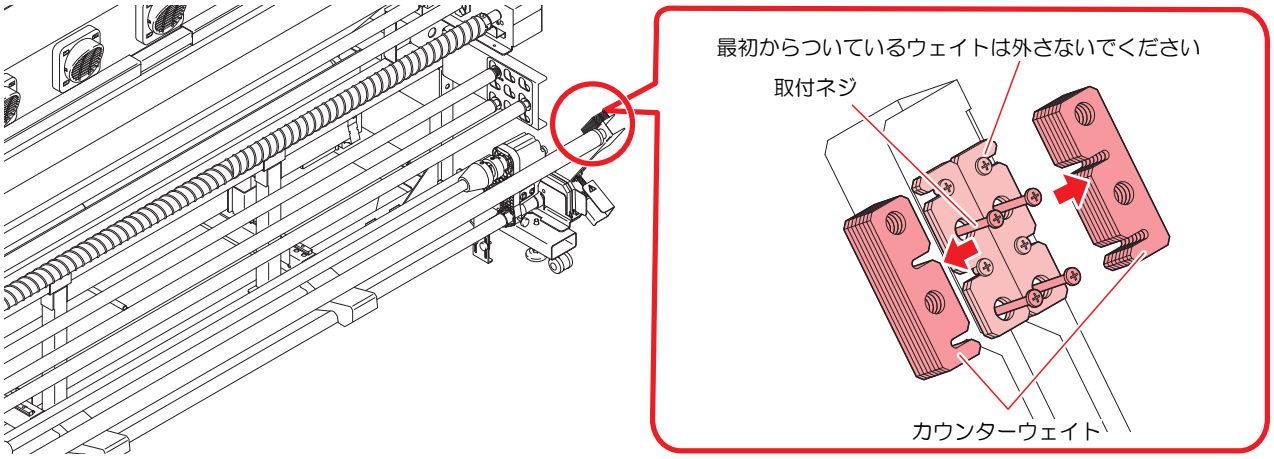


6 ネジを締める。

テンションバーの重量調整用カウンターウェイトの取り付け

- 下図のカウンターウェイト(50g x 28 枚) が添付されている場合は、以下のようにしてカウンターウェイトを取り付けます。
- メディアの張り具合を確認し、適切なウェイトを取り付けてください。

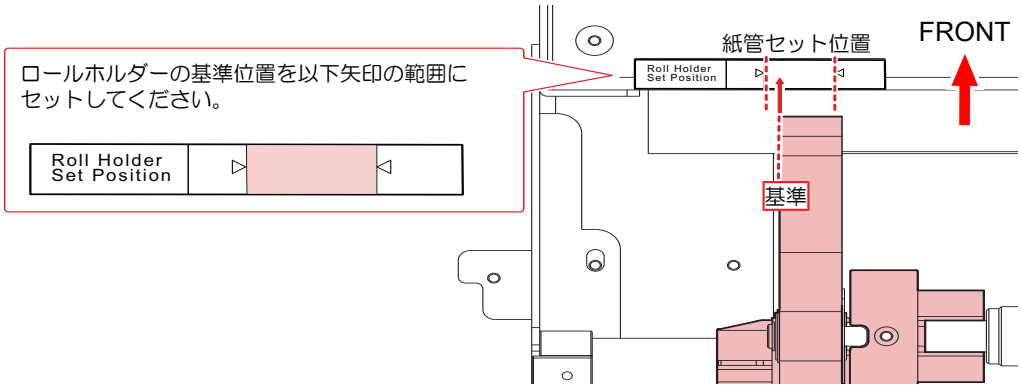
- メディアの性質によって、カウンターウェイトを取り付けてください。
- カウンターウェイトは、左右それぞれに最大14 枚まで取り付けることができます。
- 取付ネジは、カウンターウェイトを取り外すときに緩めます。



- 一番下のカウンターウェイトを取り付け/ 取り外ししたいときは、取付ネジを充分に緩めてください。ネジが充分に緩んでいないと、最初から付いているウェイトのネジにカウンターウェイトが引っかかり、外れないことがあります。

ロールホルダーのセット位置

脚ステーに、ロールホルダーセット位置銘版が貼ってあります。銘版を目安にロールホルダーを移動して、ツマミネジで固定してください。



ロールメディアをセットする

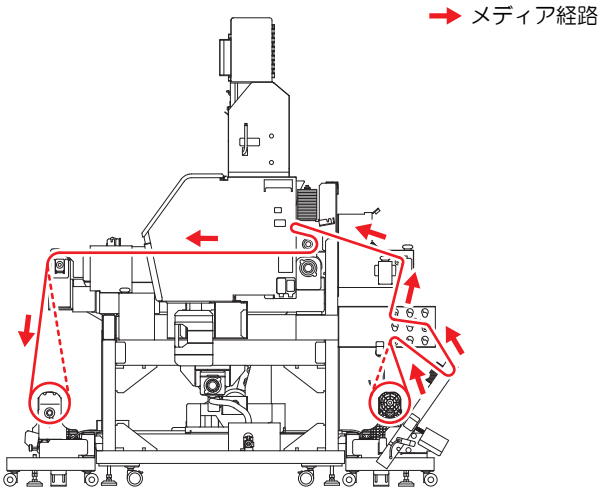
ロールメディア(布)をプリンターにセットする方法はテンションバーを使用する場合と使用しない場合があります。メディアをセット中にメディア検出が行われます。

- メディアを中央にセットする場合、巻き取り延長ケーブルを使用してください。
- 使用目的に応じヘッド高さを調整してください。

テンションバーを使用する

本機に布メディアをセットするときの経路は下図のようになります。
メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。

- メディア経路に当たる部分が汚れていないことを確認してください。汚れている場合は、清掃してください。
- テンションバーを使ってメディアをセットする前に、繰り出しユニットにモーター直結ユニットが付いていることを確認してください。トルクリミッターが付いている場合は、☞「モーター直結ユニット / トルクリミッターの交換」（P. 58）を参照してモーター直結ユニットに交換してください。



1 **フロントカバーを閉じ、[FUNC2（MEDIA）] キーを押す。**

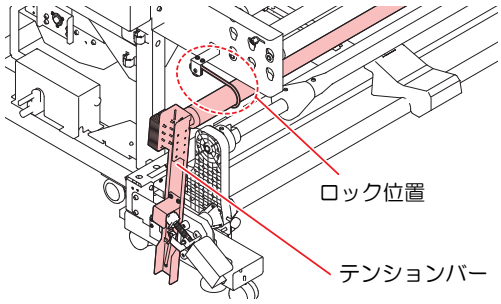
- “テンションバー使用選択”画面が表示されます。

2 **メディアのセット方法に合わせて、テンションバーの使い方を選択する。**

- この場合は、“操出のみ”を選択します。
  (DC=モーター直結ユニット、TL=トルクリミッター、ーー=ユニットOFF)
- ▲▼を押して“操出のみ”を選択し、[ENTER]キーを押してください。

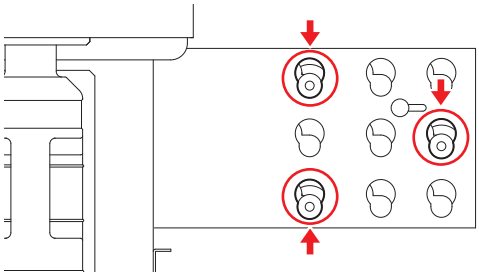
- 機能設定の「搬送ユニット使用選択」で“繰出ユニット”が“OFF”の場合、この画面は表示されません。

3 繰り出しテンションバーをロック位置に固定する。



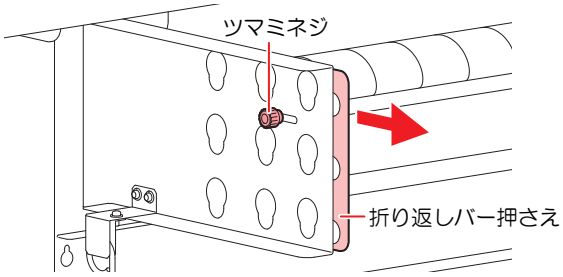
4 セットするメディアに合わせて、折り返しバーを取り付ける。

- 繰り出し側のテンションを安定させるため、セットするメディアに合わせて適正な位置に折り返しバーを取り付けてください。
- 下図の位置が、弊社が推奨する取り付け位置です。この位置に折り返しバーを取り付けても、メディアがたるんだり、縦シワが入るときは☞「テンションバーを使わずにロールメディアをセットする」（P. 78）を参照して、お使いのメディアにあった張り具合にしてください。

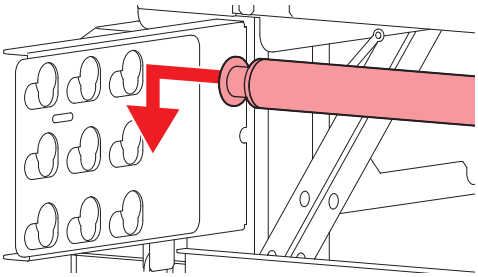


(1) 折り返しバー取付板(左右)の外側に付いているツマミネジを緩める。
- 折り返しバー押さえが自由に動くようになります。

(2) 緩めたツマミネジを持ちながら、折り返しバー押さえを手前に移動させる。
- ストッパーに当たるまで移動させてください。



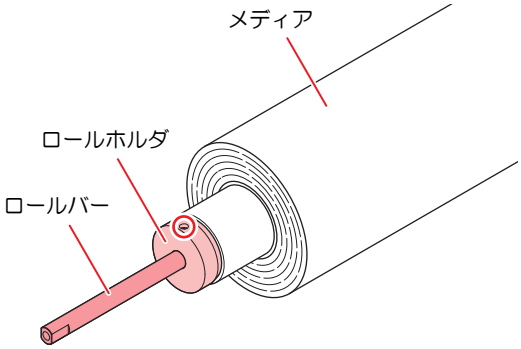
(3) 折り返しバーを差し込み、下げる。
- だるま型になっている穴の下の方に折り返しバーをセットしてください。
- 折り返しバーのセット位置を確認してください。間違えた位置に差し込むと、折り返しバーの固定ができなくなります。



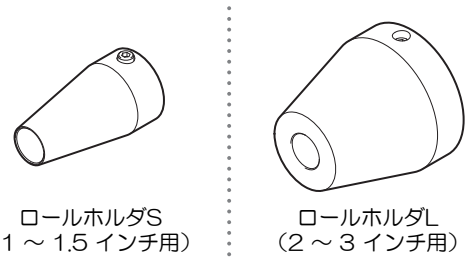
(4) 折り返しバー押さえを本体側へ移動し、固定する。
- 左右両方の折り返しバー取付板に対して、同様の作業をしてください。

5 メディアにロールバーを通す。

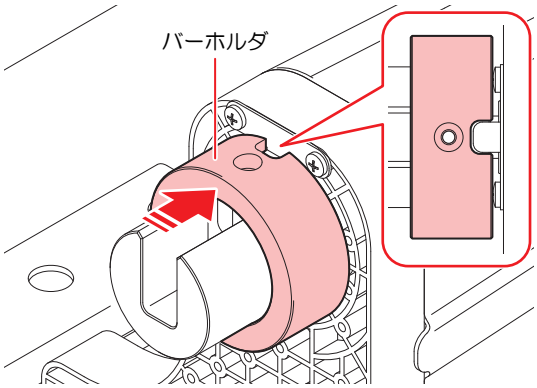
- 紙管に合ったサイズのロールホルダを取り付けてネジを締めます。



- ロールホルダは、必ず奥まで差し込んでください。差し込みが甘いと、紙管が削れる場合があります。
- ロールホルダは2種類あります。使用するメディアの紙管に合わせてお使いください。（下図参照）

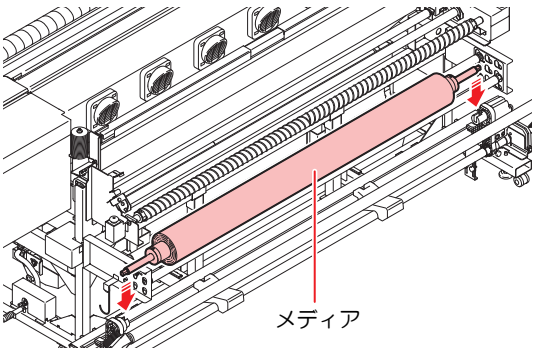


6 バーホルダをロック位置にする。



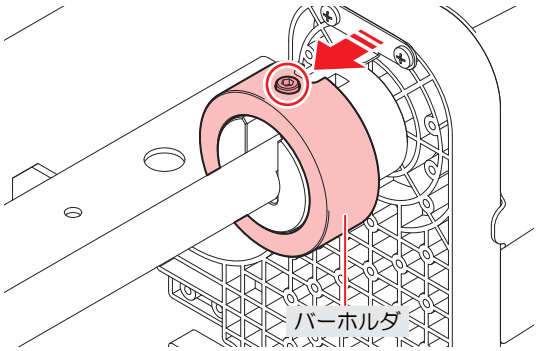
- バーホルダを奥まで押し込み、回転しないことを確認してください。

7 メディアをバーホルダにセットする。

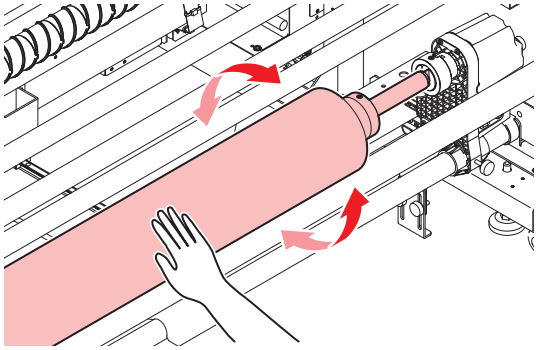


- ロールメディアをセットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みでケガをすることがあります。
- ロールメディアをセットするときは、2人以上でセットしてください。ロールメディアの重みで腰を傷める可能性があります。

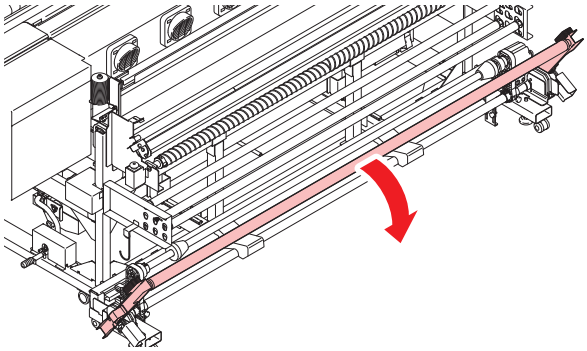
8 バーホルダをスライドさせ、ネジを閉める。



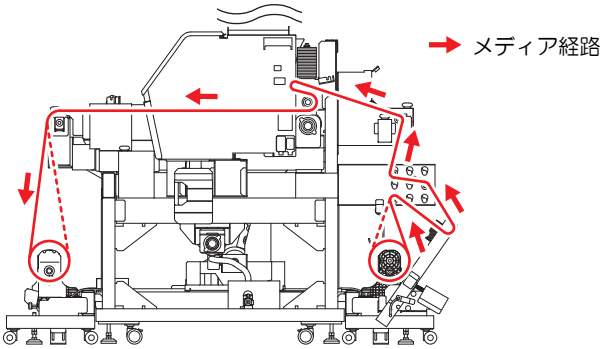
9 手でメディアを回転させ、問題なく回転することを確認する。



10 繰り出しテンションバーを下げる。

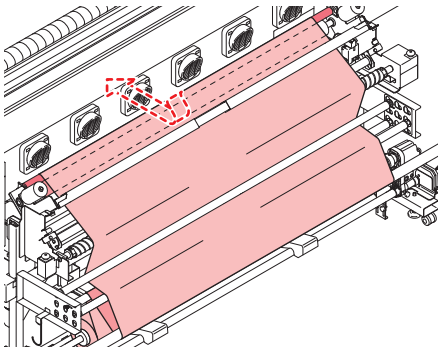


11 本機にメディアをセットする。

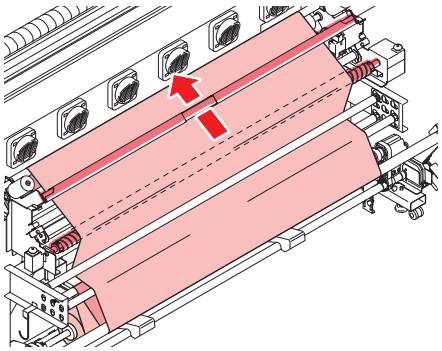


(1) メディアの経路を参考にしてメディアをセットします。

- テンションバーと折り返しバーを使って、メディアに適切なテンションがかかるようにメディアを通してください。

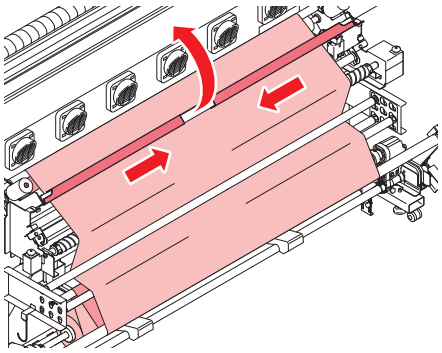


- メディアはシワ取りローラー、湾曲バーの上を通し、加圧ローラーの持ち手の下を通してください。



(2) 持ち手を両手で持ってロックスライダ（左右）を内側に移動し、加圧ローラーをゆっくり下げてください。

- メディアが保持されます。



- シワ取りローラーを使用しない場合は☞「シワ取りローラーの取り外しとコマ入れ替え」（P. 86）、湾曲バーを使用しない場合は☞「湾曲バーを使ってメディアのたるみを取る」（P. 85）を参照してください。

- 加圧ローラーは重いため、注意してください。

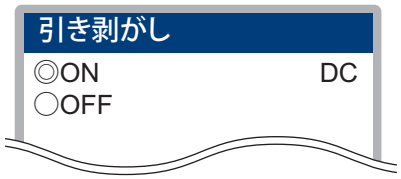
12 [ENTER] キーを押す。

- 繰り出しテンションバーが動作し、繰り出し側メディアの検出と調整が行われます。
- 繰り出し側のメディアの検出が終わると、続けてメディアの巻径の検出が行われます。

- メディアに弛みが無いようにセットしてください。
  メディアが緩んでいると「操出テンションバー」エラーが発生する場合があります。
- 回転方向SWの設定が正しいことを確認してください。
  内巻きメディア：上(REVERSE)
  外巻きメディア：下(FORWARD)

13 メディアのシワを取り、引き剥がしの設定を行う。

- ▲▼を押してON/OFFを選択し、[ENTER] キーを押してください。

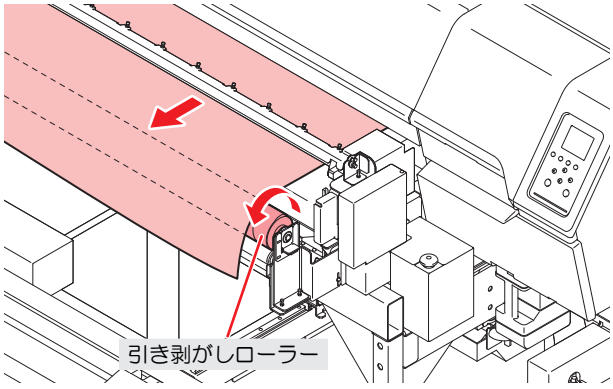


- ☞「引き剥がしを使いメディアをセットする」（P. 80）
- ☞「引き剥がしを使わずにメディアをセットする」（P. 81）

- 機能設定の「搬送ユニット使用選択」で“巻取ユニット”が“OFF”の場合、この画面は表示されません。

14 ディスプレイに“巻き取りユニットにメディアをセットしてください”と表示されたら、▼を押す。

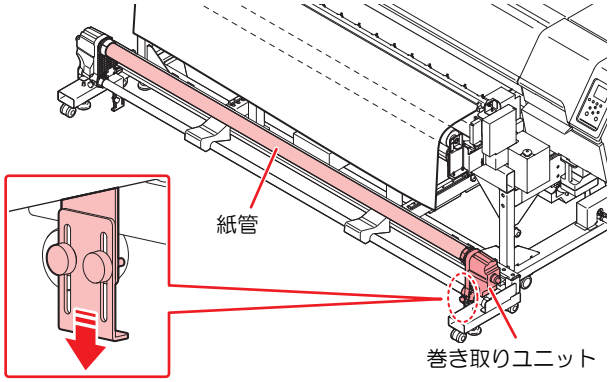
- 搬送ベルトが移動し、本機前面へメディアがフィードされます。
- 引き剥がしローラーを手で回しながら、メディアを送ってください。



15 メディアが巻き取りユニットに届いたら、▼を離してメディアのフィードを止める。

16 巻き取りユニットに空の紙管をセットし、巻き取り脚を床に固定する。

- 紙管セット後、巻き取り脚を床に固定させます。



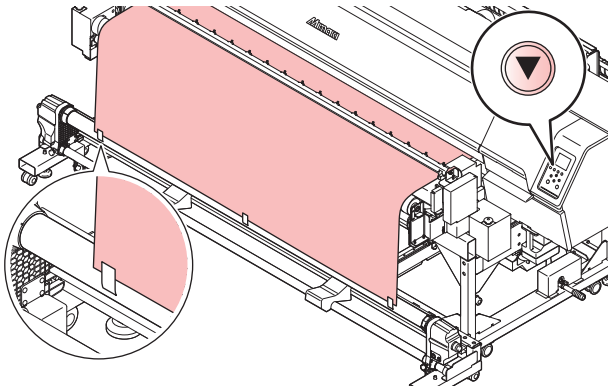
17 巻き取りユニットにメディアを固定する。

(1) 粘着テープでメディアの中央を固定します。

- 必要に応じて、▼を押してメディアをフィードしてください。

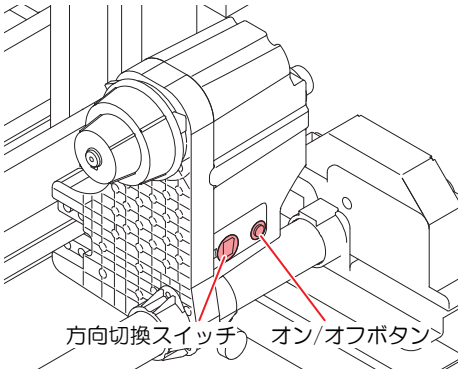
(2) 同様にしてメディアの左右を固定する。

- ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにたるみ、シワがないことを確認し、テープを貼ってください。



- 幅の広いメディアをセットする場合は、メディアの5箇所以上をテープなどで固定してください。固定箇所が多いほどメディアの張りが均等になります。
- セットした布と紙管の位置がずれている場合は、ロールホルダーのネジを緩め、紙管が適切な位置になるよう調整してください。
- 繰り出し側のロールが見える所まで目線を下げ、布の右端・左端が繰り出し側ロールの左右端位置とずれていないかチェックしてください。

18 巻き取りユニットのスイッチを使って、紙管にメディアを軽く1周ほど巻きつける。



(1) 左側の方向切換スイッチで巻き取る方向をセットし、右側のオン/オフボタンをオンにしてメディアを巻き付けます。

(2) メディアが張ったら、右側のオン/オフボタンをオフにして巻きつけを止めます。

- メディアは1周以上紙管に巻き付けてください。
- あらかじめ引き出しておいたメディアの量では紙管に1周以上巻き付けられない場合は、再度▼を押してメディアをフィードし、巻き取りユニットで巻き付けてください。

- 紙管に巻き取るだけのメディアが無い場合は、必ず▼を押してメディアをフィードしてから巻き取りユニットで巻き取ってください。
  無理に巻き取ると、故障の原因になることがあります。

19 [ENTER] キーを押す。

- メディアをセットしたら、任意のデータをプリントして、メディアにテンションが適正にかかっているか確認してください。
  プリントした画像に白または黒スジが入る場合は、セットしたメディアに適したテンションになっていません。
  折り返しバーの位置や、繰り出しテンションバーの重量調整を変更し、適正な位置になるまで確認してください。

20 巻径を設定する。

- 機能設定の「巻径検出」を[AUTO]に設定している場合（☞ P. 112）、メディアセット後にメディアの巻径を自動で検出します。

  (1) 巻径の自動検出後、検出した巻径を確認する画面が表示されます。

  巻径検出
  巻径を確認（直径）
  繰出ユニット 250mm
  巻取ユニット 50mm

  (2) 実際の巻径を確認し、問題なければ [FUNC3]キー(OK) を押してください。

- 表示された巻径と実際の巻径に差異がある場合は［FUNC1]キー(NG)を押して巻径を修正してください。

  巻径検出
  巻径を入力（直径）
  繰出ユニット 250mm
  巻取ユニット 50mm

  (1) 繰出ユニットの巻径を入力します。
    - ▲▼を押して“繰出ユニット”を選択し、[ENTER]キーを押してください。
    - ▲▼を押して繰出ユニットのメディア外径（直径）を入力し、[ENTER]キーを押してください。

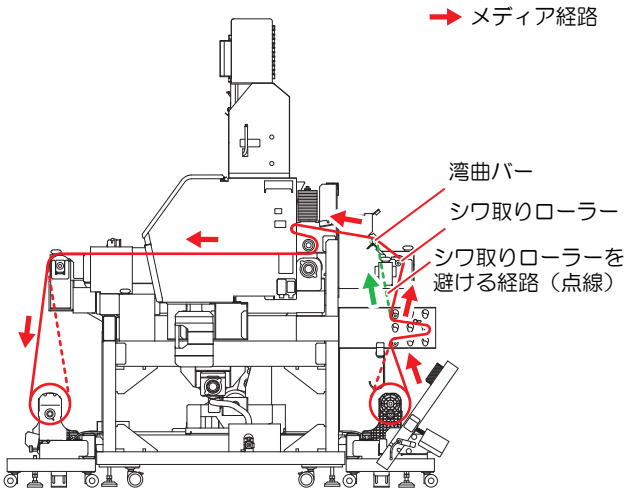
  (2) 巻取ユニットの巻径を入力します。
    - ▲▼を押して“巻取ユニット”を選択し、[ENTER]キーを押してください。
    - ▲▼を押して巻取ユニットのメディア外径（直径）を入力し、[ENTER]キーを押してください。

  (3) 修正が出来たら[FUNC3]キー(OK) を押してください。

- 機能設定の「巻径検出」を[MANUAL]に設定している場合（☞ P. 112）、上記手順で巻径を入力してください。

● 伸縮しにくいメディアを使うとき

- 伸縮しにくいメディアを使用するときは、シワ取りローラーを使用しないことをお勧めします。シワ取りローラーを取り外してからメディアをセットしてください。 ☞「シワ取りローラーの取り外しとコマ入れ替え」（P. 86）
  シワ取りローラーを避ける経路でメディアをセットすることもできます。

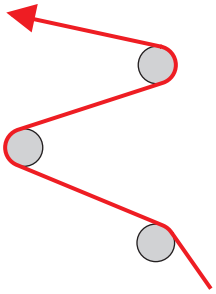


折り返しバーの調節方法

メディアに合った適正なテンションをかけた状態でプリントするために、折り返しバーの取り付け位置や本数を調整してください。

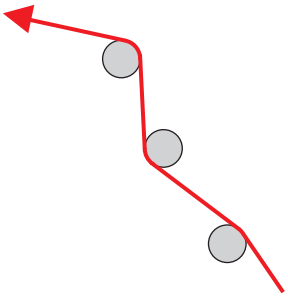
● メディアの張りが弱い場合

巻き付け角度を大きくしてください。メディアにかかるテンションが強くなります。



● メディアの張りが強い場合

巻き付け角度を小さくしてください。メディアにかかるテンションが弱くなります。

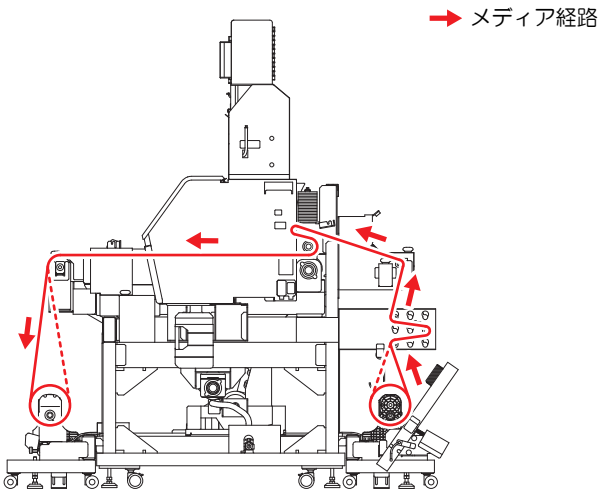


テンションバーを使わずにロールメディアをセットする

ここではテンションバーを使用しないでメディアをセットする方法を説明します。メディアをセットする際は、次の注意事項を良くご理解ください。

- テンションバーを使用しないでロールメディアをセットする場合は、繰り出しユニットに付いているモーター直結ユニットを付属のトルクリミッターに交換してください。☞「モーター直結ユニット / トルクリミッターの交換」（P. 58）
- テンションバーを使用しないで連続プリントする場合は、10m程度に限ります。連続プリントをする長さが10mを超える場合は、テンションバーを使用してメディアをセットしてください。

テンションバーを使わずに布メディアをセットするときの経路は下図のようになります。メディアをセットする前に、メディアの経路をご理解いただくと、メディアのセットをスムーズに行うことができます。



- 布メディアをセットする前に、搬送ベルト付近が汚れていないことを確認してください。汚れている場合は、清掃してください。
- テンションバーを使わないでロールメディアをセットするときは、折り返しバーとトルクリミッターでメディアの張りを調節します。☞「折り返しバーの調節方法」（P. 78）

1 フロントカバーを閉じ、[FUNC2（MEDIA）] キーを押す。

- “テンションバー使用選択”画面が表示されます。

2 メディアのセット方法に合わせて、テンションバーの使い方を選択する。

- この場合は、“OFF”を選択します。
  (DC=モーター直結ユニット、TL=トルクリミッター、ーー=ユニットOFF)
- ▲▼を押して“OFF”を選択し、[ENTER]キーを押してください。

- 機能設定の「搬送ユニット使用選択」で”繰出ユニット”が“OFF”の場合、この画面は表示されません。

3 繰り出し側のメディアをセットする。

- ☞「テンションバーを使用する」（P. 68）手順3～9までの操作をしてください。

4 メディアを巻き取り側へ送り、巻き取りユニットに空の紙管をセットする。

- ☞「テンションバーを使用する」（P. 68）手順11～16までの操作をしてください。

5 メディアを紙管に固定する。

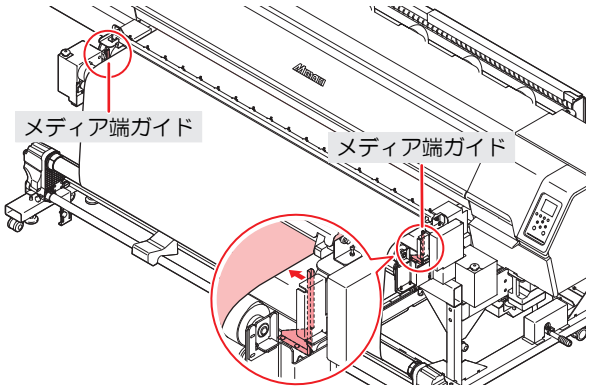
- ☞「テンションバーを使用する」（P. 68）手順17～19までの操作をしてください。

6 巻径を設定する。

- ☞「テンションバーを使用する」（P. 68）手順20の操作をしてください。

メディア端ガイドをセットする

1 メディアセット後、左右のメディア端ガイドを移動し、メディアの端に軽く押し当てる。



- 布端面を、5～10mm立ち上げるようにセットします。
- メディア端ガイドのツマミネジを締めすぎると、ガイドとベルトが接触する可能性があるので注意してください。

引き剥がしを使いメディアをセットする

- 引き剥がし機能を使って巻き取りユニットを使用する場合は、巻き取りユニットにモーター直結ユニットが付いていることを確認してください。トルクリミッターが付いている場合は、以下を参照してモーター直結ユニットに交換してください。
  ☞「モーター直結ユニット / トルクリミッターの交換」（P. 58）
- メディアのセット作業中に引き剥がしセンサーを遮ると、エラーが表示されたり巻き取りユニットが作動したりすることがあります。
- ラバーテープによく貼り付くメディアを使用すると、搬送不良が発生する場合があります。その場合は、ラバーテープを剥がして使用してください。

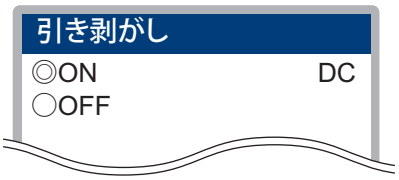
● 巻き取りユニットにメディアをセットする

1 **[FUNC2（MEDIA）] キーを押し、繰り出しユニットにメディアをセットする。**

- 詳しくは、下記を参照してください。
  ☞「テンションバーを使用する」（P. 68）、または☞「テンションバーを使わずにロールメディアをセットする」（P. 78）

2 **引き剥がし機能をONにする。**

- ▲▼を押して“ON”を選択し、[ENTER]キーを押してください。



- 機能設定の「搬送ユニット使用選択」で”巻取ユニット”が“OFF”の場合、この画面は表示されません。

引き剥がしを使わずにメディアをセットする

- メディアの貼り付きが強い場合や、巻き取り側の紙管がメディア重量によりたわんでしまう場合、トルクリミッターによる巻き取りができない可能性があるため、引き剥がし機能を使いモーター直結ユニットによる巻き取りを推奨します。
- 引き剥がし機能を使わずに巻き取りユニットを使用する場合は、巻き取りユニットに付いているモーター直結ユニットをトルクリミッターに交換してください。☞「モーター直結ユニット / トルクリミッターの交換」（P. 58）

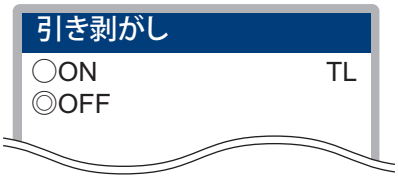
● 巻き取りユニットにメディアをセットする

1 **[FUNC2（MEDIA）] キーを押し、繰り出しユニットにメディアをセットする。**

- 詳しくは、下記を参照してください。
☞「テンションバーを使用する」（P. 68）、または☞「テンションバーを使わずにロールメディアをセットする」（P. 78）

2 **引き剥がし機能をOFFにする。**

- ▲▼を押して“OFF”を選択し、[ENTER]キーを押してください。



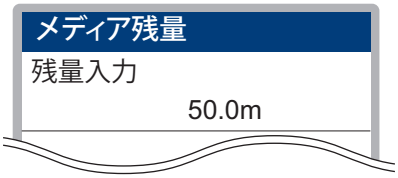
- 機能設定の「搬送ユニット使用選択」で”巻取ユニット”が“OFF”の場合、この画面は表示されません。

3 **巻き取りユニットにメディアを固定する。**

- 詳しくは、☞「テンションバーを使用する」（P. 68）手順12～17までを参照してください。

● メディア残量入力について

1 **メディア残量入力画面を表示する。**



2 **▲▼を押して、メディア残量を入力する。**

3 **[ENTER] キーを押す。**

● メディア幅 設定について

次のようにしてメディア幅を設定してください。

1 **◀▶を押して、LEDポインタの光点をメディアの右端位置に合わせる。**

- ◀▶を押してキャリッジを移動させ、内蔵されているLEDポインタの光をメディアの右端に合わせます。

2 **[ENTER] キーを押す。**

- 次に、左端メディア位置入力画面が表示されます。手順2で“メディア幅入力モード”を選択した場合は、この画面は表示しないで設定終了します。

3 **◀▶を押して、LEDポインタの光点をメディアの左端位置に合わせる。**

- 手順3と同様にして、LEDポインタの光をメディアの左端に合わせます。

4 **[ENTER] キーを押す。**

- オーバープリントをしない場合、メディア外へのプリントを行ってしまう場合があるので、メディアの範囲を超えて設定しないよう注意してください。

● メディアリセットについて

プリントエリアの設定を変更する場合やメディアを交換する場合は、次の操作を行ってから再度メディアをセットしてください。

1 **ローカルで、[SEL] キーを押し、[FUNC2（MEDIA）] を押す。**

2 **▲▼キーを押し、メディアリセットの方法を選び、[ENTER] キーを押す。**

- メディアリセットの方法は、次の2種類から選択できます。
  (1) 幅のみ : プリントエリア設定のみリセットする。
  (2) 全て : メディア検出の全ての情報をリセットする。

3 **[ENTER] キーを押す。**

加圧ローラーのウエイト調整

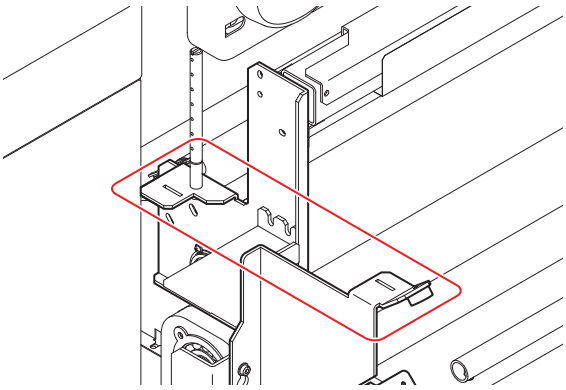
メディアが強く貼り付いて引き剥がせなかったり、メディアの貼り付きが弱くて浮いてしまったりする場合は、加圧ローラーのウェイトを調整してください。

● メディアの貼り付きが強い場合

図の赤枠内に、付属のバネを取り付けてください（左右）。

- 加圧ローラー調整バネ強 : 2個

- 加圧ローラー調整バネ弱 : 2個

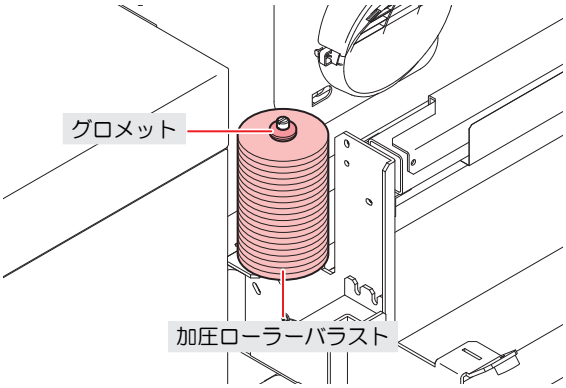


● メディアの貼り付きが弱い場合

図の赤枠内に、付属のウェイトを取り付けてください（左右）。

- 加圧ローラーバラスト : 40個（片側20個）

- ウェイトの取り付け後に、必ず付属のグロメットを取り付けてください。

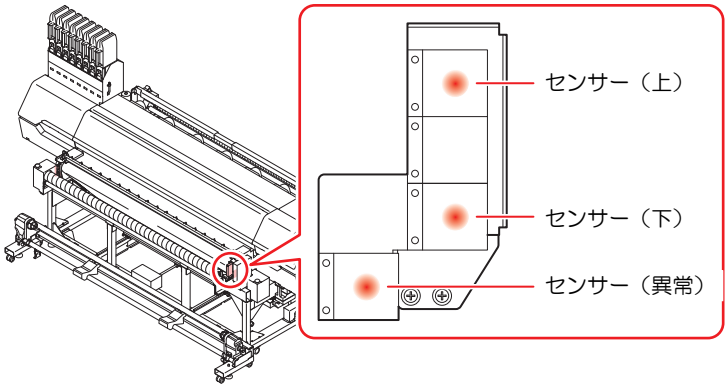


引き剥がしセンサーの位置調整

メディアの種類、地張り剤の状態により、メディアが正常に引き剥がれないことがあります。引き剥がしセンサーの位置の確認と調整を行ってください。

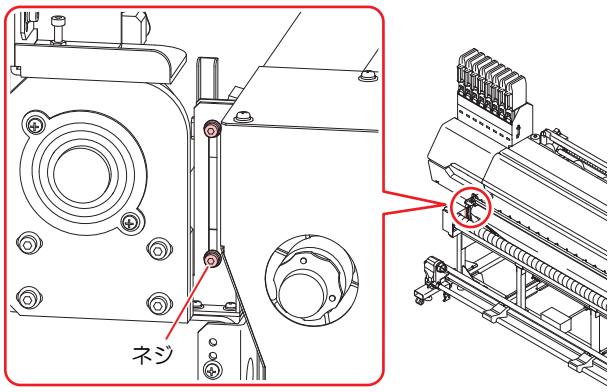
1 引き剥がしセンサーの位置を確認する。

- 本機右側にある反射板の中で、引き剥がしセンサーの光が当たっている位置を確認してください。



2 センサー位置を調整する。

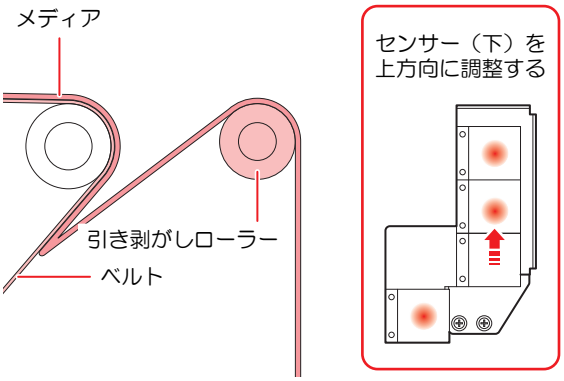
- 図を参考に、引き剥がしセンサー部のネジ2箇所を緩め、センサー位置を調整してください。



センサー位置の目安

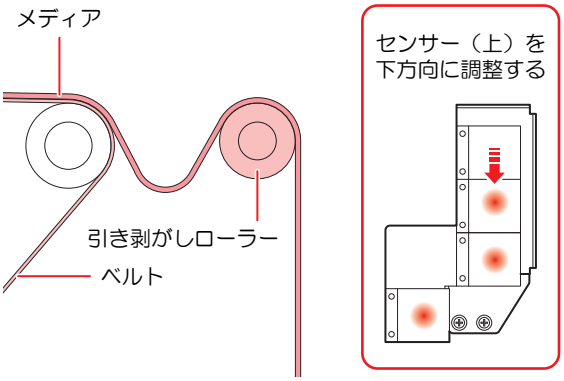
● メディアの貼り付きが強い場合

センサー（異常）を検出する可能性があるため、センサー（下）を上方向に調整してください。



● メディアの貼り付きが弱い場合（特に巻取ロール径が大きい場合）

センサー（上）を下方向に調整してください。

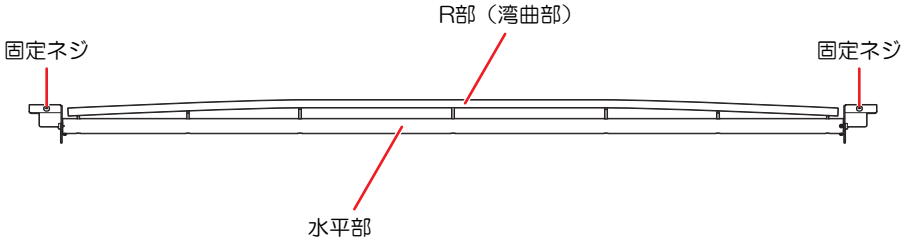


- 検出が不安定になるので、各反射板の端から約5mm内に光が当たるように、センサー位置を調整してください。

湾曲バーを使ってメディアのたるみを取る

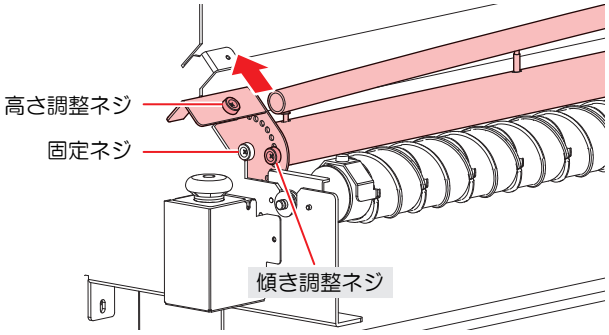
布左右端ガミング処理部が布中央に対して極端に長さが短いメディア（床に広げると布中央が大きくたるんでいるもの）をお使いの場合は、必ず湾曲バーを使用してたるみを取ってください。

湾曲バーの角度調整



- 湾曲部の位置（角度）は、布の状態に合わせて調整が必要です。
- 布セット後、湾曲バー部で、布左右端が少したるむ程度の位置が目安です。
- メディアの状態に合わせて、湾曲バー使用角度を変更してください。
  (1) 水平部：通常使用します。
  (2) R部（湾曲部）：中央にたるみのある布に使用します。

- 湾曲バーを使用する場合は、センター基準でメディアをセットしてください。



(1) 高さ調整ネジ：メディア中央のたるみが解消されない場合に、湾曲バーを一段上にセットします。
(2) 傾き調整ネジ：メディアの状態に応じて湾曲バーの角度を調整します。

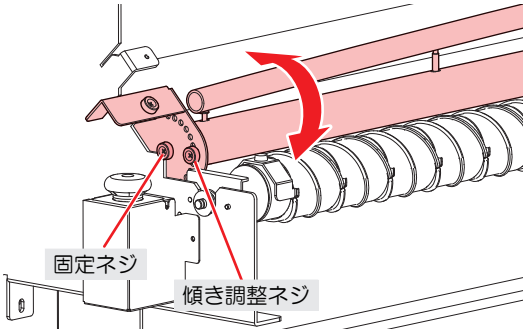
1 **湾曲バー側面の傾き調整ネジを外し、湾曲バーの角度を調整する。**

(1) 傾き調整ネジを外し、固定ネジを緩めます。
(2) 湾曲バーを回転させ、当たり量を調整します。
(3) 傾き調整ネジと固定ネジで、湾曲バーを固定します。

2 **メディア中央のたるみが解消されない場合、高さ調整ネジを一段上にセットする。**

● 湾曲バーを使わないとき

- 湾曲バーを使わない場合は、傾き調整ネジ（左右）を外し、固定ネジ（左右）を緩めてください。その後、メディアに湾曲部が当たらない位置に湾曲バーを回転させ、再び固定してください。



- 湾曲バーを使わない場合でも、取り外したままにしないでください。加圧ローラーを下げたときにメディア同士が干渉することがあります。

シワ取りローラーの取り外しとコマ入れ替え

シワ取りローラーは、布を加圧ローラーで搬送ベルトに貼り付ける際、シワが入ることを防止します。布のセット位置は中央が基準となっています。幅の狭い布も必ず搬送ベルトの中央にセットしてください。
ただし、下記の場合には、シワ取りローラーのコマを付け替えることによって、布の中央部を変更することができます。

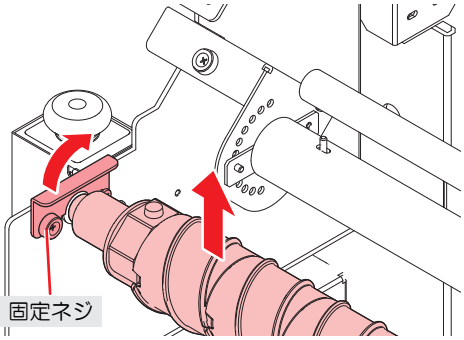
- 作図時間を短縮するため、右寄せにして布をセットする場合
- 通常使用が800mm幅以下の布で、左または右端に寄せ、地張り剤寿命を延ばす場合

- シワ取りローラーの動作中は、手や衣服等を近づけないでください。巻き込まれるとケガや骨折の恐れがあります。

- 幅の広いメディアを使用する場合、布端のヨレやほつれなどがシワ取りローラー両端にある固定ツマミメジに巻き込まれる恐れがあります。
  そのようなメディアをセットする場合は、布の端面を切断してからセットしてください。

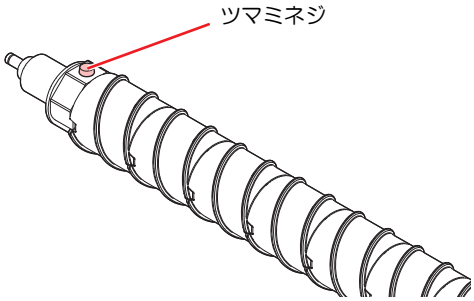
1 **本機背面左側にあるシワ取りローラーの固定ネジを外し、シワ取りローラーを取り外す。**

- 外すときは、上に上げて左にスライドさせてください。



- 軸を上にして外してください。シワ取りローラーが外れ、本機を破損する原因になります。

2 シワ取りローラー左右端に付いているツマミネジを緩め、固定コマを入れ替える。

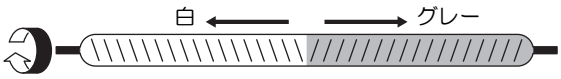


- 固定コマの入れ替えについては、「コマ位置を移動する」を参照してください。

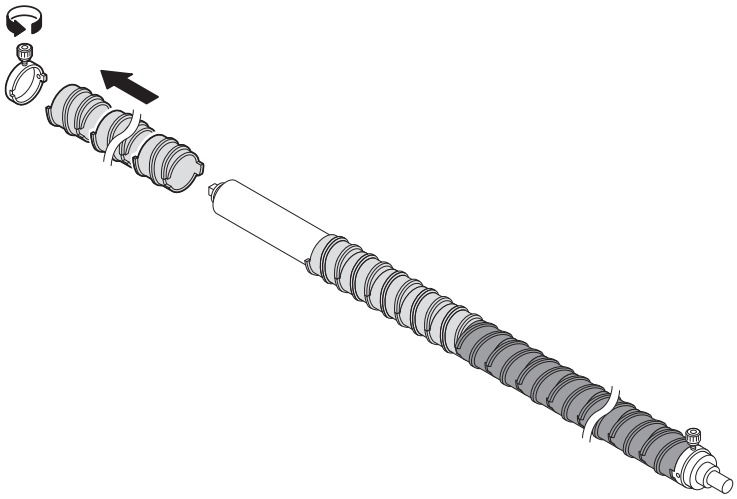
3 シワ取りローラーを元に戻す。

● コマ位置を移動する

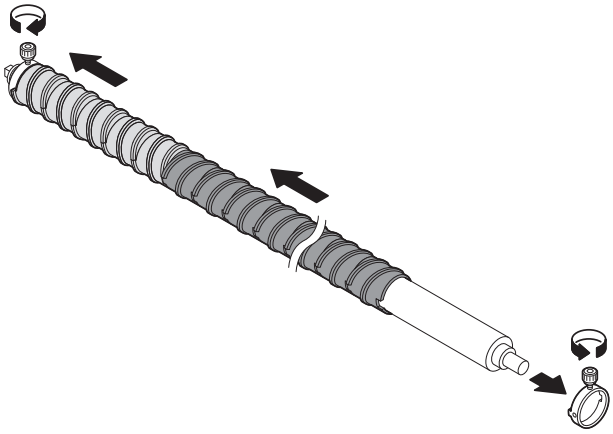
次の図のように、コマの中央位置を移動させることができます。
シワ取りコマは、回転方向の違いにより2つの色に分かれています。



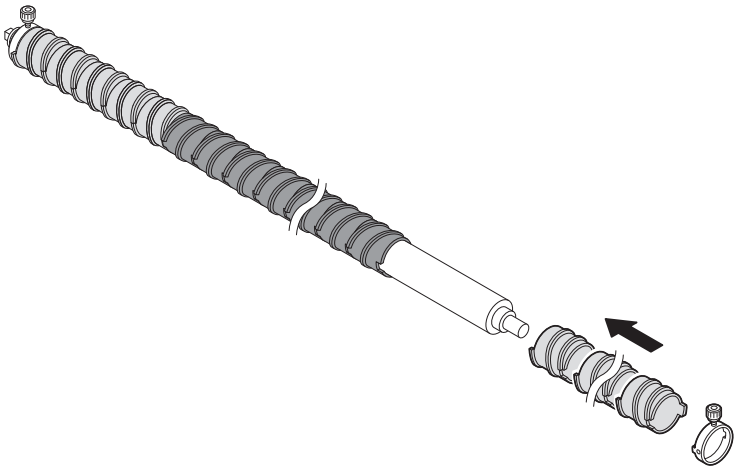
1 メディアの中央位置によって、ツマミネジを外し、左側の固定コマをいくつか外す。



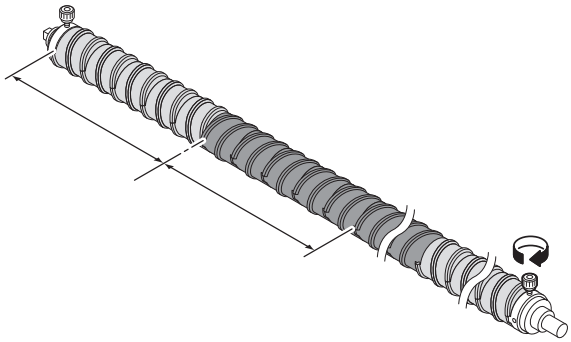
2 左側に固定コマを詰め、ツマミネジで固定し、右側のツマミネジを外す。



3 手順1で取り外した固定コマを右側から追加する。



4 ツマミネジで固定する。



以上の作業でコマの中央位置が変更されます。

メディアを登録する

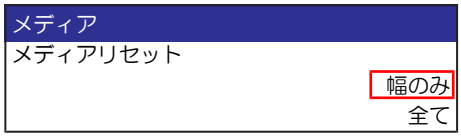
本機に登録されていないメディアを使う場合は、メディアの登録が必要です。

- 一度だけ違う条件でプリントしたい場合は、"Temporary"を選択してください。"Temporary"で設定した内容は、電源を再起動すると初期化されます。

1 メディアリセットを行いメディアの再設定を行います。

(1) ローカルモード画面から[MEDIA]を選択します。

(2) メディアリセット方法の[幅のみ]を選択します。

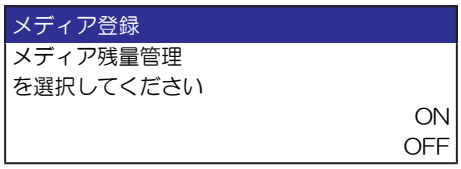


- 幅のみ：原点情報のみ初期化します。
- 全て：メディアタイプなども初期化します。

2 [未登録]を選択する。

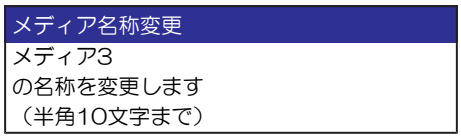
3 メディア残量管理方法を選択する。

- メディアの残量を本機で管理するかどうかを選択します。

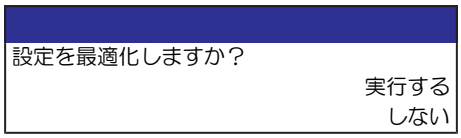


4 表示させたい名称を入力する。

- 登録しない場合は、[ENTER]キーを押してください。



5 設定した情報を登録するかどうかを選択します。

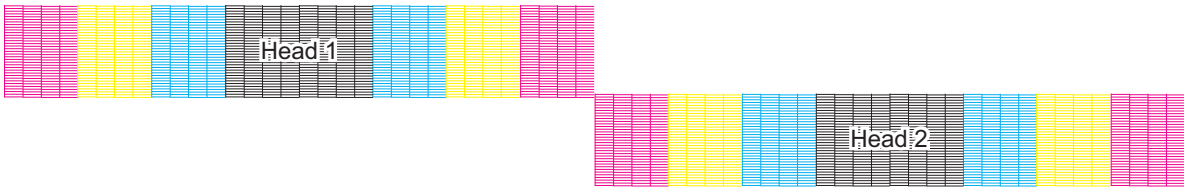


- あとから変更することができます。☞「メディア設定メニュー」（P. 104）

2.5 テストプリントをする

テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 93）

［Sb420インクの場合］



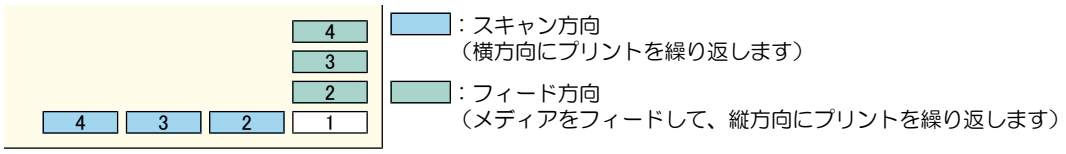
事前に確認してください
• プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 53） • メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 57）

- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

- [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリーされてテストプリントされます。
  ノズルリカバリーは登録が必要です。☞「ノズルリカバリーを登録する」（P. 110）

テストプリントの配置方向を変更する

テストプリントの配置方向を変更することができます。

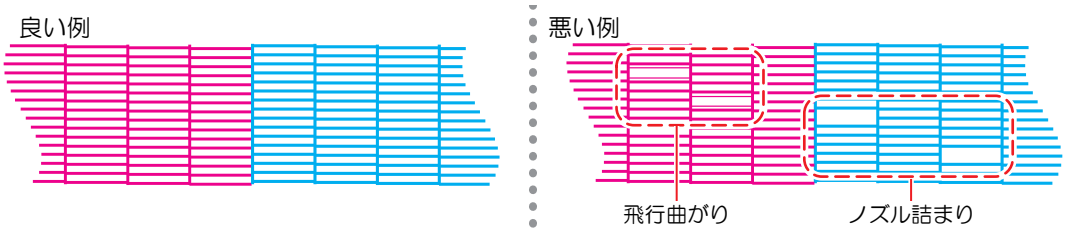


1 **ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [テストプリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- テストプリントメニューが表示されます。

2 **[スキャン方向]、もしくは[フィード方向]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

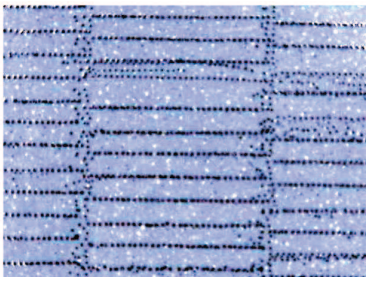
- テストプリントを開始します。



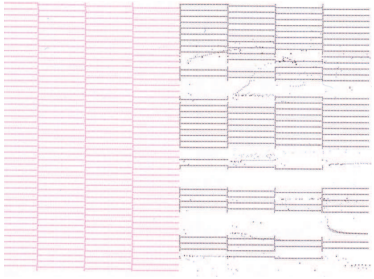
3 **プリント結果を確認する。**

吐出不良について

吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の代表的な例を示します。このような状態でプリントされないように、プリント前など定期的にインクが正常に吐出されているかどうかを確認してください。



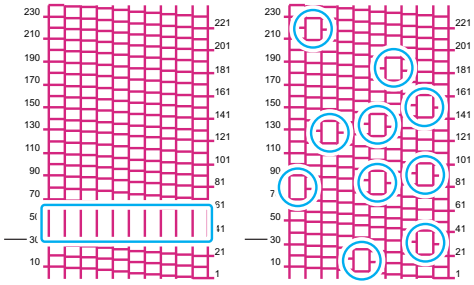
飛行曲がり



ノズル詰まり

ボタ落ち

ミスト（しぶき）



空気の混入

2.6 ヘッドクリーニングをする

ヘッドクリーニングには、以下のタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。インクエラー“インクニアエンド”や“インクエンド”が表示されているときは、クリーニングを実行することができません。新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 43）

項目	内容
ソフト	線の曲がり（飛行曲がり）があるとき。
ノーマル	線の抜け（ノズル詰まり）があるとき。
ハード	ソフトクリーニング、ノーマルクリーニングを実行しても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善しないとき。

1 **ローカルモード画面から[TEST PRINT/CLEANING] > [クリーニング]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- クリーニングメニューが表示されます。

2 **クリーニングタイプを選択して、[ENTER]キーを押す。**

3 **クリーニングするヘッドを選択して、[ENTER]キーを押す。**

- チェックボックスをオンにしてください。チェックが入っているヘッドをクリーニングします。

4 **再度、テストプリントを実行して、プリント結果を確認する。**

- プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。

- ヘッドクリーニングをしても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が改善されない場合は、以下を実施してください。
  ☞「キャップゴムの清掃」（P. 120）
  プリントヘッドのノズル洗浄
  ☞「ワイパーの清掃」（P. 122）

2.7 フィード補正をする

メディアを替えるとメディアの重さや厚さ、巻き取りユニットの使用有無などにより、メディアのフィード量が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（濃い縞や薄い縞が入るなど）の原因になります。

事前に確認してください
• メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 57） • ロールメディアをご使用の場合、背面ロールメディアが、たるみのない状態にセットされていますか? • 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアをセットしていますか? ☞「ロールメディアをセットする」（P. 68）

フィード補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、メディア設定メニューに反映されます。

- 巻き取りユニットを使用するときは、巻き取りユニットにメディアをセットしてから調整をしてください。
- メディアは、メディアセット位置目安銘板に合わせてセンター基準でセットしてください。☞「ロールホルダーのセット位置」（P. 67）
  また、本機の中央付近で確認、調整してください。

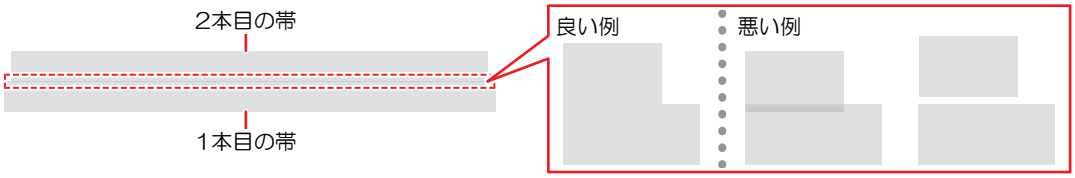
1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。

2 [フィード補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 補正パターンのプリントを開始します。

3 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整します。



4 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- "＋" 入力：2本の帯の隙間が広くなります。
- "－" 入力：2本の帯の隙間が狭くなります。
- 補正値を"30"変更するごとに、帯が約0.1mm移動します。

5 [ENTER]キーを押す。

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。

プリント実行中にフィード補正をしたいとき

リモートモードやプリント実行中でも、メディアの送り量の補正ができます。

1 **リモートモード、もしくはプリント実行中に、[ADJUST]を選択する。**

2 **補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。**

- 補正値：-9999～9999
- ここで入力した値は、すぐ補正値に反映されます。

2.8 ドット位置補正をする

メディアやプリントヘッドの高さを変更したり、プリントヘッド周辺の温度変化により、ドットの着弾位置が変わってしまいます。メディアの種類に合わせて補正してください。補正値が適切でないと、画質不良（線が二重、ぼやけた画像など）の原因になります。

事前に確認してください
• プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 53） • メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 57）

- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

ドット位置補正の手順

補正パターンをプリントして補正量を入力します。ここで補正した値は、メディア設定メニューに反映されます。プリントする解像度ごとに調整が必要です。

- メディアは、メディアセット位置目安銘板に合わせてセンター基準でセットしてください。☞「ロールホルダーのセット位置」（P. 67）
  また、本機の中央付近で確認、調整してください。

1 ローカルモード画面から[ADJUST]を選択する。

2 [ドット位置補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

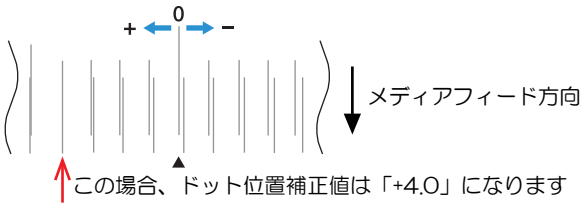
3 解像度を選択して、[ENTER]キーを押す。

- 調整したい解像度を選択します。"全て"を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。☞「メディア設定メニュー」（P. 104）

- 解像度はスキャン方向の解像度を示しています。

4 プリント結果を確認する。

- 補正値の入力画面が表示されます。
- 上下2本の線が1本の直線になっている位置を入力します。



5 補正値を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 補正値：-40 ~ 40

- 補正値が-40 ~ 40の間に重なった線がない場合は、プリントヘッドの高さが適正でないことが原因と考えられます。プリントヘッドの高さを調整してください。
☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 53）

6 パターン2以降も同様に補正値を入力する。

2.9 RIPデータを準備する

ここでは、弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）の説明をします。

- 任意のプリント用の画像データをご準備ください。

1 “RasterLink”を起動する。

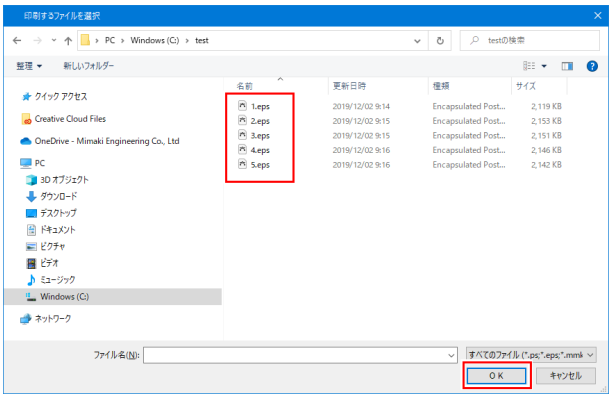
- コンピューター のデスクトップ上にあるアイコンをクリックしてください。

2 プリントする画像データを選択する。

(1) [ファイル] > [開く]を選択する。

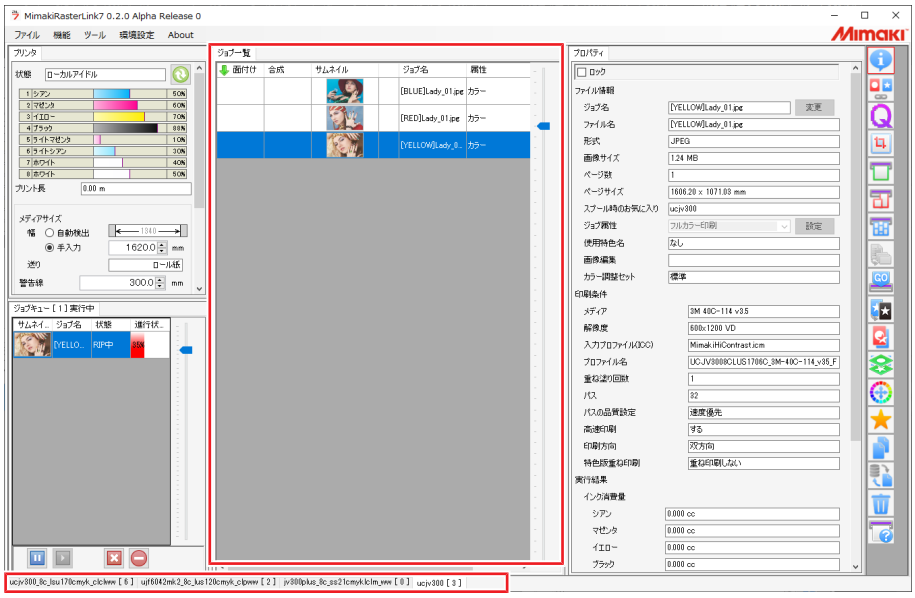
(2) 任意の画像データを選択して、[開く]をクリックする。

- 複数のプリンターが登録されている場合、”プリンタ名”からTx330-1800Bを選択します。



3 読み込まれた画像データを選択する。

- “プリンタ名”で選択したTx330-1800Bのタブに画像データが追加されます。



4 画像を編集する。

- 画面右の機能アイコンから、以下を設定します。

  （通常印刷）：拡大や縮小、回転など各種設定します。

  （印刷条件）：本機にセットしているメディアやインクセットに合ったカラープロファイルを選択します。

- 詳しくは、"RasterLink"のリファレンスガイドをご覧ください。https://japan.mimaki.com/download/software.html

5 画像データをプリントする。

- 「プリントを開始する」（P. 101）

  (1) 画面右の機能アイコンから（実行）をクリックする。

  (2) ”RIP&印刷”、もしくは”RIP後印刷”を選択して、[開始]をクリックする。

- メディアを交換した場合、メディア幅を再取得する必要があります。

  (1) メインウィンドウで、Tx330-1800Bのタブを選択する。

  (2) プリンタタブの（最新のプリンタステータスを表示）をクリックする。

2.10 プリントする

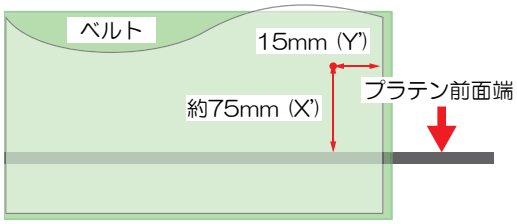
事前に確認してください
• プリントヘッドの高さを調整していますか? ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 53） • メディアをセットしていますか? ☞「メディアをセットする」（P. 57） • ロールメディアをご使用の場合、背面側のロールメディアがたるみのない状態になっていますか? • 巻き取りユニットをご使用の場合、巻き取りユニットの紙管にメディアがセットされていますか? ☞「ロールメディアをセットする」（P. 68）

• 設置されている環境温度や湿度によって、プリントヘッドのノズル面が結露してしまうことがあります。結露が起こると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。プリント実行中に吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が発生したときは、ヘッドクリーニングをしてください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 93）

原点を変更する

プリント開始位置を変更することができます。LEDポインターで原点位置を設定します。

- プリント原点の初期値
  - フィード（縦：X'）方向：プラテン前面端から奥へ約75mm
  - スキャン（横：Y'）方向：メディア右端から15mm



1 **ローカルモード画面から、▲▼◀▶を押す。**

- 原点設定画面が表示されます。

2 **▲▼◀▶を押して、変更したい位置に原点を合わせる。**

- キャリッジが左右に動いて、メディアがフィードします。

重要！ • 本機では、メディアをバックフィードさせることはできません。

3 **[ENTER]キーを押す。**

- 原点が変更されます。

プリントを開始する

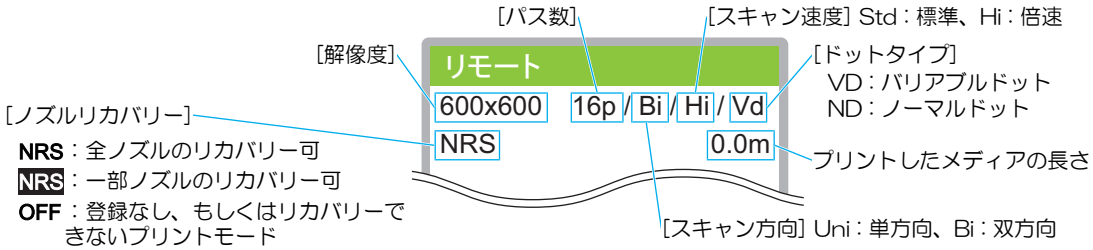
1 **コンピューターから、RIPデータを送信する。**

- ☞「RIPデータを準備する」（P. 98）

- メッセージ"Attention20A ドライバーバージョン"が表示されたときは、最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html

2 **プリントを開始する。**

- RIPデータを受信すると、プリントが開始されます。



- 同じ画像データをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置、解像度などによって、プリントが終了するまでの時間が異なります。
- エラーが発生している場合、プリントが終了したあとはローカルモードになって、続けてプリントすることはできません。

プリントを一時停止する

1 **プリント実行中に、[LOCAL]を押す。**

- プリントが一時停止されます。
- コンピューターからデータを送信している場合は、コンピューター側でデータ送信を一時停止します。

2 **[REMOTE]を押す。**

- プリントが再開されます。

- 一時停止中は、その他の機能は操作することができません。

プリントを中止する（データクリア）

1 ローカルモード画面から**[DATA CLEAR]**を選択する。

2 **[ENTER]**キーを押して、受信データをクリアする。

- 受信バッファがクリアされます。

第 3 章　各種設定

この章では...

[MENU]の各種機能について説明しています。

メディア設定メニュー.....104
メンテナンスメニュー.....107
　ノズルリカバリーを登録する 110
　ノズルチェックとは..... 111
機能設定メニュー.....112
環境設定メニュー.....114
マシンステータスメニュー 116

3.1 メディア設定メニュー

初めて使用するときは、[使用メディア選択]画面が表示されます。☞「メディアを登録する」（P. 89）お使いになるメディアに合わせて、メディア情報の登録や補正値を個別に登録しておくことができます。

本機の設定と接続しているコンピューターの設定、どちらを優先させるかどうかを決めることができます。各メニューを"ホスト"に設定すると、コンピューターの設定が優先されます。本機の設定を優先させたいときは、"ホスト"以外に設定してください。

- RIP用ソフトウェアの指定方法は、RIP用ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

● メニュー 一覧

項目	設定値 *1	設定値 *2	内容
フィード補正	-9999 ~ **0** ~ 9999	-	メディアの送り量を補正します。パターンをプリントして、補正量を入力します。☞「フィード補正をする」（P. 94）
ドット位置補正	-	-	双方向プリントのドット着弾位置を補正します。☞「ドット位置補正をする」（P. 96）
（解像度）	*	-	補正したい解像度を選択します。 “全て”を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントします。 * 選択できる解像度は、機種によって異なります。
（補正値）	-40.0 ~ **0** ~ 40.0	-	パターンを確認して補正値を入力します。
自動補正	-	-	自動補正機能（DAS：Dot Adjustment System）は、補正パターンをセンサーで検出して、自動でドットの着弾位置を補正します。 “全て”を選択すると、“フィード補正”“ドット位置補正”を補正します。 • メディアに浮きがないことを確認してください。 • 白くて汚れのないメディアを使用してください。 • 合成紙やターポリン、布系メディアなどは、検出できないことがあります。 • パターンのプリント実行中にコンピューターから、RIPデータを送信しないでください。 • 自動補正に失敗した場合は、手動で補正してください。[MENU] > [メディア設定] > [フィード補正] or [ドット位置補正]
全て	-		
フィード補正	-	-	
ドット位置補正	-	-	
（解像度）	*	-	補正したい解像度を選択します。 ”全て”を選択すると、すべての解像度の補正パターンをプリントして、自動でドットの着弾位置を補正します。 * 選択できる解像度は、機種によって異なります。
外部ヒーター	ON / **OFF**		外部ヒーターのオン/オフを設定します。
MAPS4 *	-	-	MAPS：Mimaki Advanced Pass System パスの境界を分散させて、パス間の送り縞を目立ちにくくさせる機能です。 MAPSを変更すると、色の変化がみられることがあります。また、画像によっては効果が得られないことがあります。

項目	設定値 *1	設定値 *2	内容
			* MAPSのバージョンは、機種によって異なります。
MAPS *	**AUTO** / MANUAL	-	通常は“AUTO”で使用してください。“MANUAL”に設定すると、以下の項目が表示されます。
速度	50 ~ 100 %	-	速度を下げると、縞が目立ちにくくなります。ただし、プリント速度が遅くなります。
スムージングレベル（カラー）	0 ~ 100 %	-	スムージングレベルを上げると、縞が目立ちにくくなります。カラーとスポットカラー（白）、それぞれ設定してください。
メディア情報	-	-	メディアの情報を入力します。
メディア残量	-	-	リモートモードでロールメディア残量を表示、プリントすることができます。リーフメディアの場合は、プリント長が表示されます。
メディア残量管理	ON / **OFF**	-	• ON：メディア幅検出後に、入力画面が表示されます。▲▼を押して、メディアの長さを設定します。“原点設定”画面で[FUNC3]キーを押すと、日付とメディア残量をプリントすることができます。 • OFF：メディア残量は表示されません。
長さ	0 ~ 500 m	-	ロールメディアの長さを入力します。
プリント停止	ON / **OFF**		ONにすると、メディア残量が0になったときにプリントを停止します。
詳細設定	-	-	各種機能を設定します。
フィード速度	**ホスト** / 10 ~ 100 ~ 200 %	100	メディアの送り速度を設定します。 • プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。 • 100%以上に設定した場合、プリント終了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られないため、画質に影響するおそれがあります。
ベルト補正	**ON** / OFF		送りムラを軽減して、プリント品質を向上する設定をします。
ベルト洗浄			
ベルト洗浄	**ON** / OFF		自動的にベルト洗浄を行うかどうかを設定します。
洗浄フィード速度	**標準** / 低速		プリント以外の▼キー操作によるフィードや、確認フィードのフィード速度を設定します。
カウンターリミット			
地張り剤	**OFF** ,1～30000m		交換目安時期を設定します。
吸水ローラー	**OFF** ,1～30000m		交換目安時期を設定します。
乾燥フィード	**OFF**/ 100~1000mm	OFF	プリント完了後にメディアをフィードさせる長さを設定する。
メディア名称変更	-	-	設定タイプの名称を変更することができます。登録できる文字は、英数字および記号が使用することができます。

項目	設定値		内容
	*1	*2	
メディア削除	-	-	設定したメディア情報を削除します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

*2. RIP用 ソフトウェア（ ホスト） から設定できない、もしくは本機を優先設定しているときに使用される値です。

3.2 メンテナンスメニュー

メンテナンスにお使いいただくメニューです。そのほかにクリーニングやノズル洗浄をしてもノズル詰まりが直らないときに使用するノズルリカバリー機能を設定することができます。

● メニュー 一覧

項目	設定値*1	内容
ステーションメンテ	-	キャリッジを移動させて、ステーションやプリントヘッド周辺のメンテナンスをします。
キャリッジアウト	-	
プラテン右端まで移動	-	キャップやワイパーなどステーション周辺を清掃、ヘッドの高さを変更します。 ☞「キャップゴムの清掃」（P. 120） ☞「ワイパーの清掃」（P. 122） ☞「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 53）
メンテスペースまで移動	-	プリントヘッド周辺を清掃します。 ☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 121） ☞「DAS（自動補正機能）センサーの清掃」（P. 125）
ノズル洗浄	1 ~ 99 min	プリントヘッドのノズル面をメンテナンス液で浸して、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）を復旧します。プリントヘッドのノズル洗浄
ポンプチューブ洗浄	-	吸引ポンプチューブ（キャップ下）を洗浄します。☞「インク排出経路の洗浄」（P. 126）
保管洗浄	1 ~ 99 min	本機を長期間使わないときに実施します。ノズル洗浄と排路洗浄をして、本機を快適な状態に保ちます。☞「長期間使用しないときは」（P. 152）
ワイパー交換	-	ワイパーを交換するときに使用します。ワイパー交換を行うと、本機で管理されていたワイパー使用回数がリセットされます。☞「ワイパーの交換」（P. 156）
キャップ交換	-	キャップを交換するときに使用します。キャップを交換すると、本機で管理しているキャップ使用期間が初期化されます。☞「キャップの交換」（P. 159）
テストプリント	-	テストパターンをプリントして、インクが正常に吐出されているかどうかを確認します。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）があった場合は、ヘッドクリーニングを実施してください。 ☞「テストプリントをする」（P. 91）
クリーニング	-	ヘッドクリーニングには、いくつかのタイプがあります。テストプリントの結果によって使い分けてください。☞「ヘッドクリーニングをする」（P. 93）
ノズルリカバリ	-	ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。
プリント	-	パターンをプリントして、ノズルの状態を確認、登録します。☞「ノズルリカバリーを登録する」（P. 110）
登録	-	パターンをプリントせずに、ノズルを登録します。
リセット	-	設定した内容を初期化します。
テストプリント	ON / **OFF**	テストプリントにノズルリカバリーをしてプリントをするかどうかを設定します。
ノズルチェック	-	☞「ノズルチェックとは」（P. 111）

項目	設定値[*1]	内容
印刷中チェック	ON / **OFF**	プリントが開始される前に、自動でノズル詰まり検出動作を実行します。
チェック間隔	-	ノズル詰まり検出動作のタイミングを設定します。
距離	0.1 ~ **30.0** ~ 100.0m	設定した距離に達したあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
ファイル	1 ~ **30** ~ 1,000ファイル	設定した数のファイルをプリントしたあとに、次のプリントが開始されるタイミングでノズル詰まり検出動作を実行します。
プリント継続	**停止** / 継続	"ノズル詰まり"と判定された場合、プリントを継続するか停止するかを選択します。
復旧動作	OFF / 1 ~ **10** ~ 100	"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
クリーニング	**ソフト** / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
リトライ回数	**0** ~ 3回	指定回数分、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
自動ノズルリカバリ	ON / OFF	"ノズル詰まり"と判定された場合、自動でノズルリカバリーを実行します。手動で設定したいときは、以下を参照してください。 ☞「ノズルリカバリーを登録する」（P. 110）
判定条件	OFF / 1 ~ 64 ノズル	”ノズル詰まり"と判定するノズル数を設定します。1 ノズル列あたり16ノズルまで設定することができます。 連続プリント実行中に ”ノズル詰まり”と判定された場合、次のプリントは開始されません。
オートメンテナンス	-	各種メンテナンスを自動で実行するように設定できます。各メンテナンスを実行する間隔を設定してください。 • ワーニングメッセージ“廃インクタンク交換”が表示されていると、オートメンテナンス機能が実行できません。☞「廃インクタンクの交換」（P. 165）
リフレッシュ	0.5 / **1.0** h	リフレッシュ（プリントヘッドのノズルから、少量のインクを吐出）する間隔を設定します。
ポンプチューブ洗浄	OFF /**48h** / 1 ~ 168 h	吸引ポンプチューブ（キャップ下）を洗浄する間隔を設定します。
クリーニング間隔	1 ~ **48** h	プリントヘッドをクリーニングする間隔を設定します。ノズル詰まりを防止する効果があります。
タイプ	**ノーマル** / ソフト / ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
プリント中メンテ	-	プリントの途中に自動実行するメンテナンスを設定します。
オートクリーニング	-	設定値を超えたファイルがプリント終了したあとに、ヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。
設定	ファイル / 距離 / **時間** / OFF	ヘッドクリーニングをさせる条件を設定します。
間隔	-	ヘッドクリーニングをさせる間隔を設定します。
（ファイル）	1 ~ 1,000	設定したファイル数を超えるとクリーニングを実行します。
（距離）	1 ~ 1,000.0 m	設定したプリント長さを超えるとクリーニングを実行します。
（時間）	10 ~ 240 min	設定したプリント時間を超えるとクリーニングを実行します。

項目	設定値*1	内容
タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。
クリーニング後チェック	ON / OFF	ヘッドクリーニングが終了したあとに、ノズルチェックをさせるかどうかを設定します。
定期ワイピング	OFF / 3 ~ 255min	設定したプリント時間を超えるとワイピングを実行します。
リフレッシュ	弱 /標準/ 強	プリント実行中のリフレッシュ（フラッシング）タイプを選択します。
廃インクタンク	-	廃インクタンクの使用カウントを初期化、もしくは補正します。☞「廃インクタンクの交換」（P. 165）
廃インクタンク量リセット	-	廃インクタンクの使用カウントをリセットします。☞「廃インクタンクを交換する(本機左下)」（P. 165）
廃インク量補正	-	廃インクタンクの使用カウントを補正します。☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」（P. 165）
タンク容量	-	廃インクタンクの容量を表示しています。
空気抜き	-	インク経路内に混入したエアーを排出します。 • インクを交換したのにインクエンドが表示されたままになっている場合に実行してください。
ベルトメンテナンス	-	
ベルト洗浄ユニット	-	洗浄ユニットをメンテナンス位置に移動し、洗浄ブラシやトレイ内の清掃を行います。☞「洗浄ユニットのメンテナンス」（P. 133）
ベルト地張り剤	-	☞「地張り剤の塗り替え」（P. 138）
地張り剤を剥がす	-	地張り剤を剥がす作業を行います。
地張り剤を塗る	-	地張り剤を塗る作業を行います。
ベルトクリーニング	-	搬送ベルトのクリーニングを行います搬送ベルトのクリーニングを行います。☞「搬送ベルトのクリーニング」（P. 150）
洗浄水交換	-	☞「洗浄水の交換」（P. 132）
排水	-	洗浄ユニットの洗浄水を排水します。
給水	-	洗浄ユニットの洗浄水を給水します。
洗浄トレイ掃除	-	洗浄トレイと洗浄ブラシの清掃を行います。
カウンターリセット	-	☞「カウンターのリセット」（P. 151）
地張り剤	-	目安になるカウンターの初期化を行います。
吸水ローラー	-	目安になるカウンターの初期化を行います

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

ノズルリカバリーを登録する

ノズル洗浄などメンテナンスしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合、他のノズルを使ってプリントさせることができます。

- ノズルリカバリーを1ノズル列あたり20個まで登録できます。ノズルリカバリーを設定しても、プリント時間は変わりません。

- 幅500mm以上のメディアをセットしてください。幅500mm未満のメディアをセットした場合、プリントが途切れてしまうおそれがあります。

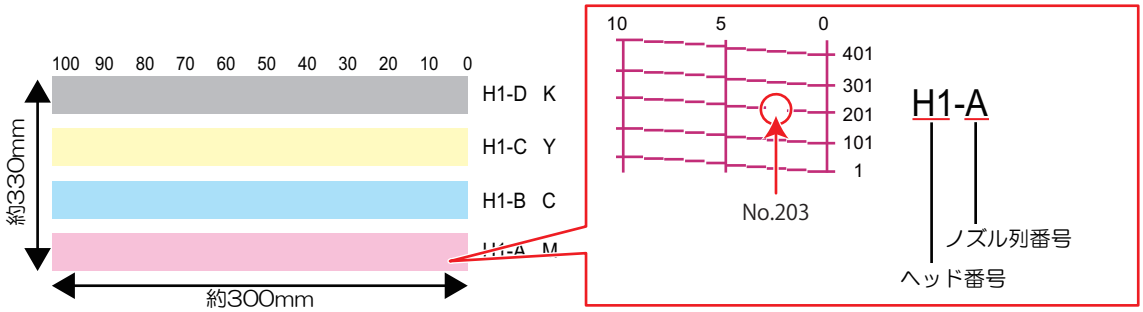
1 メディアをセットする。

2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

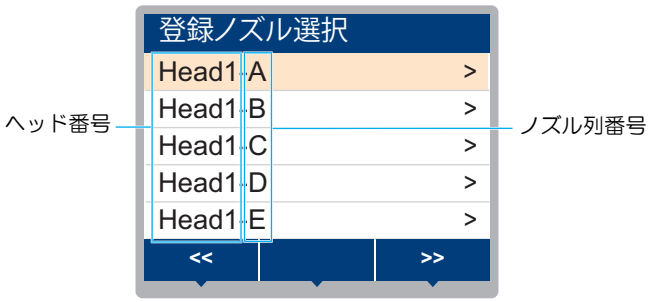
- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ノズルリカバリ] > [プリント]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- ノズルリカバリーパターンをプリントします。
- プリントが終了したあとに、登録ノズル選択画面が表示されます。

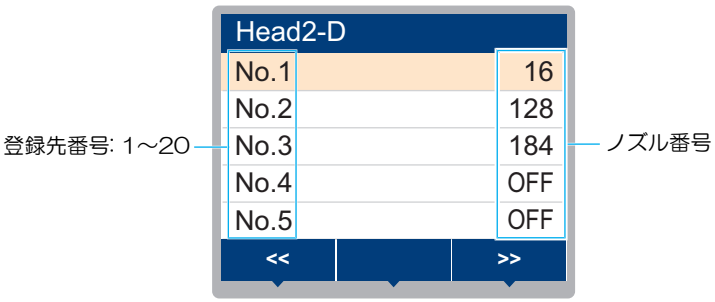


4 ノズルリカバリーをしたい"ヘッド番号-ノズル列番号"を選択して、[ENTER]キーを押す。



5 ノズルリカバリーをしたい"ノズル番号"を入力して、[ENTER]キーを押す。

- 登録先の番号を選択してから、"ノズル番号"を入力します。
- ノズルリカバリーが設定されます。

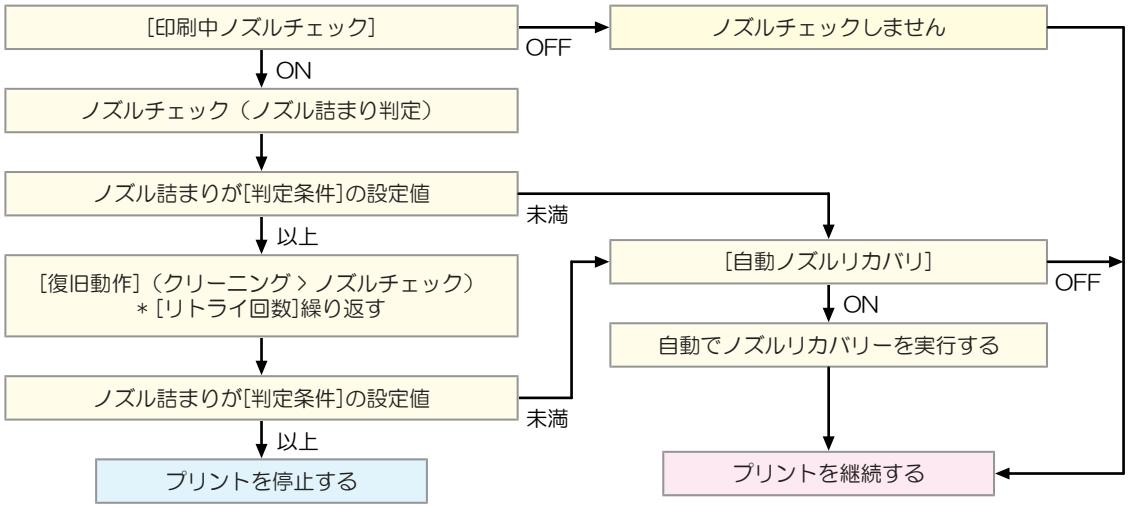


6 登録が終了したあとに、**[ENTER]**キーを押す。

- [メンテナンス] > [ノズルリカバリ] > [テストプリント]をONに設定すると、ノズルリカバリーされてテストプリントされます。☞「テストプリントをする」（P. 91）

ノズルチェックとは

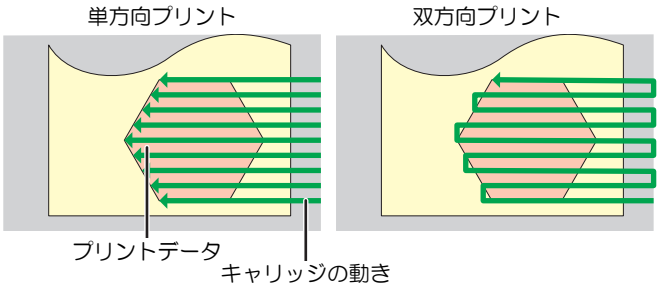
プリントが開始される前に、ノズル詰まりがあるかどうかをチェックします。ノズル詰まりがあった場合、自動でメンテナンス機能を実行させるかどうかを設定します。



3.3 機能設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー 一覧

項目	設定値*1	内容
ロジカルシーク	**ホスト** / OFF / ON	キャリッジの可動範囲を設定します。 • ON：プリントデータ領域 
搬送ユニット使用選択	-	使用する搬送ユニットを変更できます。
繰出ユニット	**ON** / OFF	繰り出しユニットを使わない場合は、OFFにしてください。
繰出テンションバー	**ON** / OFF	繰り出しユニットがONの時に表示されます。繰り出しテンションバーを使わない場合は、OFFにしてください。
巻取ユニット	**ON** / OFF	巻き取りユニットを使わない場合は、OFFにしてください。
引き剥がし	**ON** / OFF	巻き取りユニットがONの時に表示されます。引き剥がしを使わない場合は、OFFにしてください。
繰出/巻取スイッチ	**継続** / 一時	繰り出し／巻き取りスイッチを押した際の動作を設定します。 • 継続：一度押したらもう一度押すまで動作し続けます。 • 一時：スイッチを押している間だけ動作します。 モーター直結ユニットを装着している場合は継続／一時の設定によらずスイッチを押している間だけ動作します。
巻径検出	**AUTO** / MANUAL	巻き取りユニットと繰り出しユニットのメディア外径の検出方法を設定します。
乾燥時間	-	インクを乾燥させる時間を設定します。
スキャン	**ホスト** / 0.0 ~ 9.9 sec	キャリッジがスキャンするごとに、キャリッジを停止させる時間を設定します。 • 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、”スキャン毎の乾燥時間”と表示しています。
プリントエンド	**ホスト** / 0 ~ 120 min	プリントしたあとの停止時間を設定します。設定した時間を超えると次のデータをプリントします。 • 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、プリントエンドの指定ができません。本機を"ホスト"に設定すると、時間は"0分"になります。
電源設定	-	自動で電源ON / OFFする時間を設定します
オートパワーオフ	5 ~ **15** ~ 60 min	自動で電源を切る時間を設定します。
オートパワーオン	-	自動で電源を入れる時間を設定します。
設定	ON / **OFF**	電源を入れるかどうかを設定します。
時刻	**0:00** ~ 23:59	電源を入れる時刻を設定します。
曜日	月 ~ 日	曜日ごとに、電源を入れる/入れないを設定します。

項目	設定値*1	内容
ノズルチェック	ON / OFF	オートパワーオンで起動されたとき、自動でノズルチェック機能を実行します。"ノズル詰まり"と判定された場合、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	クリーニングタイプを設定します。
リトライ回数	0 ~ 3 回	指定回数分、復旧動作（クリーニング > ノズルチェック）を実行します。
トッププロワ	ON / OFF	プリント実行中の吹き付けファンの動作を設定します。
強さ	AUTO / 弱 / 強	吹き付けファンの風力を設定します。
余白設定	-	メディア左右の標準余白（15mm）からオフセットする値を設定します。 • 弊社RIP用ソフトウェア（RasterLink）は、マージンの指定ができません。本機を"ホスト"に設定すると、左右のマージンはオフセット値が"0mm"になります。
マージン	-	
マージン / 左	ホスト / -10 ~ 85 mm	
マージン / 右		
確認フィード	**ON** / OFF	テストプリントなどのプリント結果を確認するために、メディアを前方向にフィードさせるかどうかを設定します。
自動リモート	**ON** / OFF	ローカルモードのときにデータを受信すると、自動的にリモートモードへ移行してプリントを開始するかどうかを設定します。
加圧ローラー警告時間	1 ~ 30min	指定時間の間、プリンタを使用していない時に、ベルト面と加圧ローラーが貼り付かないように「加圧ローラーを上げてください」と警告を出します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

3.4 環境設定メニュー

本機を快適にお使いいただくために各種オペレーションを設定することができます。

● メニュー 一覧

項目		設定値*1	内容
LANGUAGE		**English** / 日本語 / 中文 / Turkce / Portugues / Espanol / Italiano / Korean	表示言語を設定します。
時刻設定		-20 ~ **0** ~ +4 h	現在の日付と時刻を設定します。（日本時間基準） • -20 ~ +4 時間の間で設定できます。
キーブザー		**ON** / OFF	キーを押したときのブザー音を設定します。 • “OFF”に設定しても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。
単位表示設定		-	表示単位を設定します。
	温度	**°C** / °F	温度の表示単位（摂氏/華氏）を設定します。
	長さ	**mm** / inch	長さ、面積の表示単位を設定します。 • “inch”に設定しても、"mm"単位で表示している項目もあります。
ネットワーク		-	ネットワークのアドレスを設定します。設定を有効にするには、本機の再起動が必要です。
	IPアドレス確認	-	本機が使用中のIPアドレスが表示されます。 • IPアドレスが確定するまで、時間がかかります。IPアドレスが未確定の場合、”0.0.0.0”と表示されます。
	MACアドレス確認	-	本機が使用中のMACアドレスが表示されます。
	DHCP	**ON** / OFF	"ON"の場合、DHCPサーバーより与えられたIPアドレスが使用されます。
	AutoIP	**ON** / OFF	"ON"の場合、AutoIPプロトコルにより使用するIPアドレスが決定されます。ただし、DHCPが”ON”の場合は、DHCPが優先されます。
	IPアドレス	-	本機が使用するIPアドレスを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
	デフォルト ゲートウェイ	-	本機が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
	DNS アドレス	-	本機が使用するDNSサーバーのアドレスを設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
	サブネット マスク	-	本機が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。 • [DHCP]、[AutoIP] が両方とも"OFF"の場合に設定することができます。
リモートコントロール		-	リモートコントロール機能をご利用になる場合は、アプリケーション（MRA：Mimaki Remote Access）が必要になります。MRAは、コンピューターやスマートフォンにインストールして、本機から離

項目		設定値*1	内容
			れた場所（同一セグメントのネットワーク内）でも、本機の情報をみることができたり、パネル操作を可能にするリモートアクセスツールです。
	設定	**有効** / 無効	リモートコントロールの有効/無効を設定します。
	PINコード	**0000** ~ 9999	MRAと同じPINコードを入力します。PINコードは、本機とMRA間の認証に使用します。 • 本機を“0000”に設定すると、MRAがどんなPINコードでも本機にアクセスできるようになります。
	キーライフタイム	5 ~ **30** ~ 120 min	一定時間MRAを操作しなかったときに、本機とMRAの接続を解除する時間を設定します。
マシンリセット		-	設定した内容を初期化します。

*1. お買い上げ時は下線の値に設定されています。

3.5 マシンステータスメニュー

本機の各種情報を確認することができます。

● メニュー 一覧

項目		内容
使用状況	ワイピング	ワイピング回数が表示されます。 • 表示中に[FUNC2]キーを押すと、ワイピング回数を初期化することができます。
	プリント長	累積されたプリント長さが表示されます。
	プリント面積	累積されたプリント面積が表示されます。
	使用時間	累積された電源オンの時間が表示されます。
	廃インクタンク	廃インクタンクに溜まっている廃インク量の目安（%）が表示されます。 表示中に[FUNC1]キーを押すと、廃インク量を初期化することができます。
	キャップ使用	キャップを交換してからの経過日数が表示されます。
	地張り剤	地張り剤塗布からのフィード距離が表示されます。
	吸水ローラー	吸水ローラーの使用距離が表示されます。
メンテナンス履歴	メンテナンス	各メンテナンス機能の実施履歴が表示されます（最大10件）。 • クリーニング☞ P. 93、ポンプチューブ洗浄☞ P. 126、ノズル洗浄プリントヘッドのノズル洗浄
	ワイパー交換	ワイパーの交換履歴が表示されます（最大5件）。☞ P. 156
	インク交換	各インクスロットのインクパックを交換履歴が表示されます（最大5件）。 ☞「インクを交換する」（P. 43） • スロット1 - 8
	キャップ交換	ヘッドキャップの交換履歴が表示されます。☞「キャップの交換」（P. 159）
バージョン		本機のファームウェア、その他のバージョンが表示されます。
エラー履歴		エラー、ワーニングの履歴が表示されます。 • 発生順に発生日時とエラー、ワーニング情報をキー操作で切り替えて表示します。
リスト		本機の情報をプリントすることができます。

第 4 章　メンテナンス

この章では...

本機の精度を保ちながら末永くお使いいただけるように、使用頻度に応じて定期的にお手入れをしてください。
メンテナンスに関する注意事項をよくお読みになってから、お手入れをしてください。

メンテナンスに関するご注意.....118
メンテナンスの方法.....119
メンテナンス項目とタイミング..... 119
インクのメンテナンス..... 120
キャップゴムの清掃..... 120
キャリッジ底面の清掃..... 121
ワイパーの清掃..... 122
NCUの清掃..... 124
DAS（自動補正機能）センサーの清掃.... 125
インク排出経路の洗浄..... 126
ジャムセンサー検出板の清掃..... 128
引き剥がしローラーの清掃..... 129
ベルト補正ユニットの清掃..... 129
吹き付けファンフィルターの清掃..... 131
洗浄水の交換..... 132
洗浄ユニットのメンテナンス..... 133
地張り剤の塗り替え..... 138
洗浄トレイとブラシの清掃..... 148
搬送ベルトのクリーニング..... 150
引き剥がしセンサーのクリーニング..... 150
カウンターのリセット..... 151
カバー（外装）の清掃..... 152
長期間使用しないときは..... 152
消耗品の交換.....155
消耗品を交換するタイミング.....155
ワイパーの交換.....156
ワイパークリーナーの交換.....157
キャップの交換.....159
ステーション周辺の吸収材の交換.....161
吹き付けファンフィルターの交換.....163
インク供給ユニットのインク吸収材の交換
.....164
廃インクタンクの交換.....165

4.1 メンテナンスに関するご注意

- 定期的に交換しなければならない部品がありますので、保守契約をしていただくことをお勧めします。また品質不良や事故を未然に防ぐために、定期的にメンテンスしたり、消耗品を交換したりしてください。

⚠ 警 告

- 定期的に清掃してください。本機を長年使用していると、電気部品にゴミやホコリがたまってしまいます。漏電による本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。
- エアブローなどエア吹き付けによる清掃はしないでください。飛散したゴミやホコリが電気部品に侵入して、本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。もしくは、掃除機などで吸い取ってください。

- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

⚠ 注 意

- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

注 記

- プリントヘッドのノズル面には、絶対に触れないでください。また、水やアルコールを付着させないでください。本機の故障や吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- ヘッドの周辺やキャリッジの周辺を清掃するときは、綿棒を使わないでください。綿棒の繊維がヘッドノズル面に付着すると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。
- カバーにインクやメンテナンス液を付着させないでください。カバーの表面が変質したり、変形したりする原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。部品が変質したり、変形したりする原因になります。
- アセトン、IPAなどの有機溶剤は使用しないでください。本機が故障する原因になります。
- キャリッジを手動で移動しないでください。キャリッジを移動したいときは、メニューからキャリッジアウトを実行してください。

4.2 メンテナンスの方法

メンテナンス項目とタイミング

タイミング	項目
1日に1度、作業が終わったとき	ワイパー周辺を清掃してください。☞「ワイパーの清掃」（P. 122）
	洗浄水を交換してください。☞「洗浄水の交換」（P. 132）
3日に1度、作業を始めるとき	インクを振ってください。☞「インクのメンテナンス」（P. 120）
1週間の作業が終わったとき	キャップゴムを清掃してください。☞「キャップゴムの清掃」（P. 120）
	キャリッジの底面を清掃してください。☞「キャリッジ底面の清掃」（P. 121）
	廃インクタンクの廃インク量を確認してください。☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」（P. 165）
	引き剥がしローラーの掃除をしてください。☞「引き剥がしローラーの清掃」（P. 129）
	ベルト補正ユニットの掃除をしてください。☞「ベルト補正ユニットの清掃」（P. 129）
	洗浄ユニットを清掃してください。☞「洗浄ユニットのメンテナンス」（P. 133）☞「カウンターのリセット」（P. 151）
	搬送ベルトを清掃してください。☞「搬送ベルトのクリーニング」（P. 150）
	引き剥がしセンサーを清掃してください。☞「引き剥がしセンサーのクリーニング」（P. 150）
2週間の作業が終わったとき	吹き付けファンフィルターを清掃してください。☞「吹き付けファンフィルターの交換」（P. 163）
1か月に1度	NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」（P. 124）
	DASセンサーを清掃してください。☞「DAS（自動補正機能）センサーの清掃」（P. 125）
	ジャムセンサー検出板を清掃してください。☞「ジャムセンサー検出板の清掃」（P. 128）
	カバー（外装）を清掃してください。☞「カバー（外装）の清掃」（P. 152）
1週間以上使わないとき	キャップの清掃、インク排出経路の洗浄をしてください。清掃が終了したあとは、主電源は切らずに保管してください。☞「長期間使用しないときは」（P. 152）
搬送ベルトの接着力が落ちてきたとき	地張り剤を塗り替えてください。☞「地張り剤の塗り替え」（P. 138）☞「洗浄トレイとブラシの清掃」（P. 148）☞「カウンターのリセット」（P. 151）

メンテナンスに必要な道具

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html）にてご覧になれます。

- 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

インクのメンテナンス

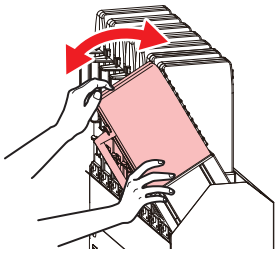
インクに含まれている成分が沈降すると、インクの濃度が不均等になってしまうおそれがあります。安定してプリントしていただくために、定期的にインクを振っていただくことをお勧めします。

3日に1 回程度。

重 要！
- インク供給ユニットから**インクエコケースを抜かないように振ってください。**インクエコケースが外れるとインクが漏れるおそれがあります。

1 **インクエコケースを10回程度ゆっくりと振る。**

- インクエコケースの上部を押さえながら手前に前後します。



- 必ずインクエコケースの上部を押さえながら手前に前後してください。上部を押さえないとインクエコケースが抜けて、インクが漏れるおそれがあります。

キャップゴムの清掃

キャップは、プリントヘッドのノズル面を乾燥から守る役割りがあります。汚れたまま使い続けると、インクの吸引が正常にできなくなって、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）のおそれがあります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

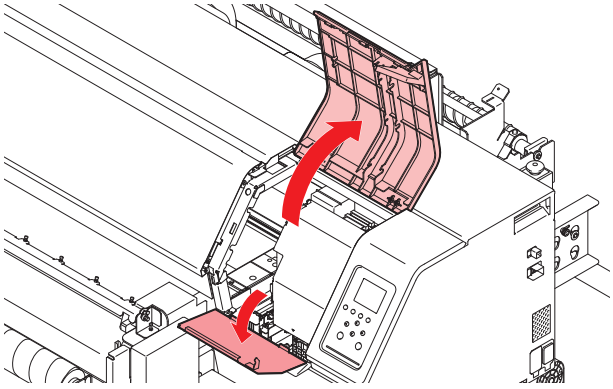
1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

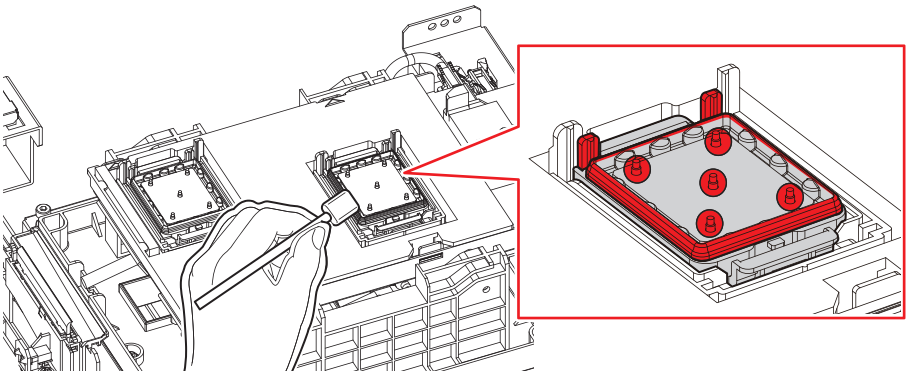
- キャリッジが搬送ベルト上に移動します。

3 **右側のメンテナンスカバーを開く。**



4 キャップゴムを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。
- イラストの赤色（キャップゴムの内側/外側全周とツメ、メッシュ固定部）の部分を清掃します。



5 メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

キャリッジ底面の清掃

キャリッジ底面は、ワイパーで拭き取ったインクが付着しています。汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

また、プリントヘッドは非常に微細なメカニズムを採用しております。お手入れの際には十分な注意が必要です。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

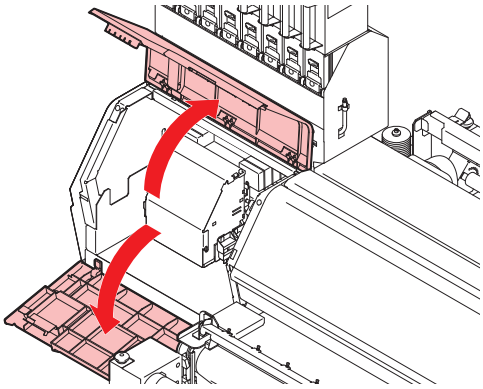
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

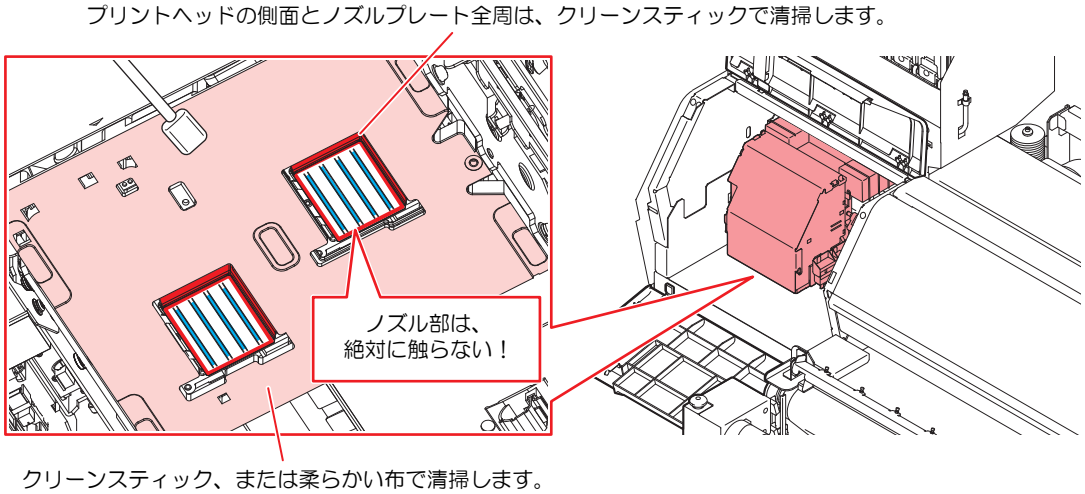
- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 左側のメンテナンスカバーを開く。



4 プリントヘッド周辺を清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- プリントヘッドのノズル部（イラストの青色部分）には、絶対に触れないでください。

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

ワイパーの清掃

ワイパーは、プリントヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取っています。ワイパーが汚れたまま使い続けると、固まったインクやホコリの付着したワイパーがノズル面をこすり付け、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

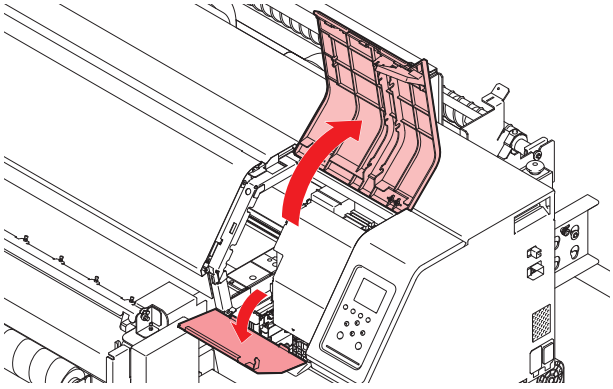
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

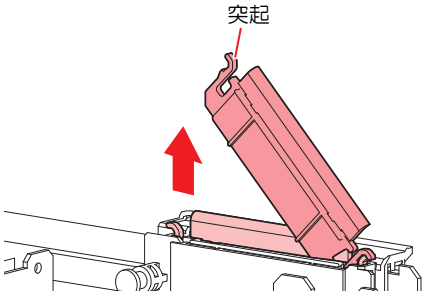
- キャリッジが搬送ベルト上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



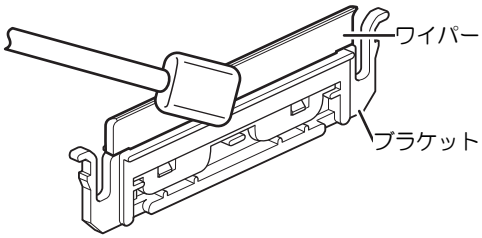
4 ワイパーを外す。

- ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。



5 ワイパーとブラケットを清掃する。

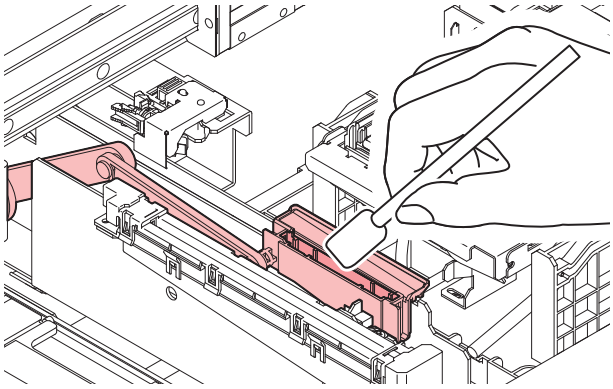
- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



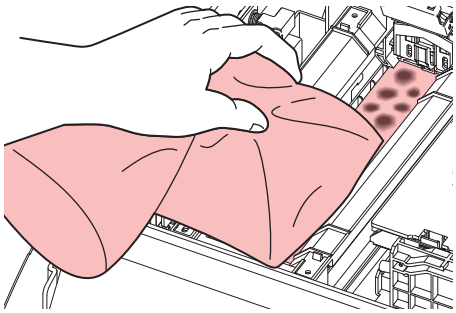
- ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。ワイパーの交換

6 ワイパースライダーを清掃する。

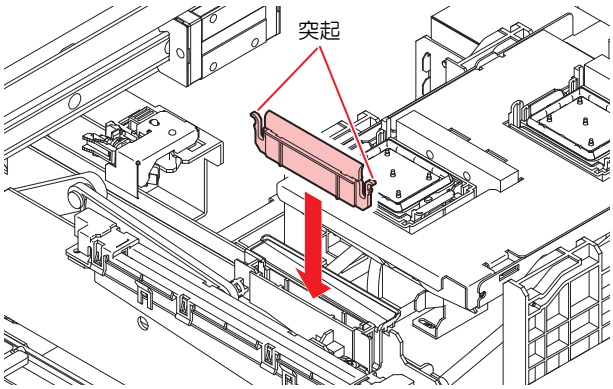
- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- 吸収剤ケースの中に、大量のインクが入っている場合、吸水ペーパー等で吸い取ってください。



7 ワイパーを元の位置にセットする。



8 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

NCUの清掃

NCUは、プリントヘッドのノズルから吐出インク滴をセンサーで監視しています。汚れたまま使い続けると、ノズルチェック機能が正常に動作しないおそれがあります。

- クリーンスティックの欠片が残らないように清掃してください。欠片が残っていると、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。

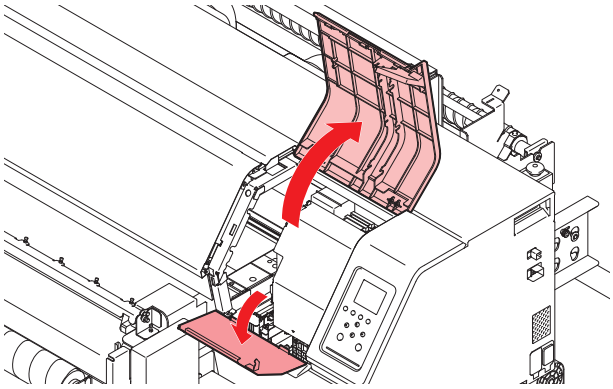
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

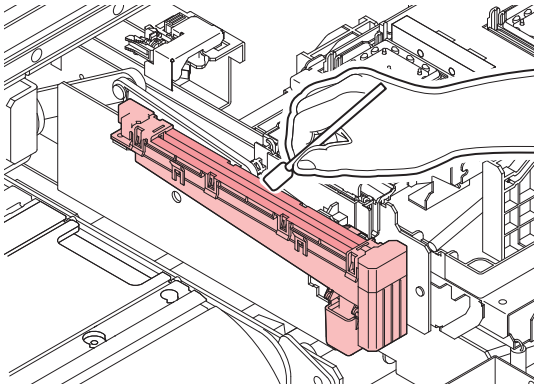
- キャリッジが搬送ベルト上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。

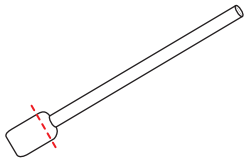


4 **NCUを清掃する。**

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



- クリーンスティックは、イラストの位置まで挿し込んでください。



5 **清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

DAS（自動補正機能）センサーの清掃

キャリッジ底面に、DASセンサーが付いています。センサーにホコリやゴミがたまると、DAS（☞ P. 104）が実行できないおそれがあります。

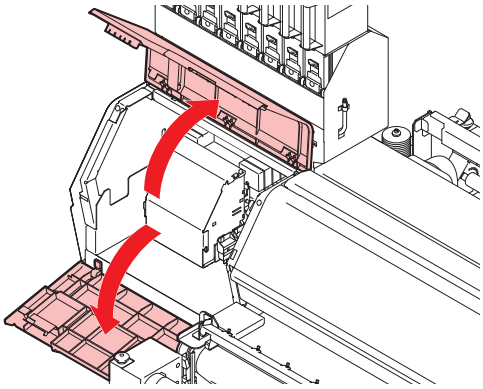
1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

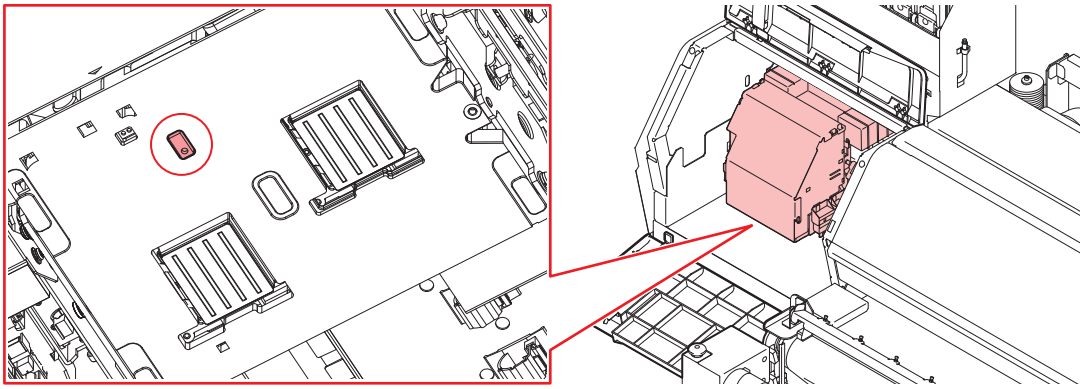
- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 左側のメンテナンスカバーを開く。



4 **DASセンサーを清掃する。**

- 綿棒や柔らかい布で拭き取ってください。



- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

5 **清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

インク排出経路の洗浄

キャップ下のインク排出経路のインク詰まりを防止するため、定期的にインク排路の洗浄をしてください。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

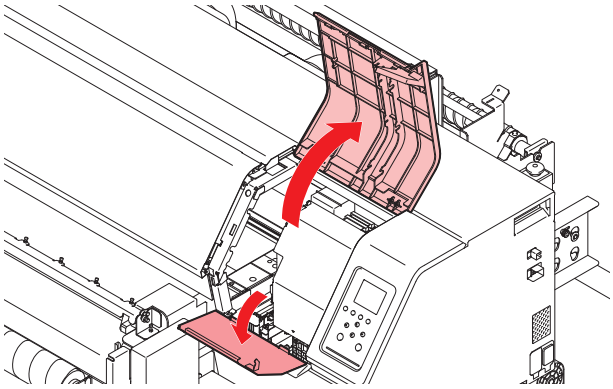
- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [ポンプチューブ洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャップにメンテナンス液が満たされます。

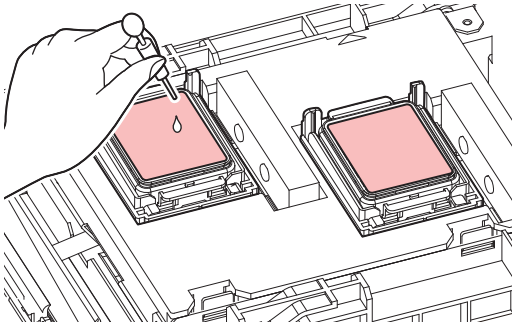
- カバーを閉じてください。カバーが開いたままだと、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



- キャップの半分程度メンテナンス液が溜まっていることを確認する。

- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度メンテナンス液を滴下してください。



- キャップの半分程度メンテナンス液が入っているかどうかを確認する。

- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度までメンテナンス液を満たしてください。

4 メンテナンスカバーを閉じて、**[ENTER]**キーを押す。

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

ジャムセンサー検出板の清掃

汚れたまま使い続けると、固まったインクや付着したホコリがメディアをこすり付けて、成果物を汚してしまう原因になります。

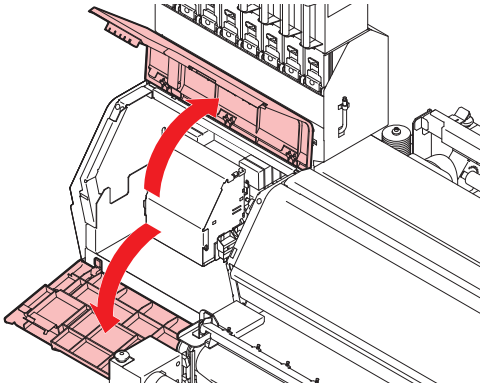
1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [メンテスペースまで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

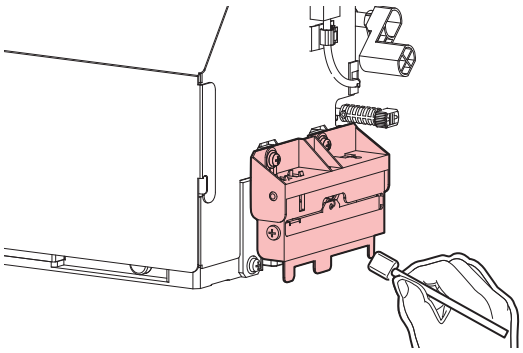
- キャリッジがメンテナンススペースに移動します。

3 **左側のメンテナンスカバーを開く。**



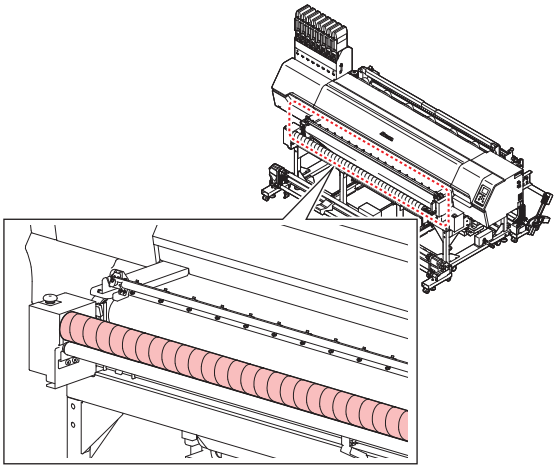
4 **ジャムセンサー検出板を清掃する。**

- キャリッジ左右のジャムセンサー検出板の下部を清掃します。
- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



5 **清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

引き剝がしローラーの清掃



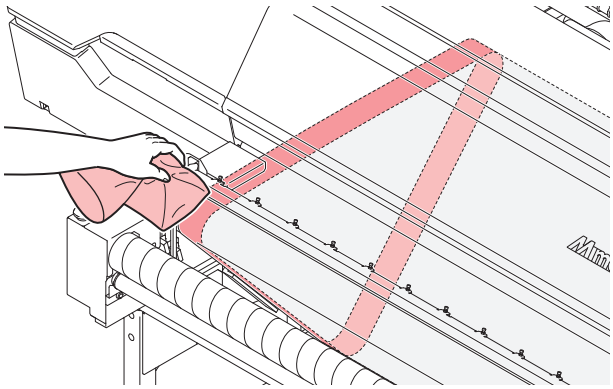
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

ベルト補正ユニットの清掃

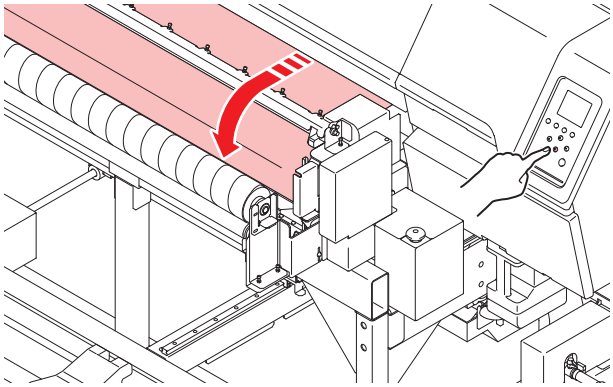
搬送ベルトに塗った地張り剤が、ベルト補正ユニットのグリップゴムに付着することがあります。グリップゴムに地張り剤が付着したままだと、ベルト補正ユニットがスリップして印刷品質が低下する原因になります。ベルト補正ユニットのグリップゴムと搬送ベルトの端面30 mm （正面から見て左側を全周）を、定期的に清掃してください。（1 週間に1 回程度）

1 **搬送ベルトの端面を清掃する。**

- アルコールをしみこませたウエスで、搬送ベルトの左端面30 mm を拭いてください。



2 **[メンテナンス] > [ベルトメンテナンス] > [ベルトクリーニング]で回数を指定し、ベルトをフィードします。**



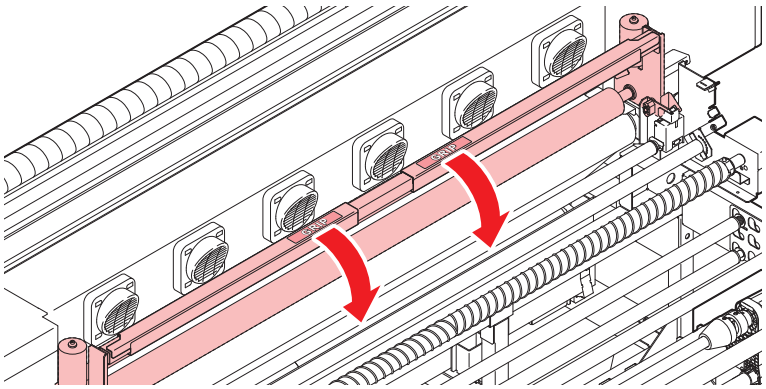
3 手順1、2を繰り返し、全周を清掃する。

4 主電源を切る。

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから以降のメンテナンスをしてください。

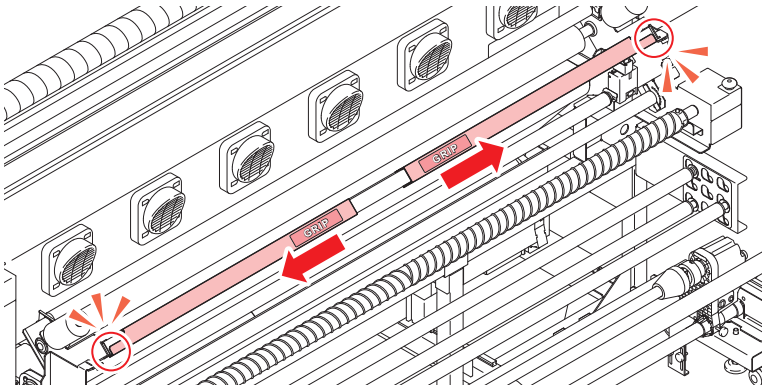
5 加圧ローラーを上げる。

- 両手で「GRIP」部を持ち、手前に引いてください。

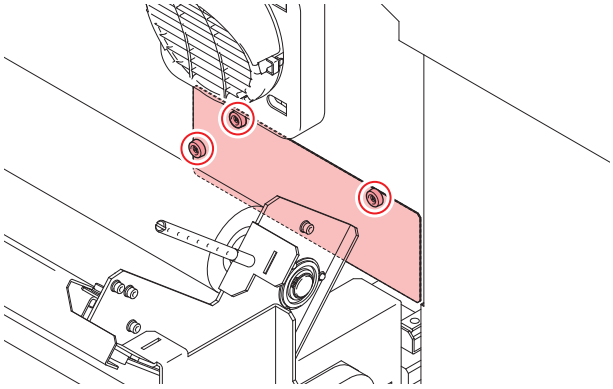


6 加圧ローラーをロックする。

- 両手で「GRIP」部を持ち、外側にスライドしてください。
- 確実に左右がロックされていることを確認してください。

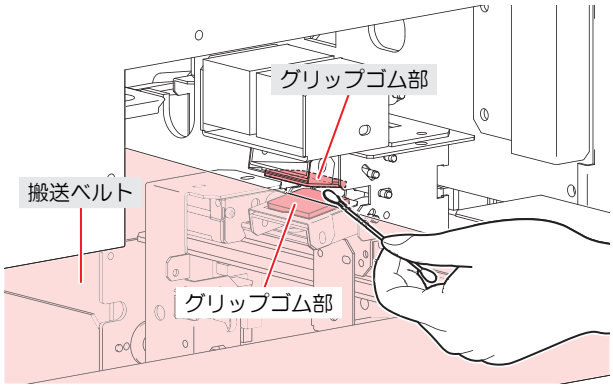


7 メンテカバーを取り外す。



8 グリップゴムを清掃する。

- アルコールをしみこませた綿棒で、搬送ベルトの上下にあるグリップゴム部を拭いてください。



9 メンテカバーを取り付ける。

吹き付けファンフィルターの清掃

吹き付けファンフィルターが汚れたときは、フィルターを水洗いしてください。

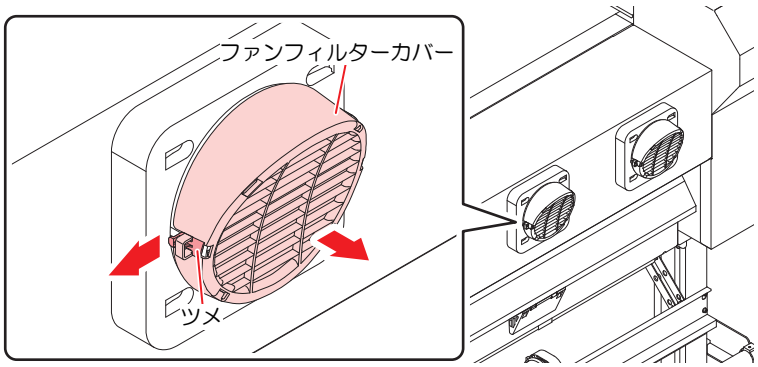
● お手入れの目安

重要！
- 2週間に1回フィルターの汚れを確認して水洗いしてください。
- 3か月に1度は、フィルターを交換してください。☞「吹き付けファンフィルターの交換」（P. 163）

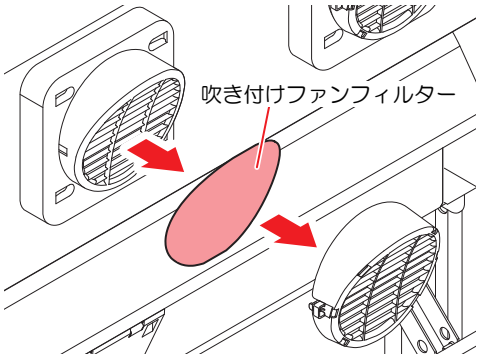
- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

1 ファンフィルターカバーを外す。

- ファンフィルターカバーのツメを外側に押して、カバーを手前に引っぱります。



2 フィルターを外す。

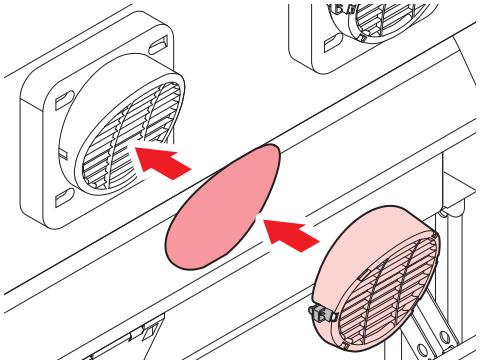


3 フィルターを水洗いする。

- 水洗いしたあとは、フィルターを乾燥させてください。

4 乾燥させたフィルターとファンフィルターカバーを付ける。

- ファンフィルターカバーは、ツメがカチッと音がするまではめ込みます。



洗浄水の交換

ベルト洗浄を行っても搬送ベルトとの汚れが残る場合は、洗浄水を交換してください。かけ流しで使用していない場合は、洗浄水の交換は毎日実施してください。

1 ローカルで、 **[FUNC1（MENU）] > ▼ > [ENTER]** キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 ▲▼押して“ベルトメンテナンス”を選び、**[ENTER]** キーを押す。

3 ▲▼押して“洗浄水交換”を選び、**[ENTER]** キーを押す。

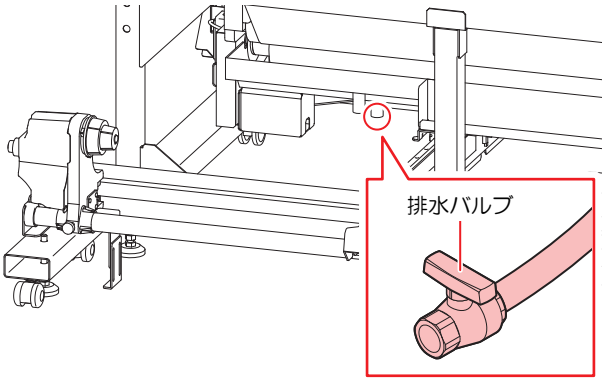
- 洗浄水交換の設定画面が表示されます。

4 ▲▼押して“排水”を選び、**[ENTER]** キーを押す。

5 **[ENTER]** キーを押す。

- ディスプレイに“洗浄ユニット移動　しばらくお待ちください”と表示されます。

6 ディスプレイに“洗浄水を排水します　排水バルブを緩めてください”と表示されたら、排水バルブの下にバケツなどを置き、排水バルブを開ける。



7 **[ENTER] キーを押す。**

- 排水が始まり、ディスプレイに“洗浄水排水中　しばらくお待ちください”と表示されます。

8 ディスプレイに“排水完了 排水バルブを閉じてください”と表示されたら、排水バルブを閉じる。

9 **[ENTER] キーを押す。**

- ディスプレイに“洗浄水を給水しますか？”と表示されます。

10 **[ENTER] キーを押す。**

- ディスプレイに“洗浄水を給水します 排水バルブを閉じてください”と表示されます。

11 排水バルブを閉じ、**[ENTER] キーを押す。**

12 ディスプレイに“洗浄水を給水します”と表示されたら、**[ENTER] キーを押す。**

- 給水が始まり、ディスプレイに“洗浄水給水中　しばらくお待ちください”と表示されます。

- 給水中の水量が多すぎたり、少なすぎたりする場合は、給水バルブのコックで水量を調整してください。

13 ディスプレイに“給水完了”と表示されたら、**[ENTER] キーを押す。**

14 **[ENTER] キーを押す。**

- ディスプレイに“洗浄ユニットを戻す　しばらくお待ちください”と表示されます。
- 洗浄ユニットが待機位置に戻ると、洗浄水交換の設定画面が表示されます。

洗浄ユニットのメンテナンス

ベルト洗浄ユニットの清掃

ベルト洗浄ユニットをメンテナンス位置に移動し、洗浄ブラシやトレイ内の清掃を行います。

1 ローカルで、**[FUNC1（MENU）] > ▼ > [ENTER] キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 ▲▼を押して“ベルトメンテナンス”を選び、**[ENTER] キーを押す。**

3 ▲▼を押して“ベルト洗浄ユニット”を選び、[ENTER] キーを押す。

4 [ENTER] キーを押す。

5 加圧ローラーを上げ、メディアを外す。

- メディア取り付け中の場合はメディアを取り外してください。

6 [ENTER] キーを押す。

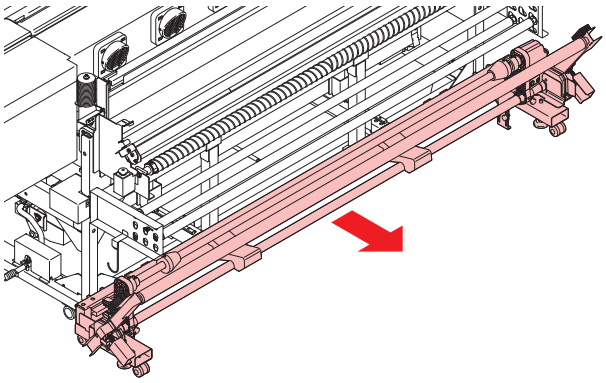
- 洗浄ユニットの移動指示が表示されます。

7 [ENTER] キーを押す。

- 洗浄ユニットが本機の後方へ移動します。

8 繰り出しユニットを取り外す。

- メディアがセットしてある場合は、メディアを取り外してください。
- 繰り出しユニットを本機から取り外し、移動してください。



- 繰り出しユニット取り外し後に、ENDキー長押しやカバーオープン等によりローカル画面に戻ってしまった場合は、下記の手順で作業をやり直してください。
  (1) 主電源を切る。
  (2) 繰り出しユニットを取り付ける。
  (3) 主電源を入れる。
  (4) 再度手順1からやり直す。

9 [ENTER] キーを押す。

- 給水バルブ制御画面に移動します。

10 洗浄ユニットを清掃します。

- 洗浄トレイに水を流したい場合は、[ENTER] キーを押してください。給水バルブが開き、洗浄トレイに給水されます。
- 水を止めたい場合は、もう一度 [ENTER] キーを押してください。給水バルブが閉じます。

- 排水ホースが詰まっていないことを確認してから、給水バルブから水を流してください。排水ホースが詰まった状態で水を流すと、洗浄トレイから水があふれる原因となります。

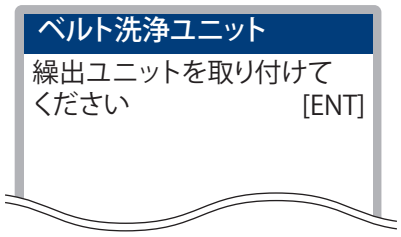
11 清掃が終了したら [END/POWER] キーを押す。

- 終了の確認画面が表示されます。

12 **繰り出しユニットを取り付ける。**

- 取り外していた繰り出しユニットを取り付けます。

- 繰り出しユニットの取り付けは、必ずこの画面で実施してください。



13 **テンションバーを手で持ち上げて[ENTER] キーを押す。**

- 繰り出しユニットの取り付けが正しくないか、テンションバーを持ち上げない場合、繰り出しユニット取り付け画面へ戻されます。

14 **繰り出しユニットのON/OFFボタンを押す。**

15 **[ENTER] キーを押す。**

- 繰り出しユニットが回転しない場合、繰り出しユニット取りつけ画面へ戻されます。

16 **[ENTER] キーを押す。**

- 洗浄ユニットが元の位置に戻ります。

17 **[ENTER] キーを押す。**

- メンテナンスの終了画面が表示されます。

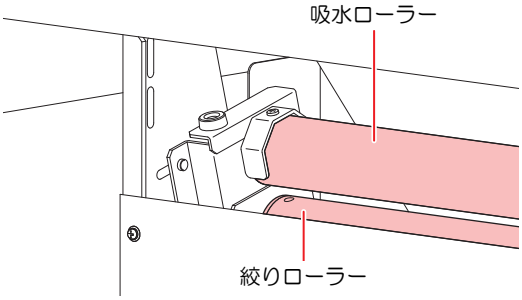
18 **[ENTER] キーを押す。**

吸水ローラーのクリーニング

ベルト洗浄を使用していると、吸水ローラーに汚れが蓄積します。良質の作図品質を保つために、吸水ローラーのクリーニングを行ってください。

- 吸水ローラーのクリーニング目安時期を設定すると、クリーニング時期を気にせず作業をすることができます。

- 洗浄水で床が汚れないように、床にウエス等の紙を敷いてから作業してください。
- ゴム手袋を着用して、クリーニングしてください。



1 ローカルで、[FUNC1（MENU）] > ▼ > [ENTER] キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 ▲▼を押して“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。

3 ▲▼を押して“ベルト洗浄ユニット”を選び、[ENTER] キーを押す。

4 [ENTER] キーを押す。

5 加圧ローラーを上げ、メディアを外す。

- メディア取り付け中の場合はメディアを取り外してください。

6 [ENTER] キーを押す。

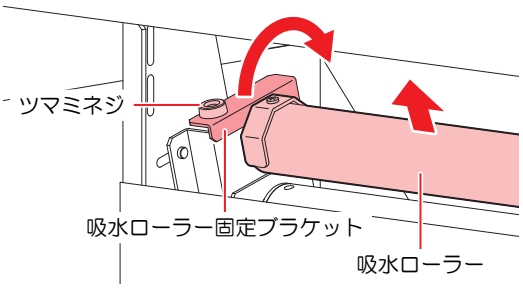
- 洗浄ユニットの移動指示が表示されます。

7 [ENTER] キーを押す。

- 洗浄ユニットが本機の後方へ移動します。

8 ツマミネジを外し、左右の吸水ローラー固定ブラケットを回転させる。

- 吸水ローラーは本機背面中側にあります。

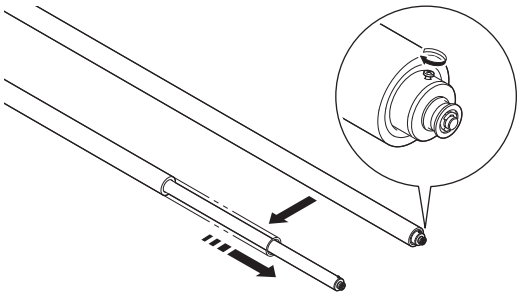


9 吸水ローラーを本機から外す。

- 吸水ローラーを外すときは、2人以上で外してください。

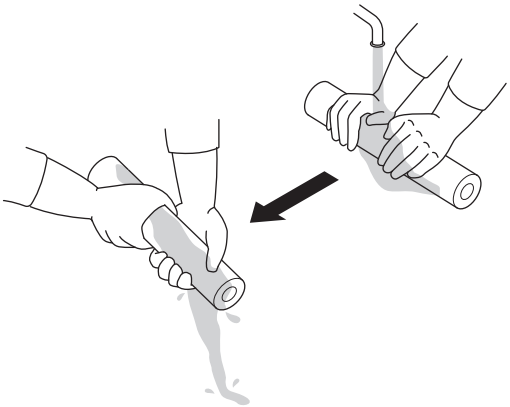
10 吸水ローラーに付いた水を取り除く。

(1) 両端のネジをドライバーで外し、一コマずつ外して、クリーニングします。



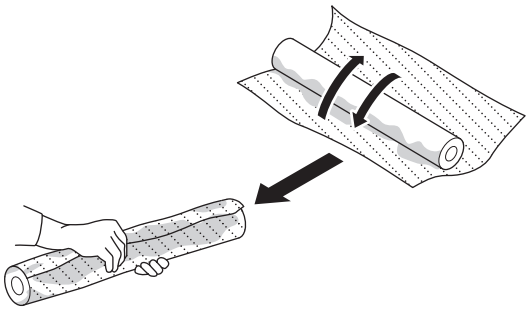
(2) 水道水などに付け、ローラーに付着した汚れを落とします。

- スポンジは、ねじらないようにしてください。



(3) 汚れが落ちたら、ベンコットなどのウエスなどにくるみ、水を吸い取ります。

- スポンジは、ねじらないようにしてください。



(4) 良く乾かしてから元に戻します。

- 汚れが落ちない場合は新品の吸水ローラー(SP-01021)に交換してください。

11 吸水ローラーを元に戻す。

- ワーニングメッセージが表示されている場合は、カウンターをリセットしてください。☞「カウンターのリセット」（P. 151）

- 吸水ローラーにすき間があかないように、中央に寄せて止めてください。

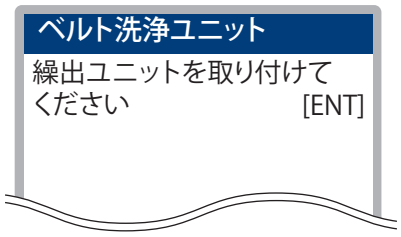
12 清掃が終了したら [END/POWER] キーを押す。

- 終了の確認画面が表示されます。

13 **繰り出しユニットを取り付ける。**

- 取り外していた繰り出しユニットを取り付けます。

- 繰り出しユニットの取り付けは、必ずこの画面で実施してください。



14 **テンションバーを手で持ち上げて[ENTER] キーを押す。**

- 繰出ユニットの取り付けが正しくないか、テンションバーを持ち上げない場合、繰出ユニット取り付け画面へ戻されます。

15 **繰り出しユニットのON/OFFボタンを押す。**

16 **[ENTER] キーを押す。**

- 繰り出しユニットが回転しない場合、繰り出しユニット取りつけ画面へ戻されます。

17 **[ENTER] キーを押す。**

- 洗浄ユニットが元の位置に戻ります。

18 **[ENTER] キーを押す。**

- メンテナンスの終了画面が表示されます。

19 **[ENTER] キーを押す。**

地張り剤の塗り替え

インク、糸くず、ホコリなどで接着力が低下した場合は、地張り剤の塗り替えが必要です。

- 塗り替えの目安
  作図したメディアに正面カバーから出てきた時点で浮きが発生していたら、塗り替え時期です。ディスプレイにワーニングメッセージ“ベルト地張り剤　塗りなおしてください”が表示されたら、速やかに地張り剤を塗りなおしてください。

- 弊社純正の地張り剤は、溶剤系の地張り剤です。必ず有機溶剤用保護マスク、保護メガネ、手袋を着用して、地張り剤の塗り替えを行ってください。
- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で地張り剤の塗り替えを行う場合は、必ず換気装置を設けてください。地張り剤を使用する場合、有機溶剤中毒予防規則を遵守してください。
- また地張り剤の塗り替えを行う場合は、有機溶剤作業主任者技能講習を終了した方、または有機溶剤作業主任者が選任されている下で、作業を行ってください。

- メディアが使用前からたるんでいて、搬送ベルトに張り付けする（加圧ローラーを通した）時点で浮き・たるみが発生する場合は、地張り剤が原因ではありません。またそのメディアは使用できません。

地張り剤を剥がす

地張り剤を剥がす際には以下の物が必要です。

● 使用するもの

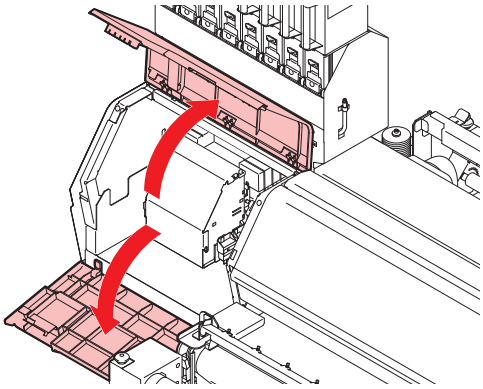
- ドクタ、手袋

● ご用意していただくもの

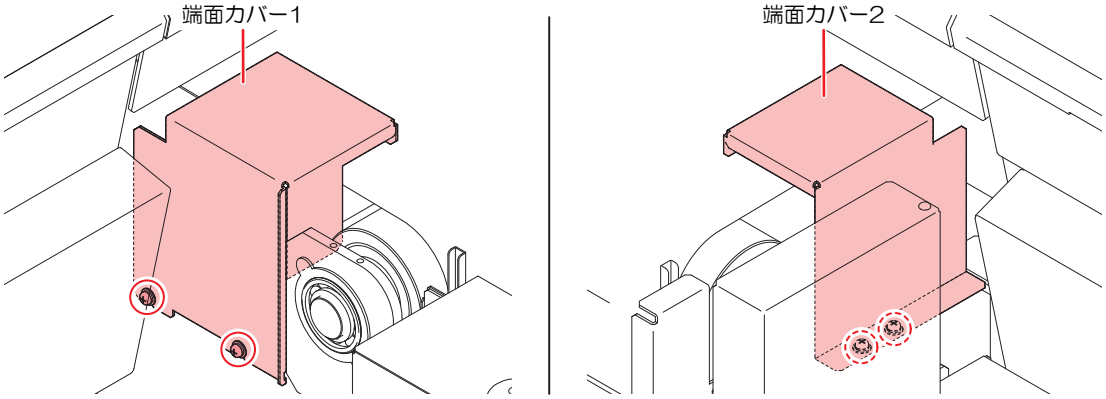
- ウエス
- 灯油または軽油（約500cc）
- エタノール（約200cc）
- トレイのような形状の金属板または耐油性のある樹脂板

- 口の小さな容器に灯油（軽油）、エタノールを移しておくと便利です。

1 左側のメンテナンスカバーを開く。



2 端面カバー1、端面カバー2を外す。



3 ローカルで、 [FUNC1（MENU）] > ▼ > [ENTER] キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

4 ▲▼押して“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。

5 ▲▼押して“ベルト地張り剤”を選び、[ENTER] キーを押す。

6 ▲▼押して“地張り剤を剥がす”を選び、[ENTER] キーを押す。

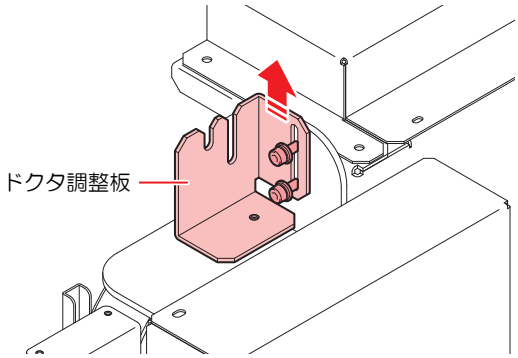
7 ディスプレイに“メディアを外してください”と表示されたら、搬送ベルト上にメディアがないことを確認し、**[ENTER]** キーを押す。

8 ディスプレイに“加圧ローラーを上げてください”と表示されたら、本機背面の加圧ローラーを上げ、**[ENTER]** キーを押す。

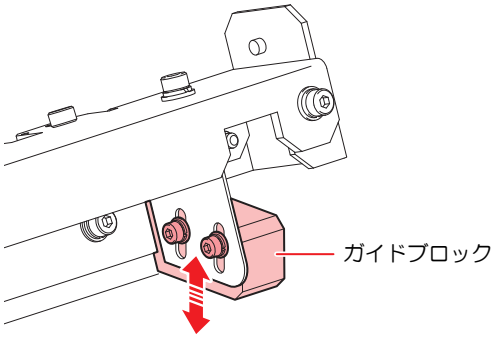
9 ディスプレイに“ドクタをセットしてください”と表示されたら、本機前面にドクタをセットする。

- ドクタとベルトの間に、すき間をあけた状態でセットしてください。

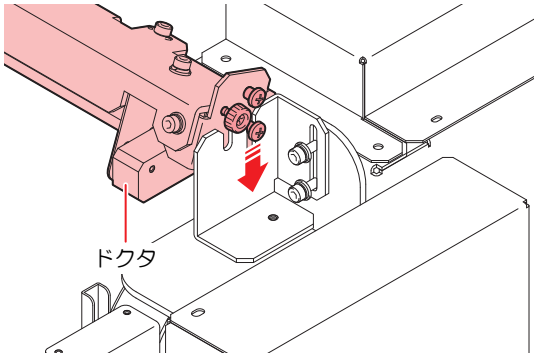
(1) ドクタ調整板（左右両側）を緩め、上端に移動させて仮止めします。



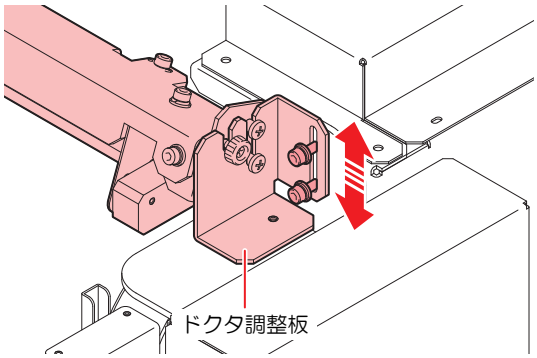
(2) ドクタのガイドブロック（左右両側）を自重で上下する程度に緩めます。



(3) ドクタを取り付け、ネジで固定します。



(4) ドクタ調整板の高さを、ドクタブレードが搬送ベルトにつき当たるあたりに調整し、固定します。

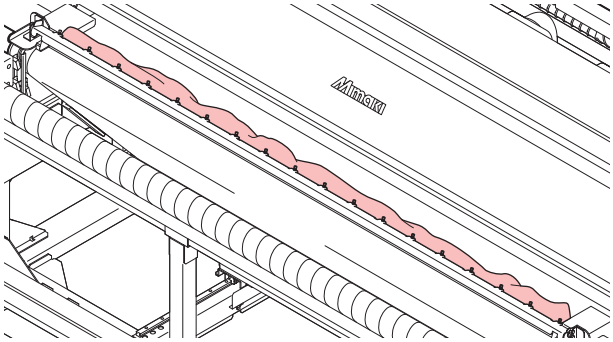


10 ▲▼を押してフィード速度を設定し、**[ENTER]** キーを押す。

- 設定値：5～60 [mm/s]

- 20mm/sを推奨します。

11 灯油をよくしみこませたウエスを、搬送ベルト上のドクタの内側に沿うように置く。



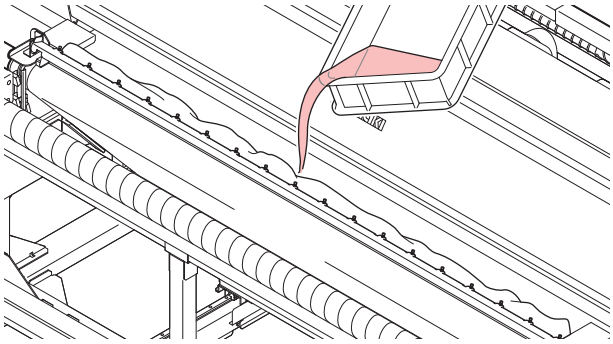
12 [ENTER] キーを押す。

- 搬送ベルトが移動します。

- 搬送ベルトを一時停止する場合は、
  （1）[FUNC2（PAUSE）] キーを押してください。
  （2）▲▼を押して“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。
- フィード速度を変更する場合は、[FUNC1（SPEED UP）] / [FUNC3（SPEED DOWN）] を押して調整してください。

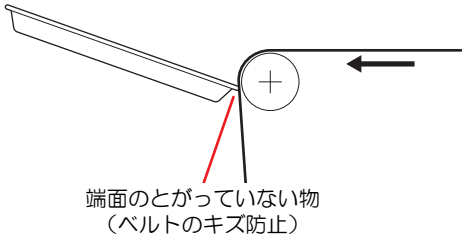
13 ウエスの後ろ側に灯油または軽油を垂らす。

- ベルト表面地張り剤に、灯油または軽油を十分にしみこませてください。



- 地張り剤を剥がす場合、灯油（軽油）を余計に垂らしすぎると、ドクタの端から漏れて搬送ベルトをつたって洗浄水受けに垂れることがあります。
- 灯油（軽油）が洗浄水と混ざると、ベルト洗浄をしながら作図する場合に、地張り剤の接着力を低下させる原因となります。
- 地張り剤を塗り替えてから急に接着力が落ちてしまった場合は、灯油（軽油）が洗浄水に混ざってしまった可能性があります。
- 地張り剤の剥離、塗布後は必ず洗浄トレイを確認し、洗浄水に灯油（軽油）が混ざっていないかを確認してください。
  混ざっていることがわかった場合は、メンテナンスメニューの「洗浄水交換→洗浄トレイ清掃」で、洗浄トレイと洗浄ブラシを清掃してください。☞「洗浄トレイとブラシの清掃」（P. 148） その後、洗浄水タンクの水を新しい水と交換してください。

14 板の端面を搬送ベルトの外周上に押し当て、灯油（軽油）でゲル状となった地張り剤をそぎ取る。



15 ベルト表面の灯油（軽油）をウエスでできるだけ拭き取る。

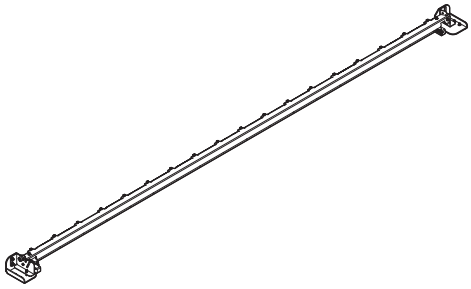
16 エタノールをしみこませたウエスで残った油脂分を拭き取り、ベルト表面をきれいにする。

17 **[END/POWER]** キー > **[ENTER]** キーを押し、搬送ベルトを止める。

18 ディスプレイに“地張り剤カウンターリセットしますか？”と表示されたら**[ENTER]** キーを押す。

- 地張り剤カウンターがリセットされます。

19 ドクタを外し、付着した地張り剤、ゴミ等を灯油（軽油）とウエスでクリーニングする。



地張り剤を塗る

地張り剤を塗る際には以下の物が必要です。

● 使用するもの

- ドクタ、手袋
- 幅3センチのビニールテープ
- 地張り剤（ポリックスレジンSX 1L）（別売）

- 弊社純正の地張り剤は、溶剤系の地張り剤です。
  必ず有機溶剤用保護マスク、保護メガネ、手袋を着用して、地張り剤の塗り替えを行ってください。
- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で地張り剤の塗り替えを行う場合は、必ず換気装置を設けてください。
- 地張り剤を使用する場合、有機溶剤中毒予防規則を遵守してください。
  また地張り剤の塗り替えを行う場合は、有機溶剤作業主任者技能講習を終了した方、または有機溶剤作業主任者が選任されている下で、作業を行ってください。
- 地張り剤の塗り替え作業時は火気厳禁とし、周囲にある装置（ヒーター等）の電源は、必ずOFFにしてください。また、換気を必ず行ってください。

- 市販の地張り剤を使用する場合は、その溶剤成分と本機のベルト材質との相性を必ず確認してください。使用する場合は、弊社代理店または各営業所にご相談ください。
- 本機正面右側にあるベルト補正ユニットの接触エリアとφ6穴近辺には、地張り剤が付着しないように注意してください。本機が正常に動作しなくなります。

- 搬送不良の原因になることがあるため、地張り剤の重ね塗りは極力避けてください。
- 地張り剤の交換周期の目安は2週間です。（使用状況、メディアの種類によって異なります。）

1 **ローカルで、 [FUNC1（MENU）] > ▼ > [ENTER] キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **▲▼押して“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。**

3 **▲▼押して“ベルト地張り剤”を選び、[ENTER] キーを押す。**

- ベルト地張り剤の設定画面が表示されます。

4 **▲▼押して“地張り剤を塗る”を選び、[ENTER] キーを押す。**

5 **ディスプレイに“メディアを外してください”と表示されたら、搬送ベルト上にメディアがないことを確認し、[ENTER] キーを押す。**

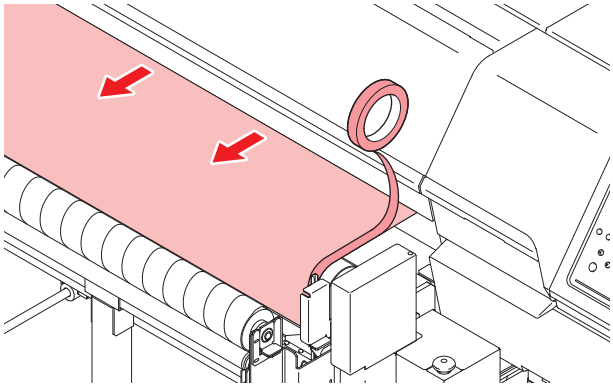
6 **ディスプレイに“加圧ローラーを上げてください”と表示されたら、本機背面の加圧ローラーを上げ、[ENTER] キーを押す。**

7 **搬送ベルトの端にビニールテープを貼る。**

- 搬送ベルトの左右両端の外周にテープを貼る必要があります。
- 必要に応じて、2名以上で作業したり、片方ずつ繰り返したりしてください。

8 **[ENTER] キーを2回押す。**

- 搬送ベルトが移動し、1周すると止まります。搬送ベルトを一時停止するときは、[FUNC2（PAUSE）] キーを押してください。
- フィード速度を変更する場合は、[FUNC1（SPEED UP）] / [FUNC3（SPEED DOWN）] を押して調整してください。



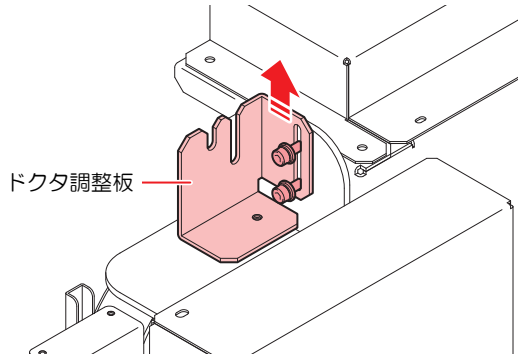
9 **[ENTER] キーを押す。**

- テープの貼り付けに失敗した場合は、[END/POWER]を選択してください。その後、手順8をもう一度実施してください。

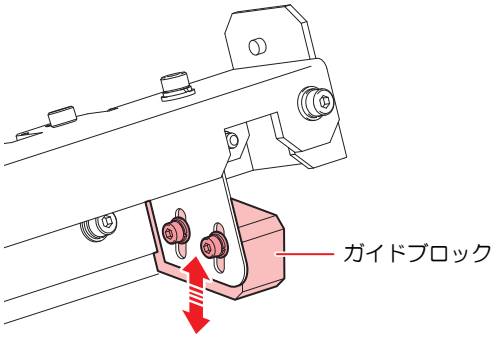
10 ディスプレイに“ドクタをセットしてください”と表示されたら、本機前面にドクタをセットする。

- ドクタとベルトの間に、すき間がないようにセットしてください。

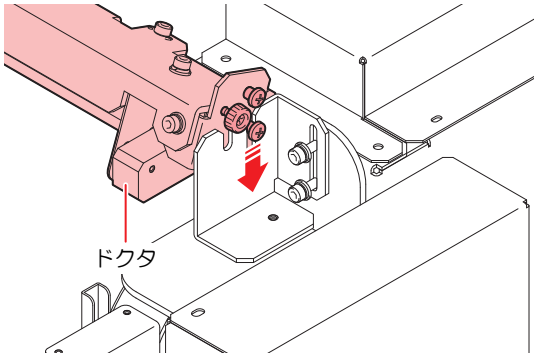
(1) ドクタ調整板（左右両側）を緩め、上端に移動させて仮止めします。



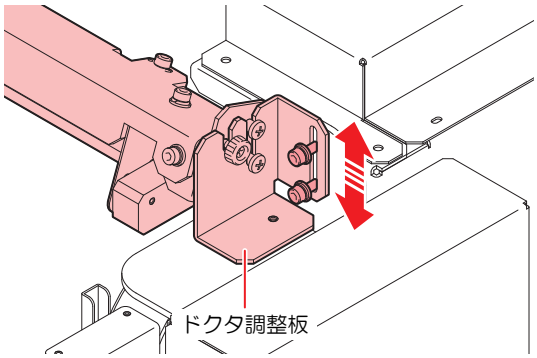
(2) ドクタのガイドブロック（左右両側）を自重で上下する程度に緩めます。



(3) ドクタを取り付け、ネジで固定します。



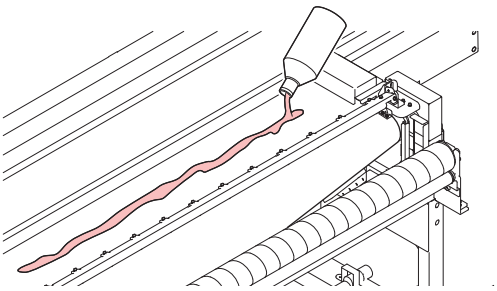
(4) ドクタ調整板の高さを、ドクタブレードが搬送ベルトにつき当たるあたりに調整し、固定します。



11 ▲▼を押してフィード速度を設定し、**[ENTER]** キーを押す。

- 推奨値：15 m/s

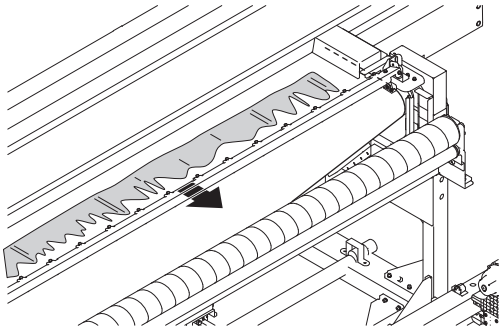
12 地張り剤150 ～ 200cc をドクタのすぐ後ろ側にほぼ均等に垂らす。



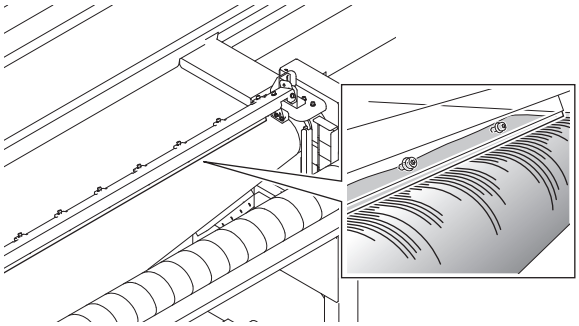
13 [ENTER] キーを押す。

- 搬送ベルトが移動します。

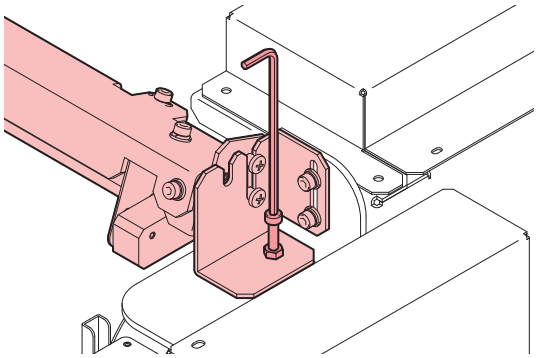
- 地張り剤の粘度が高い場合はベルト速度を速くしてください。
- フィード速度を変更する場合は、[FUNC1（SPEED UP）] / [FUNC3（SPEED DOWN）] を押して調整してください。
- 搬送ベルトを一時停止するときは、[FUNC2（PAUSE）] キーを押してください。移動を再開するときは [FUNC2（START）] キーを押してください。



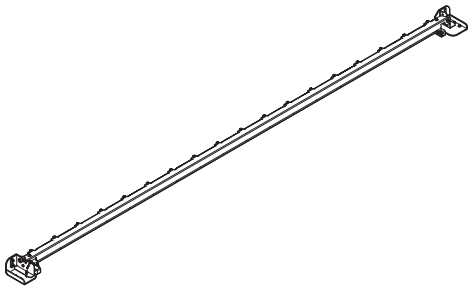
- ドクタに溜まった地張り剤が減った所には、地張り剤を補充してください。
- ベルト全面に地張り剤を塗布してください。
- 地張り剤は全て使い切ってください。



- 地張り剤が減らなくなってきたら、少しずつドクタの高さを上げて厚く塗ってください。
- 地張り剤に凹凸ができてしまうため、一度上げたドクタは下げないでください。

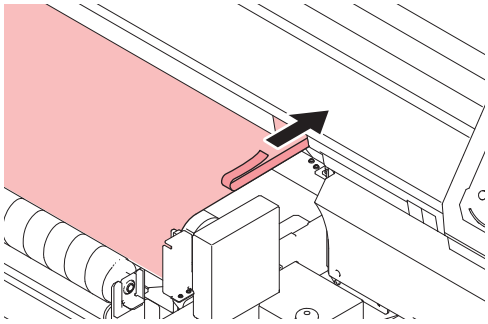


14 ドクタを外し、付着した地張り剤、ゴミ等を灯油（軽油）とウエスでクリーニングする。



15 搬送ベルトの外周に貼ったテープを剥がす。

- テープを剥がすときは、テープを本機後方に押すように剥がしてください。地張り剤がテープから剥離しやすくなります。



16 乾燥時間を設定する場合は、**[ENTER]** キーを押す。

- 乾燥時間を設定すると、設定時間経過後に自動で搬送ベルトが止まります。
- 地張り剤カウンターはリセットされます。

17 ▲▼を押して、乾燥時間（時）を設定し **[ENTER]** キーを押す。

18 ▲▼を押して、乾燥時間（分）を設定し **[ENTER]** キーを押す。

- 乾燥時間のカウントが始まります。
- 止めたい場合は、[END/POWER] キーを押してください。

19 搬送ベルトに塗った地張り剤が乾いたら、**[END/POWER]** キー > **[ENTER]** キーを押し、搬送ベルトを止める。

20 **ディスプレイに“地張り剤カウンターリセットしますか？”と表示されたら[ENTER] キーを押す。**

- 地張り剤カウンターがリセットされます。

- 地張り剤乾燥後、粘着が強すぎる場合は、水で濡らしたウエスでベルト表面を拭き、地張り剤を慣らしてください。そのまま使用すると、メディアが貼り付いて剥がれない可能性があります。

洗浄トレイとブラシの清掃

地張り剤の塗り替え作業で、洗浄水に灯油（軽油）が混入した場合は、中性洗剤で洗浄トレイと洗浄ブラシを清掃してください。清帰後は、洗浄トレイの水を新しい水と交換してください。

● 使用するもの

- 中性洗剤

- 清掃を行うときは、必ず付属の保護メガネと手袋を着用して作業を行ってください。

1 **ローカルで、 [FUNC1（MENU）] > ▼ > [ENTER] キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **▲▼押して“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。**

3 **▲▼押して“洗浄水交換”を選び、[ENTER] キーを押す。**

- 洗浄水交換の設定画面が表示されます。

4 **▲▼押して“洗浄トレイ清掃”を選び、[ENTER] キーを押す。**

5 **[ENTER] キーを押す。**

- 洗浄ユニットが本機の後方へ移動します。

6 **ディスプレイに“洗浄トレイ清掃　洗浄ブラシ回転開始”と表示されたら、洗浄トレイに中性洗剤を入れ、[ENTER] キーを押す。**

- 洗浄ブラシが回転し、中性洗剤を撹拌します。

- 洗浄ブラシが自動で回転します。手や衣服等が巻き込まれないよう注意してください。

7 **洗浄トレイとブラシを清掃する。**

- 洗浄ブラシを停止したい場合は、 [FUNC2（PAUSE）] キーを押してください。
- 洗浄ブラシの回転を再開したい場合は、[FUNC2（START）] キーを押してください。

- 洗浄トレイに水を流したい場合は、[ENTER] キーを押してください。給水バルブが開き、洗浄トレイに給水されます。
- 水を止めたい場合は、もう一度 [ENTER] キーを押してください。給水バルブが閉じます。

8 **清掃が終了したら[END/POWER] キーを押す。**

- 終了の確認画面が表示されます。

9 **[ENTER] キーを押す。**

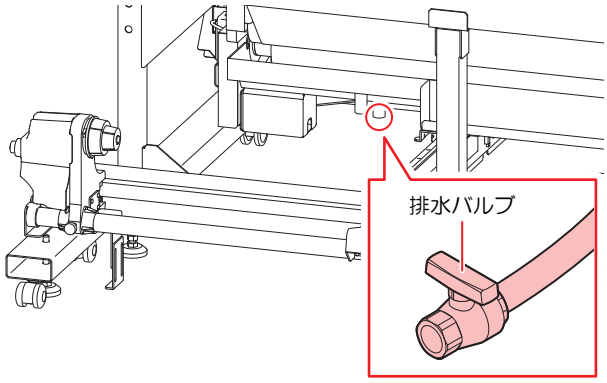
- “洗浄水を排水しますか？”と表示されます。

10 **[ENTER] キーを押し、“排水実行”を選択する。**

- 洗浄水の排水メニューに移行します。

- 中性洗剤を使用せず、洗浄水を排水する必要がない場合は、[END] キーを押し、洗浄トレイ清掃を終了してください。

11 **ディスプレイに“洗浄水を排水します　排水バルブを緩めてください”と表示されたら、排水バルブの下にバケツなどを置き、排水バルブを開ける。**



12 **[ENTER] キーを押す。**

- 排水が始まり、ディスプレイに“洗浄水排水中　しばらくお待ちください”と表示されます。

13 **ディスプレイに“排水完了 排水バルブを閉じてください”と表示されたら、排水バルブを閉じる。**

14 **[ENTER] キーを押す。**

- ディスプレイに“洗浄水を給水しますか？”と表示されます。

15 **[ENTER] キーを押す。**

- ディスプレイに“洗浄水を給水します 排水バルブを閉じてください”と表示されます。

16 **排水バルブを閉じ、[ENTER] キーを押す。**

17 **ディスプレイに“洗浄水を給水します”と表示されたら、[ENTER] キーを押す。**

- 給水が始まり、ディスプレイに“洗浄水給水中　しばらくお待ちください”と表示されます。

- 給水中の水量が多すぎたり、少なすぎたりする場合は、給水バルブのコックで水量を調整してください。

18 **ディスプレイに“給水完了”と表示されたら、[ENTER] キーを押す。**

19 **[ENTER] キーを押す。**

- ディスプレイに“洗浄ユニットを戻す　しばらくお待ちください”と表示されます。
- 洗浄ユニットが待機位置に戻ると、洗浄水交換の設定画面が表示されます。

搬送ベルトのクリーニング

搬送ベルトのクリーニングをします。

- 搬送ベルトをクリーニングする前に、必ずメディアを搬送ベルト上から外してください。

1 **ローカルで、 [FUNC1（MENU）] > ▼ > [ENTER] キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **▲▼押して“ベルトメンテナンス”を選び、[ENTER] キーを押す。**

3 **▲▼押して“ベルトクリーニング”を選び、[ENTER] キーを押す。**

- ベルトクリーニングの設定画面が表示される。

4 **ディスプレイに“メディアを外してください”と表示されたら、搬送ベルト上にメディアがないことを確認し、[ENTER] キーを押す。**

5 **ディスプレイに“加圧ローラーを上げてください”と表示されたら、本機背面の加圧ローラーを上げ、[ENTER] キーを押す。**

6 **▲▼を押して洗浄回数を設定し、[ENTER] キーを2回押す。**

- 設定値：1～99回
- ベルトの洗浄が開始され、ベルト1周するごとに洗浄回数の表示が更新されます。

- 洗浄を中止する場合は、[END/POWER] キーを押し、[ENTER] キーを押してください。

7 **ディスプレイに“終了”と表示されたら、[ENTER] キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

引き剥がしセンサーのクリーニング

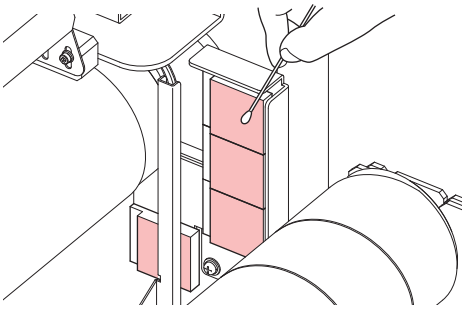
汚れによる引き剥がしセンサーの誤動作を防止するため、定期的（1週間に1回程度）に引き剥がしセンサーのクリーニングを行ってください。

- 引き剥がしセンサーは、プリント時に発生するインクミストや、メディアを乾燥するときに発生する蒸気などの影響で汚れます。

また、以下の症状が発生した場合にも、クリーニングを行ってください。

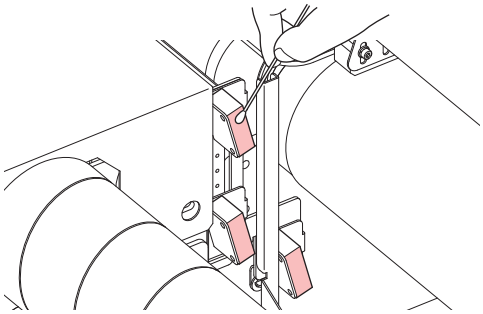
- メディアが引き剥がれずにアラームが鳴る。
- メディアがベルトに巻き込まれていないのにアラームが鳴る。

1 綿棒にメンテナンス液をしみこませ、反射板を拭く。



2 手順1で拭いた反射板を、乾いた綿棒で拭き取る。

3 メンテナンス液のしみこんだ綿棒で、引き剥がしセンサーの発光面（3つ）を拭く。



4 手順3で拭いたレンズを、乾いた綿棒で拭き取る。

カウンターのリセット

地張り剤、吸水ローラーのカウンターを初期化します。

1 ローカルで、 **[FUNC1（MENU）] > ▼ > [ENTER]** キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 ▲▼押して“ベルトメンテナンス”を選び、**[ENTER]** キーを押す。

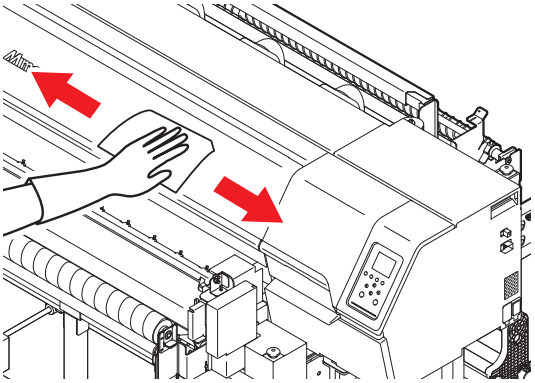
3 ▲▼押して“カウンターリセット”を選び、**[ENTER]** キーを押す。

- カウンターリセットの設定画面が表示されます。

4 ▲▼押して“地張り剤”または“吸水ローラー”を選び、**[ENTER]** キーを押す。

- カウンターがリセットされ、メンテナンスメニューが表示されます。

カバー（外装）の清掃



- 本機の内部に液体が入らないように注意してください。本機の故障や感電、もしくは火災につながるおそれがあります。

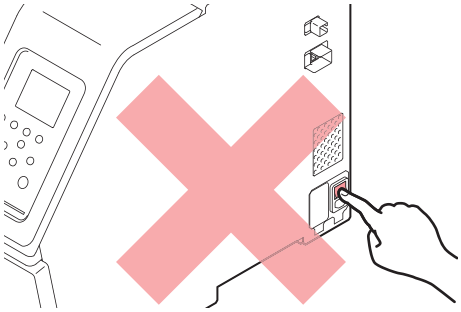
- 汚れが目立つときは、柔らかい布に水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞ってからふき取ってください。

長期間使用しないときは

1週間以上使用しないときは、以下の内容にしたがって清掃してください。

事前に確認してください
[ニアエンド]、[インクエンド] は表示していませんか？ • 洗浄動作の際に、メンテナンス液やインクを吸引します。このとき、エラーが発生していると洗浄ができません。新しいインクに交換してください。

- 主電源を切らないでください。主電源を切っていると、オートメンテナンス機能（ノズル詰まり防止機能やインク排出経路の清掃機能など）が実行することができません。吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）の原因になります。



- ベルト上にメディアをセットしたまま放置しないでください。メディアが波打つ原因になります。

- ディスプレイに”廃インクタンク確認”が表示されたら、本機の右に設置した廃インクタンクのインクを捨ててください。
☞「廃インクタンクの交換」（P. 165）

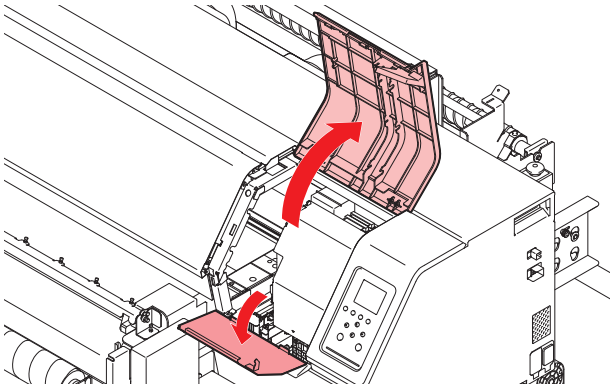
1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [保管洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジが搬送ベルト上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



4 キャップゴムを清掃する。

- ☞「キャップゴムの清掃」（P. 120）

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

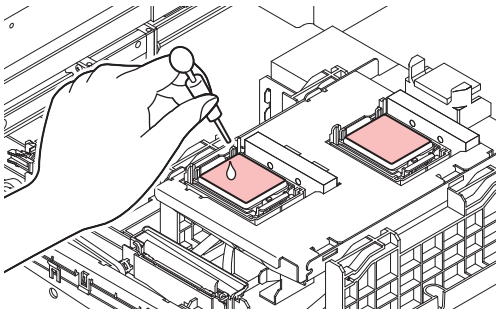
- キャップにメンテナンス液が満たされます。

- カバーを閉じてください。カバーが開いたままでは、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

6 右側のメンテナンスカバーを開く。

- キャップいっぱいにメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。

- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



7 メンテナンスカバーを閉じる。

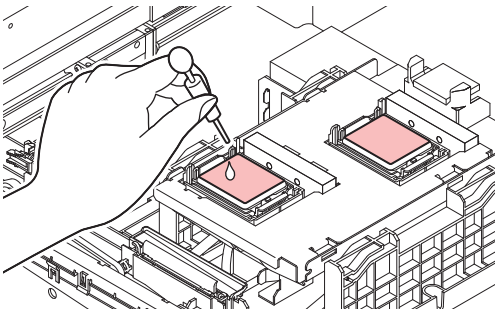
8 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。
- キャップにメンテナンス液が満たされます。

9 右側のメンテナンスカバーを開く。

- キャップの半分程度メンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。

- メンテナンス液が確認できない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップの半分程度までメンテナンス液を満たしてください。



10 **メンテナンスカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。**

- ポンプチューブ（キャップ下のインク排出経路）の洗浄を開始します。

4.3 消耗品の交換

消耗品は、販売店、またはお近くの弊社営業所にてお買い求めください。消耗品は、弊社ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html）にてご覧になれます。

- 消耗品を子供が立ち入るおそれのある場所に保管しないでください。

- 消耗品を廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

消耗品を交換するタイミング

タイミング	項目
汚れていたら	☞「ステーション周辺の吸収材の交換」（P. 161） ☞「ワイパーの交換」（P. 156） ☞「吹き付けファンフィルターの交換」（P. 163）
吐出不良が直らないとき	☞「キャップの交換」（P. 159） ☞「ワイパーの交換」（P. 156）
破損があるとき	☞「ワイパーの交換」（P. 156） ☞「キャップの交換」（P. 159）
インクを交換するとき	☞「インク供給ユニットのインク吸収材の交換」（P. 164）
ディスプレイに“ワイパーの交換”が表示されたら	☞「ワイパーの交換」（P. 156）
ディスプレイに“廃インクタンク確認”が表示されたら	☞「廃インクタンクの交換」（P. 165）
1年に1度	☞「ワイパークリーナーの交換」（P. 157）

ワイパーの交換

本機はワイピング回数をカウントしています。規定値になるとディスプレイに“ワイパー交換”が表示されます。ワイパーの汚れや反りが激しいときは、新しいワイパーに交換してください。

1 ディスプレイに“ワイパー交換”が表示される。

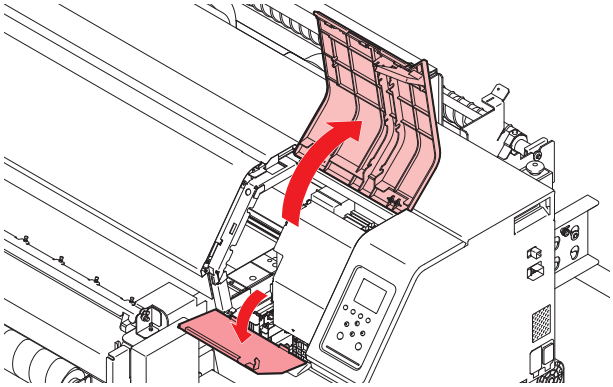
2 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

3 [ステーションメンテ] > [ワイパー交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。

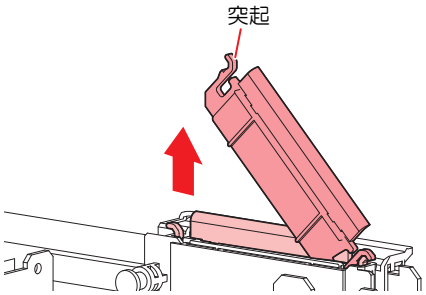
- キャリッジが搬送ベルト上に移動します。

4 右側のメンテナンスカバーを開く。



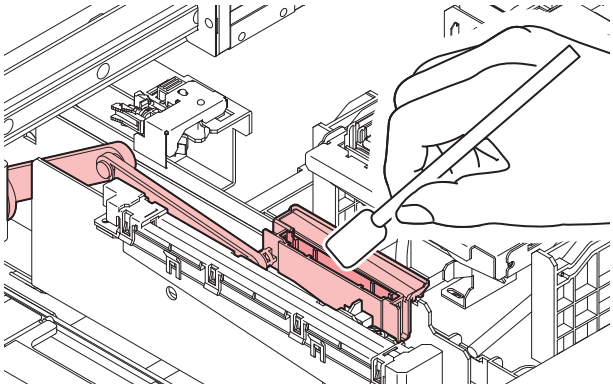
5 ワイパーを外す。

- ワイパーブラケット後方の突起を持って引き抜きます。

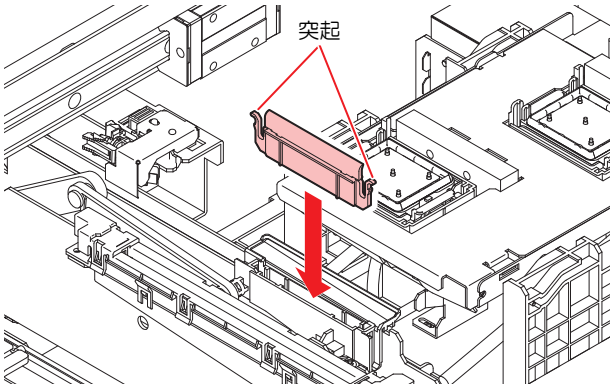


6 ワイパースライダーを清掃する。

- メンテナンス液を含ませたクリーンスティックで、付着したインクやホコリを拭き取ります。メンテナンス液が残らないように拭き取ってください。



7 新しいワイパーをセットする。



8 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

- ワイパーの使用回数が初期化されます。

ワイパークリーナーの交換

1年に一度、新しいワイパークリーナー（SPC-0243）に交換してください。

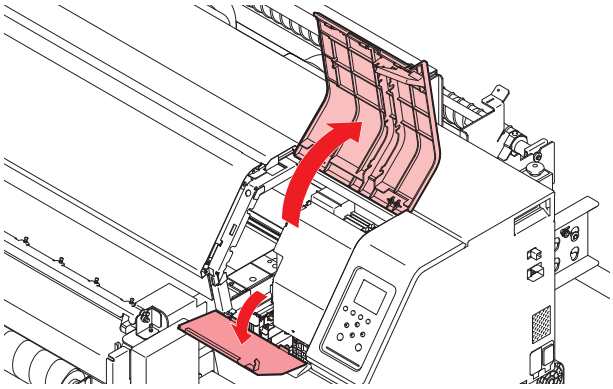
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

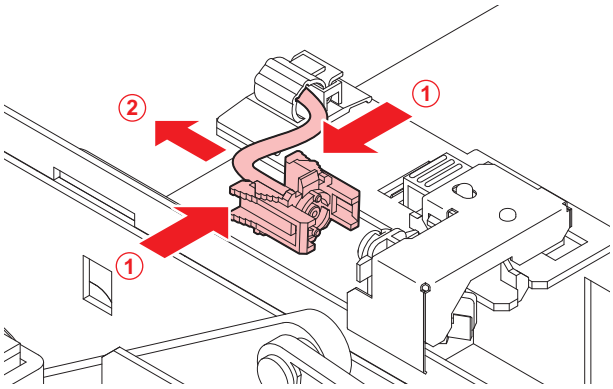
- キャリッジが搬送ベルト上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



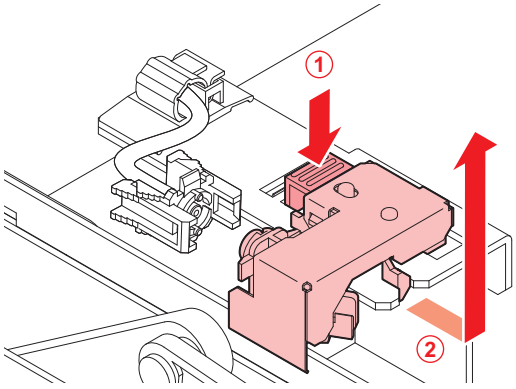
4 フィッティングを外す。

- フィッティングの突起を持って、引き抜きます。
- シールゴムの紛失に注意してください。



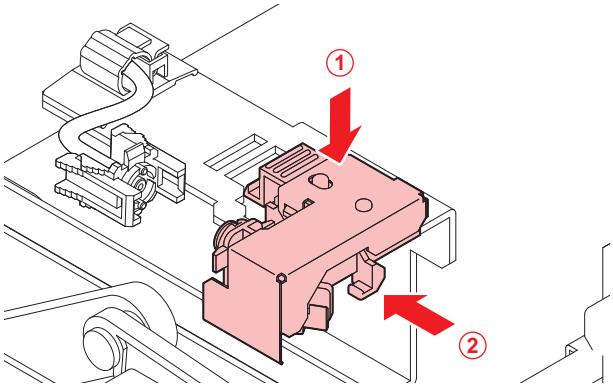
5 ワイパークリーナーを外す。

- 手前に引いて外します。



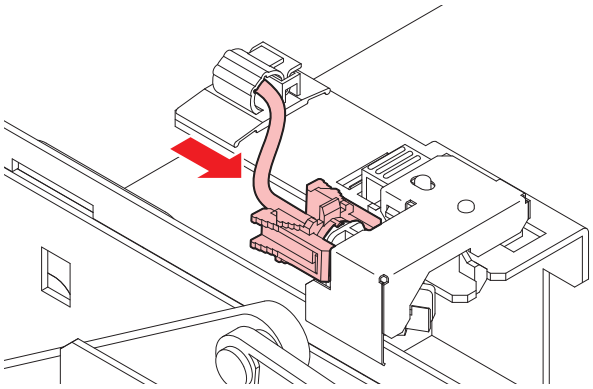
6 新しいワイパクリーナーをセットする。

- 奥にスライドさせて取り付けます。



7 フィッティングを付ける。

- 正しく装着していないと、メンテナンス液が漏れるおそれがあります。

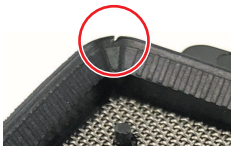


8 交換が終わったらカバーを閉じて、**[ENTER]**キーを押す。

キャップの交換

クリーニングしても吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らない場合は、新しいキャップに交換してください。

- キャップのフチに傷などの破損がみられる場合は必ず交換してください。



- Sbインク、TPインクをご使用の場合、長期間使用するとキャップ表面が乾燥し経路が詰まりやすくなります。その場合はキャップを交換するか外して丸洗いしてください。

- 6か月 ~ 12か月ごとにキャップの交換をお勧めします。
  （TPインク：6か月、その他インク：12か月を推奨）

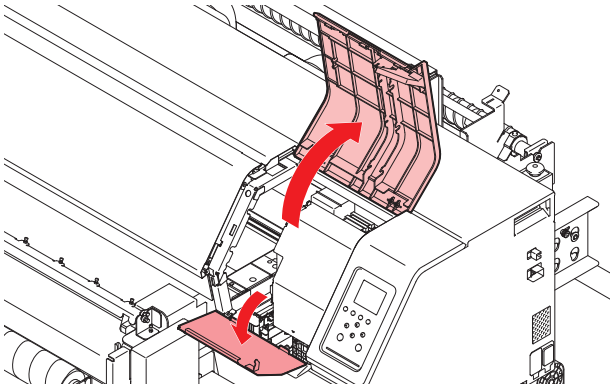
1 ローカルモード画面から**[MENU] > [**メンテナンス**]**を選択して、**[ENTER]**キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [キャップ交換]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

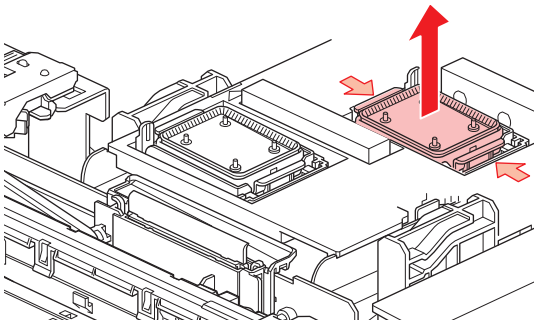
- キャリッジが搬送ベルト上に移動します。

3 **右側のメンテナンスカバーを開く。**

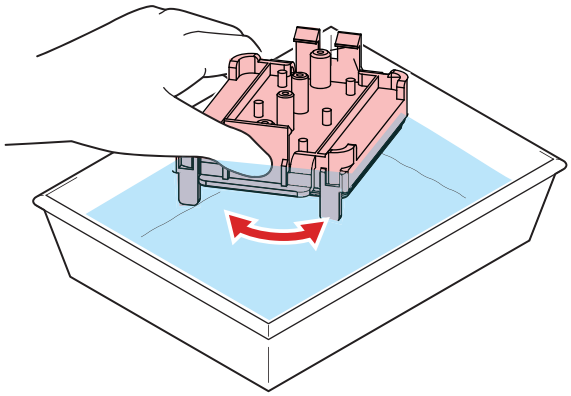


4 **キャップを外す。**

- キャップ両端の突起を押し込みながら、引き抜きます。



5 **【Sbインク、TPインクの場合】メンテナンス液を溜めた容器でキャップのメッシュの面を下にしてゆすいでください。取り出したら樹脂部分はしっかりと拭き取ってください。**

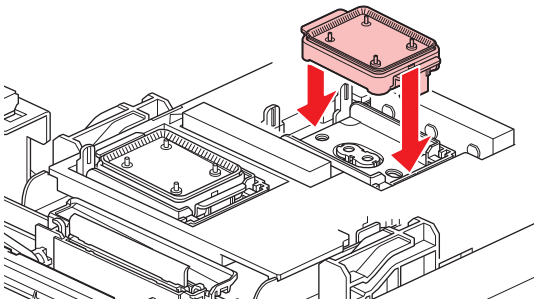


6 **メンテナンス液を塗布する。**

- スポイトにメンテナンス液をとって、手前の穴に1~2滴塗布してください。

7 新しいキャップ、または丸洗いしたキャップをセットする。

- 切り欠きを手前にして、カチッと音がするまではめ込みます。



8 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

ステーション周辺の吸収材の交換

キャップ吸収材やメンテナンス液吸収材の汚れが激しいときや、メディアにボタ落ちなどがみられる場合は、新しいキャップ吸収材に交換してください。

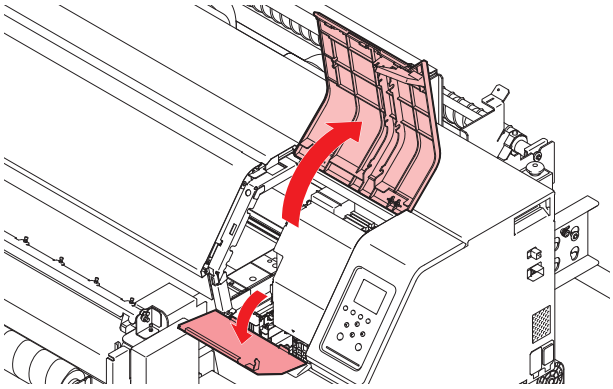
1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [ステーションメンテ] > [キャリッジアウト] > [プラテン右端まで移動]を選択して、[ENTER]キーを押す。

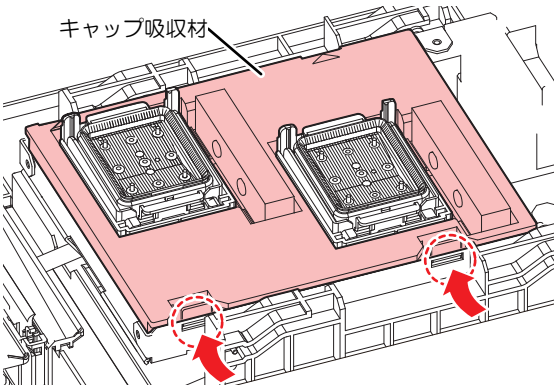
- キャリッジが搬送ベルト上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。



4 ネジ（x2）を外して、キャップカバーを外す。

- 奥に押して、手前のツメを外します。



5 キャップ吸収材を外す。

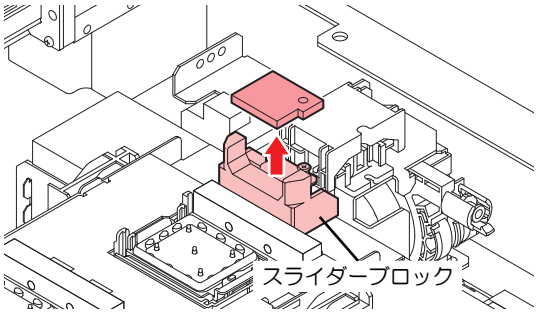
- キャップ吸収材を外したときに、インクが垂れないように注意してください。

6 新しいキャップ吸収材をセットする。

- キャップ吸収材のスリットにプレートのツメを挿し込んでください。

- キャップ吸収材が、外れないことを確認してください。

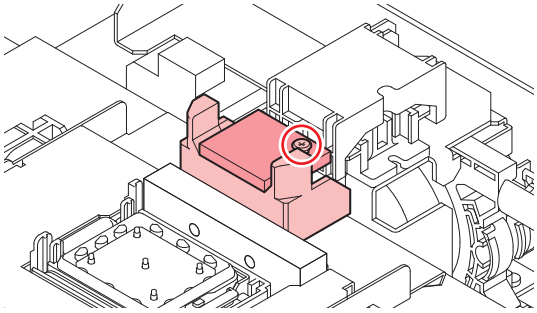
7 メンテナンス液吸収材を外す。



8 スライダーブロック周辺のメンテナンス液を拭き取る。

9 新しいメンテナンス液吸収材をセットする。

- 突起にしっかり挿し込んでください。



10 吸収材が浮いていたり、反っていたりしていないかどうかを確認する。

11 ネジ（x2）を付けて、キャップカバーを固定する。

12 交換が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

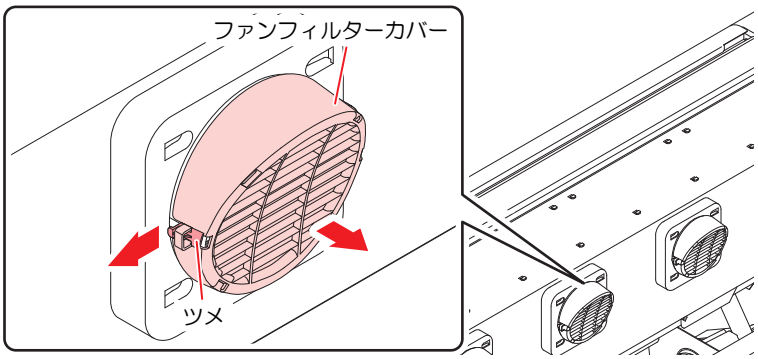
吹き付けファンフィルターの交換

吹き付けファンフィルターが汚れたときは交換してください。

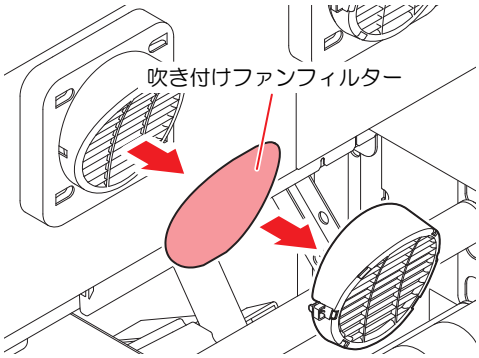
重要！ 昇華転写インクを使用されている場合
- 3か月に1度は、フィルターを交換してください。

- 主電源を切って電源ケーブルを抜いてから交換してください。

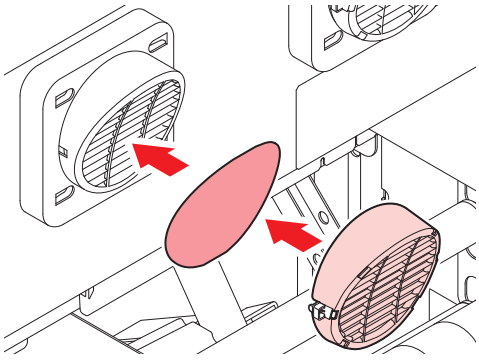
1 ファンフィルターカバーを外す。
- ファンフィルターカバーのツメを外側に押して、カバーを手前に引っぱります。



2 フィルターを外す。



3 新しいフィルターとファンフィルターカバーをセットする。
- ファンフィルターカバーは、ツメがカチッと音がするまではめ込みます。

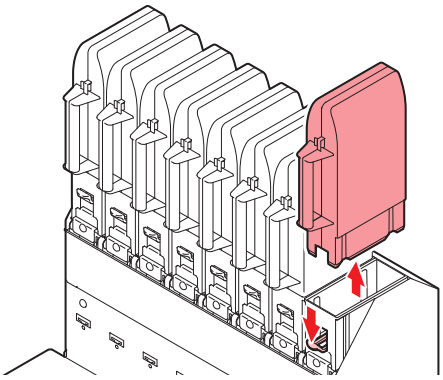


インク供給ユニットのインク吸収材の交換

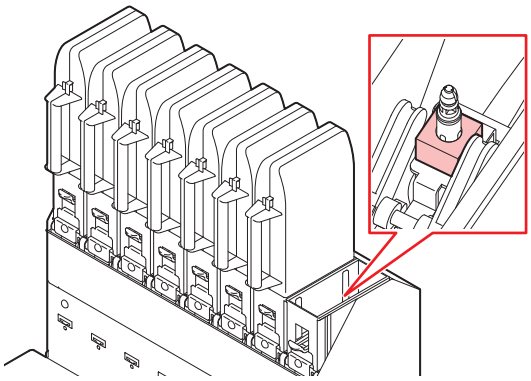
インク供給ユニットの台座の汚れを防止するために、インクパックを交換するたびにインク吸収材の交換をお勧めします。

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

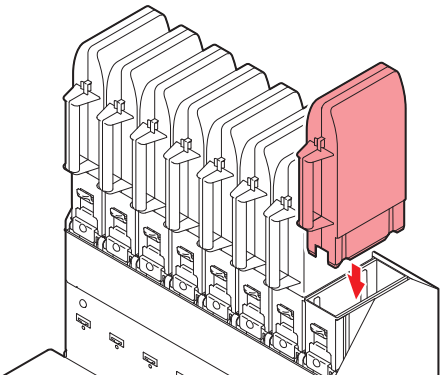
1 台座のレバーを押し下げて、インクエコケースを外す。



2 吸収材を外して、新しい吸収材をセットする。



3 台座にエコケースをセットする。



廃インクタンクの交換

プリントやヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本機左右にある廃インクタンクにたまります。

- 2Lタンクの容量が80%（1.6L）が規定値です。
- 廃インクを廃棄せずに使い続けると、廃インクタンクから廃インクがあふれ出るおそれがあります。 1週間に1回を目安に、廃インクタンクの液量を目視でご確認頂くことをお勧めいたします。

- インクやメンテナンス液、廃インク、そのほか本機で使用されている液体を取り扱うときは、換気に十分注意して、必ず保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。インクなどの液体が跳ねて、皮膚に付着したり、目や口の中に入ったりするおそれがあります。

メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら

1 ディスプレイに"廃インクタンク確認"が表示される。

```
廃インクタンク確認
Level: xx %
```

2 廃インクタンクの中の廃インク量を確認する。

- 実際の量と誤差がある場合は、次の手順に進んでください。
- 実際の量と誤差がなく、廃インクタンクを交換（廃棄処分）する場合は、廃インクタンクを交換してください。☞「廃インクタンクを交換する(本機左下)」（P. 165）

3 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

- メンテナンスメニューが表示されます。

4 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

5 [廃インク量補正]を選択して、[ENTER]キーを押す。

6 ▲▼を押して、レベルを調整する。

7 調整が終わったら、[ENTER]キーを押す。

廃インクタンクを交換する(本機左下)

● 廃インクタンクの交換手順(本機右下)

1 ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。

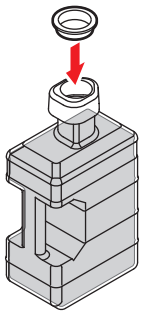
- メンテナンスメニューが表示されます。

2 [廃インクタンク]を選択して、[ENTER]キーを押す。

3 [廃インク量リセット]を選択して、[ENTER]キーを押す。

4 廃インクタンクの取っ手を持ち、スライドさせて外す。

5 取り外した廃インクタンクにキャップをはめて、テープなどを使用して廃インクが漏れないように処理する。



- インクやメンテナンス液、そのほか本機で使用されている液体、インクなどが付着した容器や不織布などを廃棄するときは、産業廃棄物処理業者、または関連法規、および地方自治体の条例に従って処理してください。

第 5 章　困ったときは

この章では...

故障かなと思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示されるメッセージの対処方法などについて説明しています。

故障かな?と思ったときは.....168
電源が入らない..... 168
プリントできない 168
メディア詰まり、メディアが汚れる..... 168
画質不良が発生した..... 169
インクが漏れた 170
メッセージを表示するトラブル 171
ワーニングメッセージ 171
インクエラー 173
エラーメッセージ 174
SYSTEM HALT 181

5.1 故障かな?と思ったときは

故障かなと思ったときは、本章を参照して対処してください。また、本機に関するよくあるご質問やサポート動画などは、弊社ウェブサイト（https://japan.mimaki.com/support/）にてご覧になれます。

対処しても正常に戻らない場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

電源が入らない

確認すること	対処方法
電源ケーブルが、本機に接続されていますか?	電源ソケットを根元（カチッと音が鳴る）まで挿し込んでください。
付属の電源ケーブルを使用していますか?	付属の電源ケーブルを使用してください。
主電源が入っていますか?	主電源を入れてください。☞「電源を入れる」（P. 34）
操作パネルにある、[END/POWER] キーがオンになっていますか?	電源を入れてください。☞「電源を入れる」（P. 34）

プリントできない

確認すること	対処方法
USBインターフェイスケーブルが、接続されていますか?	USB2.0ポートに、根元まで挿し込んでください。☞「USBケーブルを使う」（P. 38）
LANケーブルが、接続されていますか?	LANポートに、根元まで挿し込んでください。☞「LANケーブルを使う」（P. 37）
弊社指定のLANケーブルを使用していますか?	LANケーブルの種類を確認してください。☞「LANケーブルを使う」（P. 37）
操作パネルにあるステータスランプが、赤色に点滅/点灯していませんか?	エラーが発生しています。ディスプレイのメッセージを確認してください。☞「操作パネル」（P. 31）

メディア詰まり、メディアが汚れる

確認すること	対処方法
弊社が推奨しているメディアを使用していますか?	推奨メディアを使用してください。https://japan.mimaki.com/supply/inkjet.html
カールしてるメディアを使用していませんか?	カールのきついメディアや、先端が折れ曲がっているメディアは使わないでください。
メディアが斜行していませんか?	巻き取りユニットを使用してください。もしくはメディアを再セットしてください。☞「メディアをセットする」（P. 57）

画質不良が発生した

現象	対処方法
白スジ、カスレ、色の濃いスジが発生する （キャリッジスキャン方向）	1. 「ヘッドクリーニングをする」（P. 93）を実施してください。 2. 「フィード補正をする」（P. 94）を実施してください。 3. 「キャップゴムの清掃」（P. 120）を実施してください。 4. 「キャリッジ底面の清掃」（P. 121）を実施してください。 5. 「搬送ベルトのクリーニング」（P. 150）を実施してください。
文字がメディアフィード方向に2重、3重にズレが発生する	1. 「フィード補正をする」（P. 94）を実施してください。
往復プリントでズレが発生する	1. 「ドット位置補正をする」（P. 96）を実施してください。
プリント実行中にインク滴が落ちる	1. 「キャップゴムの清掃」（P. 120）を実施してください。 2. 「キャリッジ底面の清掃」（P. 121）を実施してください。 3. 「ヘッドクリーニングをする」（P. 93）を実施してください。 4. オートメンテナンスを設定してください。「メンテナンスメニュー」（P. 107）
ノズル詰まりした	1. 「ヘッドクリーニングをする」（P. 93）を実施してください。 2. 「プリントヘッドのノズル洗浄」（P. 169）を実施してください。 3. 「ノズルリカバリーを登録する」（P. 110）を実施してください。
プリントヘッドの高さを上げ過ぎていませんか?	プリントヘッドの高さを調整してください。「プリントヘッドの高さを調整する」（P. 53）プリントヘッドの高さを下げられない場合は、プリント中メンテ（「メンテナンスメニュー」（P. 107））のリフレッシュを上げて標準や強にし、定期的にテストプリントをして、ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。
あまり使っていないインクカラーはありませんか?	使用頻度が低いノズルは吐出が安定しない傾向があります。プリント中メンテ（「メンテナンスメニュー」（P. 107））のリフレッシュを上げて標準や強にすると、ノズルの使用頻度を上げることができますが、インク消費量が増えてしまいますのでご注意ください。
帯電しやすいメディアを使っていませんか?	プリント中メンテ（「メンテナンスメニュー」（P. 107））のリフレッシュを上げて標準や強にし、定期的にテストプリントをして、ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。
本機を湿度の低い場所に設置していませんか?	加湿器などを設置して、湿度を上げてください。また連続してプリントする場合は、プリント中メンテ（「メンテナンスメニュー」（P. 107））のリフレッシュを上げて標準や強にし、定期的にテストプリントをして、ノズル詰まりがないかどうかを確認してください。
本機をホコリや粉じんのある場所に設置していませんか?	本機をホコリや粉じんがない場所（オフィス相当：粉塵レベル 0.15mg/m^3）に設置してください。

プリントヘッドのノズル洗浄

ヘッドクリーニング（「ヘッドクリーニングをする」（P. 93））を実行しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、 プリントヘッドのノズル洗浄をしてください。

1 **ローカルモード画面から[MENU] > [メンテナンス]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- メンテナンスメニューが表示されます。

2 **[ステーションメンテ] > [ノズル洗浄]を選択して、[ENTER]キーを押す。**

- キャリッジが搬送ベルト上に移動します。

3 右側のメンテナンスカバーを開く。

4 キャップゴムを清掃する。

- ☞「キャップゴムの清掃」（P. 120）

5 清掃が終わったらカバーを閉じて、[ENTER]キーを押す。

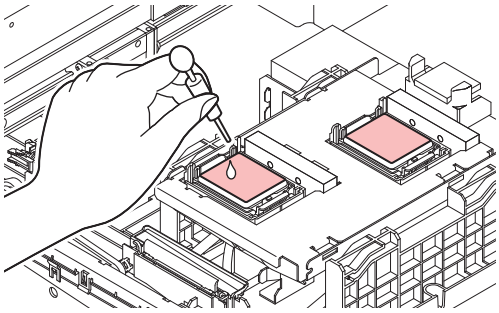
- キャップにメンテナンス液が満たされます。

- カバーを閉じてください。カバーが開いたままでは、メンテナンス液を満たすことができません。また、メンテナンス液カートリッジの残量がない場合は、メンテナンス液を満たすことができません。

6 右側のメンテナンスカバーを開く。

- キャップいっぱいにメンテナンス液が満たされているかどうかを確認する。

- メンテナンス液が満たされていない場合は、スポイトにメンテナンス液をとって、キャップからあふれる寸前までメンテナンス液を満たしてください。



7 メンテナンスカバーを閉じる。

8 放置時間を設定して、[ENTER]キーを押す。

- プリントノズルの洗浄が終了すると、自動的にクリーニングを実行します。

- ノズル洗浄を何回か繰り返しても、吐出不良（ノズル詰まり、飛行曲がりなど）が直らないときは、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

インクが漏れた

- インクが漏れてしまったときは、すぐに主電源を切って電源ケーブルを抜いてください。そのあと、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

5.2 メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージが表示されます。

ローカルガイダンスでも確認することができます。☞「本機の情報を表示する（ローカルガイダンス）」（P. 33）

メッセージの内容に応じて、対処してください。記載されている処置をしても、再度メッセージが表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

ワーニングメッセージ

メッセージ	原因	対処方法
NCU インク吸収材交換	• インク吸収材の交換時期になった。	• NCUのインク吸収材交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU交換	• ノズル詰まり判定に異常を検出した。	• NCUを清掃してください。☞「NCUの清掃」（P. 124） • エラーが解消されない場合、NCUの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
NCU センサー感度低下	• センサー感度が低下している。	
NCU 感度調整エラー H	• センサー感度調整に失敗した。	
NCU 感度調整エラー L		
NCU接続異常	• NCUの接続に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。
インクエラーあり	• インクエラーが発生している。	• インクエラーの内容を確認してください。☞「インクエラー」（P. 173）
カバーオープン	• カバーが開いている。 • 緊急停止スイッチが押されている	• カバーを閉じてください。 • 緊急停止スイッチを解除してください。☞「非常停止スイッチについて」（P. 19）
プリントデータあり	• プリント（RIP）データを受信している。	• リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント一時中断	• プリントを一時停止している。	• リモートモードに移行して、プリントを再開します。もしくはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
プリント不可/インクIC	• 使用できないインクICチップが使われている。	• 新しいインクとインクICチップに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 43）
キャップ交換	• キャップの使用カウントが規定量を超えた。	• キャップを交換してください。☞「キャップの交換」（P. 159）
ワイパー交換	• ワイパー使用カウントが規定量を超えた。	• ワイパーを交換してください。☞「ワイパーの交換」（P. 156）
メディア未検出	• メディア幅を検出していない。	• メディア幅を検出してください。☞「メディアをセットする」（P. 57）
ワイパー動作不良	• ワイパーが正常に動作しない。	1. ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。☞「ワイパーの清掃」（P. 122） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）

メッセージ	原因	対処方法
廃インクタンク交換	• 廃インクタンクのカウントが規定量（90%）を超えて、オートメンテナンス機能が実行できない。	1. 廃インクタンクの排液量を確認してください。☞「メッセージ“廃インクタンク確認”が表示されたら」（P. 165） 2. 廃インクタンクを交換して、廃液量を初期化してください。☞「廃インクタンクを交換する(本機左下)」（P. 165）
廃インクタンク確認	• 廃インクタンクのカウントが規定量（80%）を超えた。	
洗浄液カートリッジなし	• メンテナンス液カートリッジがセットされていない。	• メンテナンス液カートリッジをセットしてください。
洗浄液カートリッジを交換してください	• メンテナンス液がなくなった。	• 新しいメンテナンス液カートリッジに交換してください。
洗浄液エンド		
環境温度が高い **゜C	• 室内の温度が高い。	• 仕様の範囲内に室温を調節してください。範囲外の場合は、良好なプリント結果を得られないおそれがあります。☞「設置上のご注意」（P. 16）
環境温度が低い **゜C	• 室内の温度が低い。	
自動補正に失敗しました	• 白いメディアを使っていない。 • メディアが汚れている。 • メディアが浮いている。 • センサー周辺が汚れている。	• 白くて汚れのないメディアを使用してください。 • メディアが浮かないようにセットしてください。 • センサー周辺を清掃してください。☞「DAS（自動補正機能）センサーの清掃」（P. 125） • 失敗を繰り返す場合は、手動で補正してください。☞「フィード補正をする」（P. 94）☞「ドット位置補正をする」（P. 96）
繰出 リミットケンシュツ	• 繰り出しテンションバー位置の上限を検出している。	• 繰り出しテンションバーを下げてください。
繰出 動作異常	• 繰り出しテンションバーが下限位置から動いていない。	• ▼を押してメディアをフィードすることで、繰り出しユニットが正常に動作することを確認してください。
モーター直結ユニットを確認してください	• テンションバーの設定に対して、モーター直結ユニット・トルクリミッタの取り付けが正しくない。	• テンションバーを使う場合はモーター直結ユニット、テンションバーを使わない場合はトルクリミッターを取り付けてください。
加圧ローラーを下げてください	• プリント開始時に加圧ローラーが上がっている。	• 加圧ローラーが下げられているか確認してください。加圧ローラーが下がっていても表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
加圧ローラーを上げてください	• 電源を切るときやベルトクリーニングの実行時に加圧ローラーが下がっている。	• 加圧ローラーが上げられているか確認してください。加圧ローラーが上がっていても表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
吸水ローラーを確認	• 吸水ローラーの給水量の確認時期に達した。	• 吸水ローラーのクリーニングを行ってください。

メッセージ	原因	対処方法
		• 吸水ローラーのカウンターをリセットしてください。☞「カウンターのリセット」（P. 151）
ベルト地張り剤 残り 200m	• 地張り剤の交換時期が近づいている	• 新しく地張り剤を塗りなおしてください。☞「地張り剤の塗り替え」（P. 138） • 地張り剤のカウンターをリセットしてください。☞「カウンターのリセット」（P. 151）
ベルト地張り剤 塗りなおし	• 地張り剤の交換時期に達した。	
引き剥がしエラーメディアユニット位置を確認してください	• 引き剥がしセンサーのエラーが発生した。	• メディアが巻き込まれている場合は、手動でディアを引き剥がしてください。 • 巻き取りモーターのスイッチで、引き剥がしたメディアを巻き取ってください。
洗浄水を給水してください	• プリント中に洗浄ユニット内の洗浄水が不足し、プリントを停止した	• 洗浄ユニットに水を給水してください。☞「洗浄水の交換」（P. 132）
洗浄ユニットの水を交換してください	• 前回の洗浄水交換実施から、1 週間が経過した。	• 洗浄ユニットの洗浄水を、排出/給水してください。☞「洗浄水の交換」（P. 132） ベルト洗浄機能低下の原因となるため、洗浄ユニット内の洗浄水は定期的な入れ替えを推奨しています。

インクエラー

メッセージ	原因	対処方法
インクエンド	• インクがなくなった。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 42） • UISSの場合、クリーニングをすることができます。
インク ニアエンド	• インク残量が、残りわずかになっている。	• 間もなくインクがなくなります。新しいインクを用意してください。☞「インクニアエンドが表示されたとき」（P. 42）
インクIC無し	• インクICチップがない。	1. インクICチップをセットしてください。☞「インクを交換する」（P. 43） 2. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクをセットする」（P. 46） 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
インクIC異常	• インクICチップの情報にエラーが発生した。	1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクをセットする」（P. 46） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35） 3. 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 43）

メッセージ	原因	対処方法
インク カラー	• 充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。	• 正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。☞「インクをセットする」（P. 46）
インク種類	• 充填されているインクタイプとインクICチップに登録されているタイプが異なる。	• 正しいインクタイプのインクICチップをセットしてください。☞「インクをセットする」（P. 46）
インク期限注意	• インクが期限切れになった。 • インクが期限切れから、1か月経過した。	• 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 42）
インク期限オーバー	• インクが期限切れから、2か月経過した。	• 新しいインクに交換してください。プリントすることができません。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 42）

エラーメッセージ

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
04	PARAM ROM	• メイン基板に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
108	HD CONNECT[12]	• プリントヘッドの接続に異常を検出した。	
108	HD MEM EMP[12]	• プリントヘッドに異常を検出した。	
10e	FROM CLEAR	• メイン基板に異常を検出した。	
10f	FROM WRITE		
115	PCB MAIN-F1		
122	CHECK：SDRAM	• SDRAMに異常を検出した。	
122	PRAM NONE		
123	PRAM DATA	• メイン基板に異常を検出した。	
124	PRAM ADDR		
127	POWER OFF		
128	HDC FIFO OVER / HDC FIFO UNDER	• プリントヘッド制御基板に異常を検出した。	
129	バッテリ交換	• 内蔵時計の電池切れを検出した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
12a	HDC SPEED	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
12d	PCB MAIN-F4	• メイン基板に異常を検出した。	
130	HD DATA SEQ	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
147	DS-IC BUSY	• インクIC制御に異常検出した。	
148	E-LOG SEQ	• ログの制御に異常を検出した。	
151	Main PCB V1R2	• メイン基板の電源系統に異常を検出した。	
152	Main PCB V2R5		
153	Main PCB V3R3		
154	Main PCB V05		
155	Main PCB V42-1		
15f	HEAD DRIVE HOT	• HDCE基板のCOMドライバが高温になっている。	
171	NEW HEAD CONNECT	• 新しいプリントヘッドの接続を認識した。	
186	HDC OVERFLOW / HDC UNDERFLOW	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	
187	HDC SLEW RATE		
188	HDC MEMORY		
18c	Main PCB V12	• メイン基板の電源系統に異常を検出した。	
18e	FLS NOT COMP	• プリントヘッド制御に異常を検出した。	
18f	OFFSET START / END [12]		
1b5	SLIDER CONNECT	• HDCE基板が認識できない。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
1bf	PCB MAIN-F2	• メイン基板に異常を検出した。	
1d8	HEAD XHOT[12]	• プリントヘッドに異常を検出した。	
1e6	PRAMサイズ不足	• メモリーサイズが不足している。	
201	コマンドエラー	• プリント（RIP）データ以外のデータを受信した。もしくは受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	1. データクリアを実行して、再度データを送信してください。 2. USB/Etherケーブルの接続を確認してください。☞「本機とコンピューターを接続する」（P. 37） 3. 規格に適合したケーブルを使用してください。☞「本機とコンピューターを接続する」（P. 37） 4. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
202	パラメーターエラー	• 受信したプリント（RIP）データに異常を検出した。	
206	プリントモードエラー	• プリントできないプリント条件のプリント（RIP）データを受信した。	• RIP用ソフトウェアで、出力条件やプロファイルを変更してください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
20A	ドライバーバージョン	• Mimakiドライバーのバージョンが古いため、プリントすることができない。	• 最新のMimakiドライバーを入手して、インストールしてください。 https://japan.mimaki.com/download/inkjet.html
303	PCB MAIN ET	• メイン基板に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
304	USB INIT ERR	• USBケーブルの接続に異常を検出した。	1. USBケーブルの接続を確認してください。☞「USBケーブルを使う」（P. 38） 2. 規格に適合したケーブルを使用してください。☞「USBケーブルを使う」（P. 38） 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
305	USB TIME OUT		
318	SDカード接続異常	• SDカードに異常を検出した。	1. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
401	モーターアラーム X	• Xモーターに過大な負荷がかかった。	1. メディアが正しくセットされているかどうかを確認してください。☞「メディアをセットする」（P. 57） 2. 正面カバーを開けて、キャリッジ動作に障害があるものがないかどうかを確認してください。 3. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
402	モーターアラーム Y	• Yモーターに過大な負荷がかかった。	
403	X オーバー カレント	• Xモーターの過電流エラーを検出した。	
404	Y オーバー カレント	• Yモーターの過電流エラーを検出した。	
406	ワイパー動作不良	• ワイパー原点が、検出できなかった。	1. ワイパーとワイパー周辺を清掃してください。☞「ワイパーの清掃」（P. 122） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
424	繰出テンションバー	• 繰り出テンションバー位置の初期化に失敗した。	1. 繰り出しテンションバーを下げてください。 2. 繰り出しユニットの回転方向スイッチの向きを確認してください。☞「繰り出しユニット」（P. 62） 3. メディアのセット状態を確認してください。
426	繰出 動作異常	• 繰り出しテンションバーが下限位置から動いていない。	1. 繰り出しユニットの回転方向スイッチの向きを確認してください。 2. メディアのセット状態を確認してください。
42a	繰出 リミットケンシュツ	• 繰り出しテンションバー位置の上限を検出している。	1. 繰り出しテンションバーを下げてください。 2. 繰り出しユニットの回転方向スイッチの向きを確認してください。☞「繰り出しユニット」（P. 62） 3. メディアのセット状態を確認してください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
44f	巻取ロールセンサ異常	• 巻き取りユニットのセンサー軸に異常を検出した。	1. [機能設定] >[搬送ユニット使用選択]>[巻取ユニット] が、[ON]に設定されているかどうかを確認してください。☞「機能設定メニュー」（P. 112） 2. メディアのセット状態を確認してください。☞「ロールメディアをセットする」（P. 68） 3. 巻き取りユニットのスイッチで動作するかどうかを確認してください。☞「巻き取りユニット」（P. 58）
450	繰出ロールセンサ異常	• 繰り出しユニットのセンサー軸に異常を検出した。	1. [機能設定] >[搬送ユニット使用選択]>[繰出ユニット] が、[ON]に設定されているかどうかを確認してください。☞「機能設定メニュー」（P. 112） 2. メディアのセット状態を確認してください。☞「ロールメディアをセットする」（P. 68） 3. 繰り出しユニットのスイッチで動作するかどうかを確認してください。☞「繰り出しユニット」（P. 62）
46d	洗浄ユニット原点	• 洗浄ユニットの原点が検出できない。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35） • 再度表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
46f	引き剥がしセンサー	• 引き剥がしセンサー（たるみセンサー）の検出に失敗した。	1. 手動でメディアを巻き取り、引き剥がしセンサー上にメディアがない状態にしてください。 2. 巻き取りモーターの回転方向スイッチが正しいか確認してください。 • 再度表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
470	引き剥がし異常	• 引き剥がし動作中エラー（センサーON /OFF 連続検出）	1. メディアが左右均等に引き剥がせているか確認してください。 2. 巻き取りモーターの回転方向スイッチが正しいか確認してください。 3. 手動でメディアを引き剥がし、巻き取りスイッチで巻き取ってください。
471	メディア巻込み	• 引き剥がしセンサー EM（最下センサー）検出	1. メディアが洗浄ユニット付近まで巻き込まれていないか確認してください。 2. 巻き取りモーターの回転方向スイッチが正しいか確認してください。 3. 手動でメディアを引き剥がし、巻き取りスイッチで巻き取ってください。
472	ヘンイ センサー ゲンテン	• 補正ユニットの変位センサー部の原点が検出できない。	1. ベルト補正の設定が“ON” になっていることを確認してください。☞「メディア設定メニュー」（P. 104） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35） • 再度表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
473	グリップスベリ	• フィード時、補正ユニットのグリップ部の原点がオフしない、あるいは変位センサーが反応しない。	1. 搬送ベルトの右端に付着した地張り剤を清掃してください。 2. ベルト補正ユニットのグリップゴムに付着した地張り剤を清掃してください。☞「ベルト補正ユニットの清掃」（P. 129） 3. 手動でメディアを引き剥がし、巻き取りスイッチで巻き取ってください。 • 頻回に表示される場合は、販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
475	ベルト ホセイ エラー	• ベルト補正ユニットの変位センサーの値が正しくない。	
48b	Y MOTOR COM	• Yモーターの通信ができない。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
48c	Y MTR I2C COM	• 起動時にYモーターの通信ができない。	
496	Y MOTOR DIR	• Yモーターの動作方向を指定できない。	
505	メディアジャム	• メディアジャムセンサーが反応した。	1. 接触したメディアを取り除き、きれいなメディアをセットし直してください。☞「メディアをセットする」（P. 57） 2. 正面カバーを開けて、キャリッジの移動に障害のあるものがないかどうかを確認してください。
507	HEADHEIGHT ERR	• ヘッド高さ（Low~High）取得に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
509	HDC POSCNT	• 位置制御に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
50a	Y原点検出	• Y原点検出（初期化動作）に異常を検出した。	
50f	L-SCALE BLACK	• リニアスケールに異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
516	メディア位置 右（左）過ぎます	• メディアが範囲外にセットされている。	1. メディアのセット位置を確認してください。☞「メディアをセットする」（P. 57） 2. DASセンサーを清掃してください。☞「DAS（自動補正機能）センサーの清掃」（P. 125）
530	ステーション 原点 未設定	• ステーションの制御原点位置設定が行われていない。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
53e	洗浄水フル	• ベルト洗浄トレイ内の水が満杯になった。	1. 洗浄水の流入量を調整してください。 2. 洗浄水排出経路が詰まっていないか確認してください。
53f	洗浄水確認	• ベルト洗浄トレイ内の水が少ない。	• ベルト洗浄トレイ内に水を追加してください。
54d	HDCE冷却ファン異常	• HDCE冷却ファンが回転不良を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
602	インクエンド	• インクがなくなった。	• 新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 42）
608	インクIC異常	• インクICチップの情報にエラーが発生した。	1. インクICチップが正しく挿入されているかどうかを確認してください。☞「インクをセットする」（P. 46） 2. 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35） 3. 新しいインクに交換してください。☞「インクを交換する」（P. 43）
60a	インク使用量超過	• インクICに書き込まれた使用量が規定値を超過した。 • インク交換と一緒に、インクICチップの交換をしなかった。（同一チップを使用し続けた）	• 新しいインクに交換してください。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 42）
60c	インク種類	• 充填されているインク種類とインクICチップに登録されているインク種類が異なる。	• 正しいインク種類のインクICチップをセットしてください。☞「インクをセットする」（P. 46）
629	インク期限注意	• インクが期限切れになった。 • インクが期限切れから、1か月経過した。	• 新しいインクに交換する、もしくは早めに使い切ってください。プリントすることは可能です。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 42）
62a	インク期限オーバー	• インクが期限切れから2か月経過して、インクが使用できなくなった。	• 新しいインクに交換してください。プリントすることができません。☞「インクエンドが表示されたとき」（P. 42）
631	インクカラー	• 充填されているインクカラーとインクICチップに登録されているカラーが異なる。	• 正しいインクカラーのインクICチップをセットしてください。☞「インクをセットする」（P. 46）
637	INK LEAK _	• インク漏れセンサーがインク漏れを検知した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
801	（C）OPCODE	• メイン基板に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
802	（C）SWI		
803	（C）PFTCHABRT		
804	（C）DATAABRT		
806	FW/SIO bit	• 基板間通信エラーを検出した。	
808	FW/STP-MTR**	• メイン基板に異常を検出した。	
80f	FW/SIO Vch	• 基板間通信エラーを検出した。	
811	FW/SIO read ****		

エラー番号	メッセージ	原因	対処方法
81b	FW/STACK OV	• メイン基板に異常を検出した。	
828	PRG ERR L*****		
901	実行できません	• 何らかのエラーにより機能が実行できない。	• エラーの内容を確認してください。
902	未作図 データ アリ	• プリント（RIP）データを受信している。	• リモートモードに移行して、プリントしてください。またはデータクリアを実行して、プリントを中止します。
90f	プリント エリア不足	• プリント領域が不足している。	• メディア幅が広い、もしくはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 • 原点移動により、プリントできる領域が狭くなっている場合は、原点を移動してプリントできる領域を広げてください。
b1a	PCB BaseIO1	• 基板間通信エラーを検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
b1a	PCB BaseIO2		
b1b	BaseIO PCB Vpow-s	• Base IO基板の電源に異常を検出した。	
b1c	BaseIO PCB V24		
b1e	PCB BaseIO-F**	• BaseIO基板のヒューズ切れを検出した。	• ヒューズの交換が必要です。販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
b36	PCB INKIO	• 基板間通信エラーを検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
b3f	BaseIO Unconform	• 基板が認識できなかった。	
b48	PCB HDCE*	• 基板間通信エラーを検出した。	
b49	PCB HDCE-VHVFET[12]	• HDCE基板の電源に異常を検出した。	
b4a	PCB HDCE*-F*	• HDCE基板のヒューズ切れを検出した。	• 販売店、お近くの弊社営業所、またはコールセンターにお問い合わせください。
b4b	HDCE* PCB V1R2	• HDCE基板の電源に異常を検出した。	• 主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。☞「電源を切る」（P. 35）
b4c	HDCE* PCB V2R5		
b4d	HDCE* PCB V3R3		
b51	BaseIO PCB V24adj	• BaseIO基板の電源に異常を検出した。	
d1b	COM VOLT[12]	• HDCE基板の電圧に異常を検出した。	

SYSTEM HALT

- SYSTEM HALT番号が表示された場合は、主電源を切って、しばらくたってから電源を入れてください。

第 6 章　付録

この章では...

本機の仕様など説明しています。

仕様 184
オプション 186
リレーBOXについて 186

6.1 仕様

項目			Tx330-1800B
プリントヘッド	方式		オンデマンドピエゾヘッド
	仕様		ヘッド（400ノズルx 8列）を2つ搭載（スタガ配列）
	解像度	Y	300 dpi、600 dpi
		X	600 dpi、900 dpi、1,200 dpi、 1,800dpi
インク種類			Sb420, TP410
インクセット	Sb420		4-color ：M, Bl, Y, K 6-color ：C, M, Bl, Y, K, Lb, Lm
	TP410		4-color ：M, C, Y, K 8-color ：M, C, Y, K, R, G, Bl, Lk
	Hybrid		Sb420：M, Bl, Y, K / TP410：M, C, Y, K
メディア	種類		布
	最大プリント幅*1		1,890mm
	最大幅		1,900mm
	最小幅		210 mm
	厚さ		5.0 mm以下
	ロール外径*2		ø250 mm以下
	ロール重量*2, 3		40 kg以下（2～3インチ紙管） 34 kg以下（1～1.5インチ紙管)
	紙管内径		1～1.5インチ、2～3インチ
	プリント面		外面、内面
	巻き終り処理		紙管にテープ止め、または弱粘着
プリントマージン	左右		15 mm（デフォルト値）、最小値：5mm
距離精度*4	絶対精度		±0.3mm、または指定距離の±0.3 %の大きい方
	再現性		±0.2 mm、または指定距離の±0.1 %の大きい方
直角度			±5 mm / 1,000 mm
メディアスキュー			5 mm以下 / 10 m
プリントギャップ			手動5段階（3.0 ~ 7.0 mm）
原点位置合わせ			LEDポインター式
インク供給			インクエコケース（インクパック）
メンテナンス液供給			カートリッジ
廃インクタンク			ボトル式（2,000 ml）
巻き取りユニット			搭載
繰り出しユニット			搭載
メディアヒーター			-
NCU（ノズル詰まり検出）			搭載

項目		Tx330-1800B
DAS（自動補正機能）		搭載
インターフェイス	データ転送機能	**Ethernet 1000BASE-T（推奨）** *5 ,6、USB 2.0 Hi-speed *6,7
コマンド		MRL-V
言語		日本語、英語、中国語、トルコ語、ポルトガル語、スペイン語、イタリア語、韓国語
騒音	待機時	52 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）
	連続動作時	56 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）
	不連続動作時	65 dB以下（FAST-A、前後左右1 m）
適合規格		VCCI-classA、FCC-classA、IEC62368-1 準拠ETL、CE マーキング（EMC指令、低電圧指令、機械指令、RoHS指令）、CB 認証、REACH、EnergyStar、RCMマーク、KC認証、UKCAマーク
電源仕様 *8		単相AC100～120V / 200～240V±10% / 5A、50/60±1Hz
消費電力	最大 *9	300W以下
	標準	190 W
	最小 *10	4.5 W以下
設置環境 *11	使用可能温度	20 - 30 °C
	相対湿度	35 - 65 %Rh（結露なきこと）
	精度保証温度	20 - 25 °C
	温度勾配	±10 °C/h 以下
	粉塵	0.15 mg/m^3（オフィス相当）
	動作最高高度	2,000 m
外形寸法 *12	幅	3,230mm（3,430mm）
	奥行き	1,912 mm（1,140 mm）
	高さ	1,900 mm（2,200 mm）
重量*12		622 kg（848 kg）

*1. 設定メニューのマージンを左右を最小値（5mm）に設定したとき。
*2. メディア巻き取り後の外径および重量。
*3. 重量によるたわみがない範囲。
*4. メディアの伸縮やメディアセット初期蛇行は除く。
*5. ローカルガイダンスで、“1000Mbps”以外が表示されている場合、プリント不可。LANケーブルを使う
*6. 接続環境やプリントデータによって、プリント速度が低下するおそれあり。本機とコンピューターを接続する
*7. 本機へのデータ転送速度が遅く、プリント実行中にキャリッジが左右端で一時停止するおそれがあります。
*8. オプション類除く。
*9. プリントモードによって異なる。
*10. スリープ時。
*11. 範囲外の環境下では、インク吐出安定性が低下するおそれあり。
*12. （）内は、梱包サイズ。

6.2 オプション

名称	品番	参照先
小型リレーBOX	OPT-J0370	
リレーBOX2	OPT-J0407	
合紙ホルダユニットB	OPT-J0431	
OPT-DsubBKT	OPT-01012	
乾燥FAN接続キット	OPT-J0512	

リレーBOXについて

- 他社製品の外付け乾燥ヒーターを使用すると、火災につながるおそれがあります。必ずオプション設定されている小型リレー BOX、もしくはリレーBOX2を介して本機に接続するようにしてください。

重要!

- Tx330-1800Bは、リレーBOX（OPT-J0370 / OPT-J0407）のいずれか1つだけ接続することができます。

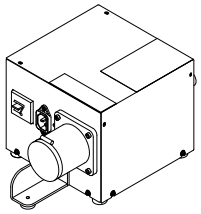
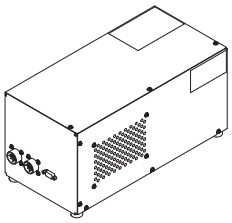
- リレー BOXを使用するには、オプションの接続中継ケーブル（OPT-J0512 乾燥FAN接続キット）と、取り付け用の板金(OPT-01012 OPT-DsubBKT)が必要です。

● 概要

リレーBOX は、本機の動作と連動して、ヒーター電源（ON/OFF）を自動で切り替えます。

- プリントが停止するとヒーター電源を切って、無動作状態時の加熱を防ぎます。
- リレーBOX は、外付け乾燥ヒーターの温度制御の機能は付いていません。外付け乾燥ヒーター側で、温度を設定してください。

● 仕様

小型リレーBOX（OPT-J0370） 	電源仕様	単相AC100-120V/12A、単相 AC200-240V/8A、50/60 Hz、1 系統 コンセント給電
	タイプ	抵抗発熱体、もしくはランプを使用した電気ヒーター
リレーBOX2（OPT-J0407） 	電源仕様	単相AC100-240V / 30A、50/60 Hz、1 系統 配電盤給電
	タイプ	抵抗発熱体、もしくはランプを使用した電気ヒーター

索引

D

DAS（Dot Adjustment System） 104, 119, 125

E

[END/POWER]キー 30, 31, 35
[ENTER]キー 31

F

[FUNCTION]キー 31, 33

J

[JOG]キー 31

L

LANGUAGE 114
LANケーブル 26, 37
LANポート 26

M

MAPS（Mimaki Advanced Pass System） 104
Mimakiドライバー 40
MRA（Mimaki Remote Access） 114

N

NCU（Nozzle Check Unit） 124

P

PINコード 115

R

RasterLink 40, 41, 98, 99, 112, 113

S

[SEL]キー 31
SYSTEM HALT 32

U

USBインターフェイスケーブル 26, 38
USBポート 26

V

VCCI 6

い

インクICチップスロット 47
インクICチップ 43, 44, 47
インクエコケース 43, 45, 46
インクエラー 32
インクエンド 42, 109
インク吸収材 44, 164
インク供給ユニット 44, 164
インク交換 116
インク残量 32
インクニアエンド 42
インクの状態 32
インク排出経路 126
インクパック 43, 44
インストールガイド 40, 41
インターロック 18
インレット 27, 34

え

エラー履歴 116
エラー 31, 171

お

オートクリーニング 108
オートパワーオフ 112
オートパワーオン 112
オートメンテナンス 24, 107, 108
折り返しバー 26

か

加圧ローラー警告時間 113
加圧ローラー 26
カウンターリセット 109
確認フィード 113
カラープロファイル 40
環境設定メニュー 114
乾燥時間 112

き

キーブザー 114

キーライフタイム 115
機能設定メニュー 112
キャップ吸収材 161
キャップ交換 107, 116
キャップ使用 116
キャップ 29, 119, 120, 159
キャリッジアウト 107
キャリッジ 24, 29, 31, 107, 119, 121
キャンセル 31
給水バルブ 24
吸水ローラー 116, 135

く

空気抜き 109
クリーニング 93, 107
繰り出しテンションバー 26
繰り出しユニット 26, 62

け

警告ラベル 20

こ

コンセント 34

し

時刻設定 114
自動ノズルリカバリー 108
自動補正（DAS） 104, 172
自動リモート 113
地張り剤 116
ジャムセンサー 24, 119, 128
受信障害 6
受信バッファ 102
主電源スイッチ 26, 30, 34
詳細設定 105
使用時間 116
使用状況 116
正面カバー 24
シワ取りローラー 26
シンボルマーク 7

す

スイッチングハブ 37
ステーションメンテ 107
ステーション 24, 29
ステータスランプ 31
スムージングレベル 105

せ

接続中継ケーブル 186
設置スペース 17
洗浄水交換 109

そ

操作パネル 24, 31

た

高さ調整レバー 53
単位表示設定 114

て

ディスプレイ 31
テストプリント 31, 91, 107
電源ケーブル 34
電源設定 112
電源プラグ 34
電波障害自主規制 6

と

ドクタ 24
吐出不良 91, 93, 107, 110, 122, 159, 168
ドット位置補正 33, 51, 96, 104
トップブロワ 113

ぬ

布巻ローラー 25, 26

ね

ネットワーク 114

の

ノズル洗浄 107, 169
ノズルチェック 111
ノズル詰まり 93, 111
ノズルリカバリー 107, 110

ノットレディモード 32

は

バージョン 116
廃インクタンク 24, 116, 119
廃インク量補正 165
搬送ベルト 25
搬送ユニット使用選択 112
判定条件 108

ひ

ヒーター 30
引き剥がしローラー 24
飛行曲がり 93
表示言語 114

ふ

フィード速度 105
フィード補正 33, 51, 94, 104
吹き付けファン 26, 131, 163
プリフィード 105
プリント原点 100
プリント中メンテ 108
プリント長 116
プリント面積 116

へ

ヘッドクリーニング 31
ヘッド高さ 53
ベルトクリーニング 109
ベルト地張り剤 109
ベルト洗浄ユニット 24, 109
ベルトメンテナンス 109

ほ

保管洗浄 107, 152
ポンプチューブ洗浄 107, 126

ま

マージン 113
巻径検出 112
巻き取りユニット 24, 58

マシンステータスメニュー 116

め

メディア削除 106
メディア残量 105
メディア情報 105
メディア設定メニュー 104
メディアフィード 31
メディア名称変更 105
メディア 57
メニューモード 32
免責事項 6
メンテナンス液カートリッジ 26
メンテナンス液吸収材 161
メンテナンスカバー 24
メンテナンスメニュー 107
メンテナンス履歴 116
メンテナンス 116

よ

余白設定 113

り

リスト 116
リファレンスガイド 99
リフレッシュ 109
リモートコントロール 114
リモートモード 31, 32
リレーBOX 186

ろ

ローカルガイダンス 33
ローカルモード 31, 32
ロールホルダーセット位置銘版 67
ロジカルシーク 112

わ

ワイパークリーナー 157
ワイパー交換 107, 116, 156
ワイパー 29, 107, 122, 156
ワイピング 116
湾曲バー 26

取扱説明書

2025年9月

発行者　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　株式会社ミマキエンジニアリング
〒389-0512
長野県東御市滋野乙2182-3

D203883-13-30092025

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2025

MO
FW : 1.40